省エネ 家庭用 性能カタログ 2026年版

買い替え方・使い方で効果的に
省エネ家電・ガス石油機器一覧



経済産業省
資源エネルギー庁

省エネ性能カタログ 2026年版

Contents

■ 省エネ基礎知識

1. エネルギー消費を考えよう …… 3
2. 『省エネ法』と『トップランナー制度』 …… 5
3. 省エネルギーラベリング制度 …… 6
4. 小売事業者表示制度 …… 7
5. 省エネ型製品情報サイトで Check! …… 9

■ 一覧表の見方 …… 11

● エアコン …… 13
● テレビ …… 19
● 電気冷蔵庫 …… 24
● 電気冷凍庫 …… 29
● 照明器具 …… 32
● 電球 …… 37
● 電気便座 …… 42
● ジャー炊飯器 …… 45
● 電子レンジ …… 49
● エコキュート …… 54

ガス・石油機器について …… 59

● ガスストーブ・石油ストーブ …… 60
● ガスこんろ・ガスオーブン …… 65
● ガス温水機器・石油温水機器 …… 70

■ 省エネ効果の算出について …… 76

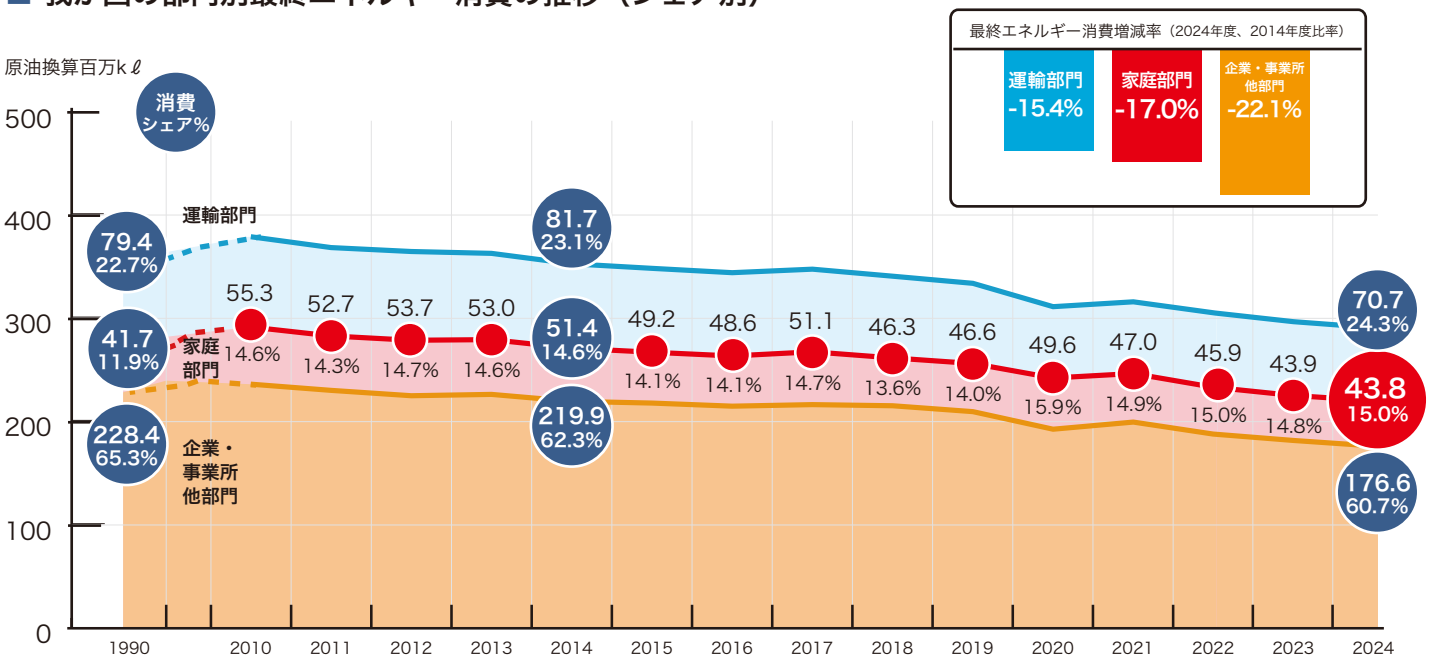
省エネ基礎知識

「エネルギー消費を考えよう」

Introduction

我が国のエネルギー消費量は、オイルショック以降増加傾向にあり、
家庭部門においても同様の傾向が見られます。
その主たる要因としては、世帯数の増加、機器の大型化・多様化、
より快適な生活を求めるライフスタイルを背景とした機器保有台数の増加や
使用時間の変化等が考えられます。
こうした状況に対して、エネルギー効率の高い省エネ製品への買い替えや
機器の使用の見直しなど、エネルギー消費の効率化や環境負荷の低減に資する
家庭の取り組みのさらなる深掘りが求められています。

■ 我が国の部門別最終エネルギー消費の推移（シェア別）

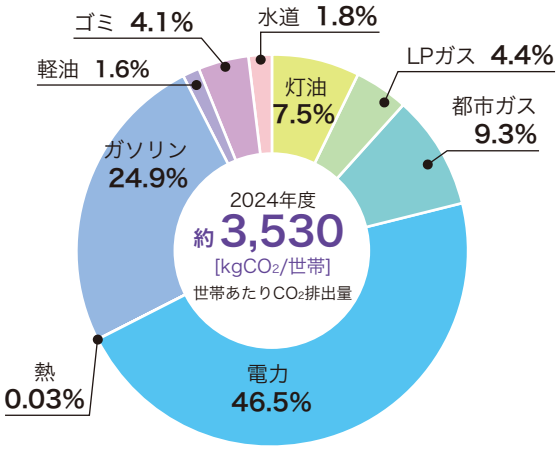


注１：「年度比」は増減率（%）
注２：各部門の最終エネルギー消費には非エネルギー用途消費を含みます。

▲出所：2024年度エネルギー需給実績（確報）（2026年4月14日公表）に基づき作成

■ 二酸化炭素が多く排出されるのは？

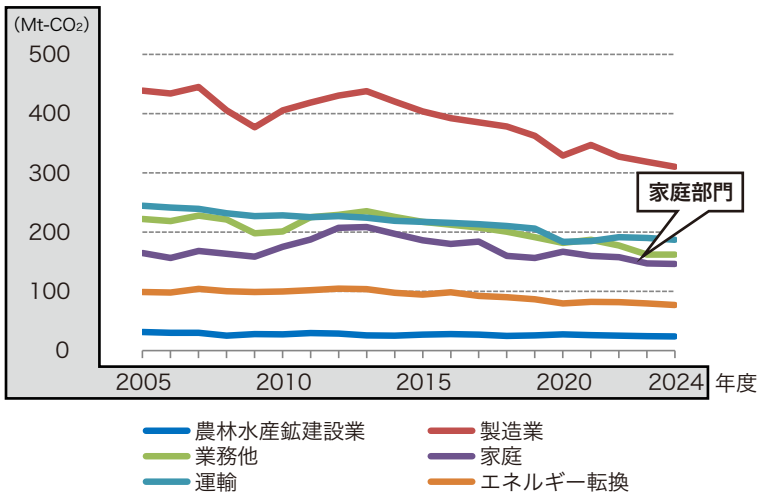
家庭からの二酸化炭素排出量 -燃料種別内訳-



注：割合は四捨五入しているため、合計が100%とは限りません。

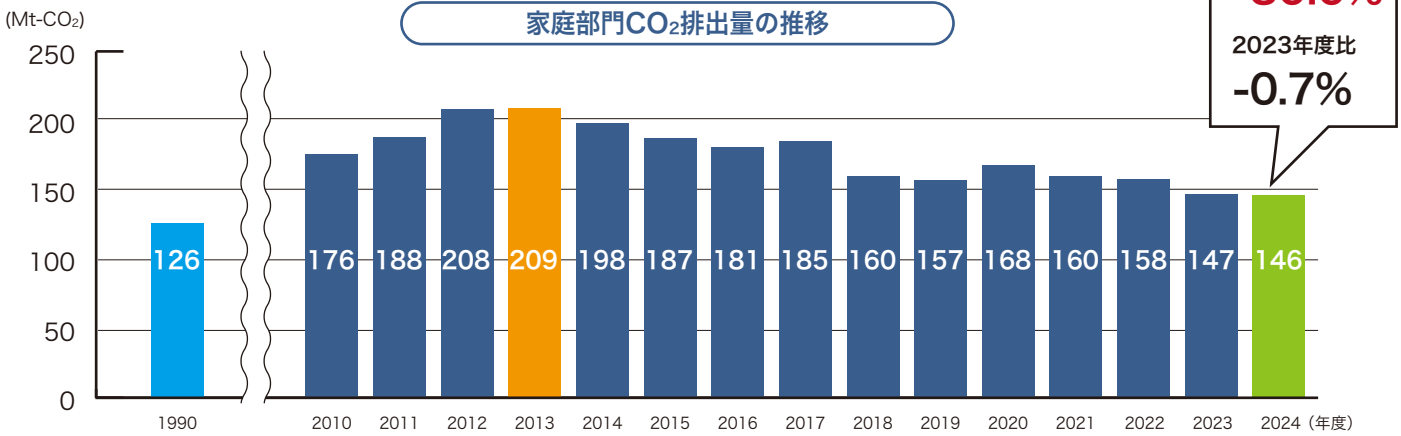
▲出所：温室効果ガスインベントリオフィス日本の温室効果ガス排出量データ(2026年4月14日公開)
全国地球温暖化防止活動推進センター（JCCCA）
「家庭からの二酸化炭素排出量（2024年度）」

部門別CO_2排出量の推移



▲▼ 出所：資源エネルギー庁総合エネルギー統計（2026年4月14日公表）

家庭部門CO_2排出量の推移



■ 『省エネ法』とは

『省エネ法』は、正式には「エネルギーの使用の合理化等に関する法律※」といい、石油危機を契機に1979年に制定されました。この法律は、内外におけるエネルギーをめぐる経済的社会的環境に応じた燃料資源の有効利用の確保のため、工場、輸送、建築物及び機械器具についてのエネルギーの使用の合理化に関する所要の措置等を講じ、国民経済の健全な発展に寄与することを目的としています。

※ エネルギーの使用の合理化及び非化石エネルギーへの転換等に関する法律（2022年5月公布、2023年4月施行）

■ 『トップランナー制度』とは

エネルギー消費機器等のうち省エネ法で指定するものの省エネルギー基準を、各々の製品において、基準設定時に商品化されている製品のうち最も省エネ性能が優れている製品の性能、技術開発の将来の見通し等を勘案して設定する制度です。

対象機器等については、以下の3要件を満たした機器等であることが必要であり、現時点で32品目を対象とし、相当の範囲をカバーしています。

❶ 我が国において大量に使用されている
❷ その使用に際し相当量のエネルギーを消費している
❸ その機械等に係るエネルギー消費効率の向上を図ることが特に必要なものである（効率改善余地等がある）

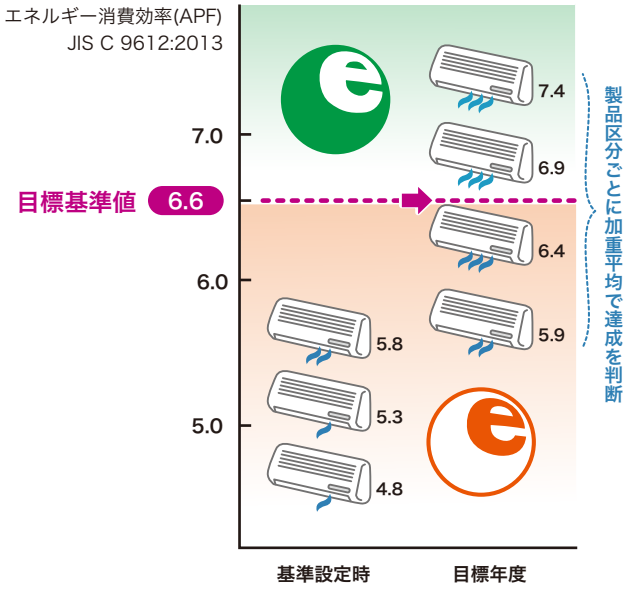
トップランナー制度対象品目（32品目）

- 乗用自動車
- エアコン
- 照明器具
- テレビ
- 複写機
- 電子計算機
- 磁気ディスク装置
- 貨物自動車
- VTR
- 電気冷蔵庫
- 電気冷凍庫
- ストーブ
- ガス調理機器
- ガス温水機器
- 石油温水機器
- 電気便座
- 自動販売機
- 変圧器
- ジャー炊飯器
- 電子レンジ
- DVDレコーダー
- ルーティング機器
- スイッチング機器
- 複合機
- プリンター
- 電気温水機器（ヒートポンプ式給湯器）
- 交流電動機
- 電球
- ショーケース
- 断熱材
- サッシ
- 複層ガラス

■ 『トップランナー制度』導入

1997年に開催された気候変動枠組条約第3回締約国会議(COP3)を受け、1998年に省エネ法の大幅な改正が行われました。この中で、特に民生・運輸部門のエネルギー消費の増加を抑えるため、エネルギーを多く使用する機器等ごとに、省エネルギー性能の向上を促すための目標基準（「トップランナー基準」）を満たすことをその製造事業者・輸入事業者に対して求める制度（「トップランナー制度」）が導入されました。

今後も、更なる対象機器等の拡大など、トップランナー基準の見直しの検討が行われていきます。



エネルギー消費効率改善（実績）

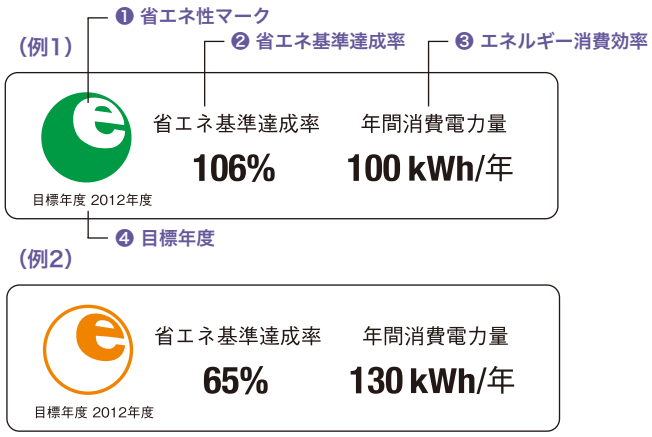
機器名		エネルギー消費効率の出荷位台数による加重平均値の改善率（実績）
エアコン*	家庭用直吹き・壁掛け4kW以下	16.3%（2005年度→2010年度）
	家庭用直吹き・壁掛け4kW超	15.6%（2006年度→2012年度）
照明器具*	蛍光灯器具	14.5%（2006年度→2012年度）
テレビ（液晶・プラズマ）		60.6%（2008年度→2012年度）
電子計算機		85.0%（2007年度→2011年度）
磁気ディスク装置		75.9%（2007年度→2011年度）
電気冷蔵庫(家庭用)		43.0%（2005年度→2010年度）
電気冷凍庫(家庭用)		24.9%（2005年度→2010年度）
電気便座		18.8%（2006年度→2012年度）

*印を付した機器については、省エネ基準が単位エネルギーあたりの性能で定められており、*印を付していない機器については、エネルギー消費量(例:kWh/年)で定められている。上表中の「エネルギー消費効率改善」は、それぞれの基準で見た改善率を示している。

トップランナー制度各対象機器の詳細は
https://www.enecho.meti.go.jp/category/saving_and_new/saving/enterprise/equipment/

■ 何が表示されているの？省エネルギーラベル

省エネルギーラベルの表示例



❶ 省エネ性マーク

トップランナー基準を達成した(省エネ基準達成率100%以上)製品にはグリーンのマークを表示し、未達成(100%未満)の製品にはオレンジ色のマークを表示します。

❷ 省エネ基準達成率

その製品がトップランナー基準値を、どの程度達成しているかを%で示します。

❸ エネルギー消費効率

製品ごとに定められた測定方法によって得られた数値で、製品によって表示語が異なります。
(APFのように効率で表すものや年間消費電力量のようにエネルギーの消費量で表すものがあります。)

❹ 目標年度

トップランナー基準を達成すべき年度で、製品ごとに設定されています。

対象機器	目標年度	エネルギー消費効率		備　考
		表示語	単　位	
エアコン	2010	APF（JIS C 9612:2005）（通年エネルギー消費効率）	—	家庭用の直吹き形で壁掛け形のもの
	2012			上記以外の家庭用のもの*
	2027	APF（JIS C 9612:2013）（通年エネルギー消費効率）		家庭用の直吹き形で壁掛け形のもの
	2029			上記以外の家庭用のもの*
照明器具	2020	固有エネルギー消費効率	lm/W	蛍光灯器具、LED電灯器具
テレビ	2012	年間消費電力量	kWh/年	液晶
	2026			液晶・有機EL
電子計算機	2021	エネルギー消費効率	—	サーバ型
	2022	年間消費電力量	kWh/年	クライアント型
磁気ディスク装置	2011	エネルギー消費効率	W/GB	
	2023			
電気冷蔵庫	2016	年間消費電力量	kWh/年	業務用のもの
	2021			家庭用のもの
電気冷凍庫	2016	年間消費電力量	kWh/年	業務用のもの
	2021			家庭用のもの
ストーブ	2006	エネルギー消費効率	%	ガスストーブ
				石油ストーブ
ガス調理機器	2006	エネルギー消費効率	%	こんろ部
	2008		Wh	グリル部、オーブン部
ガス温水機器	2006	エネルギー消費効率	%	ガス瞬間湯沸器、ガスふろがま
	2008			ガス暖房機器
	2025			ガス瞬間湯沸器、ガスふろがま、ガス暖房機器
石油温水機器	2006	エネルギー消費効率	%	
	2025			
電気便座	2012	年間消費電力量	kWh/年	
変圧器	2014	エネルギー消費効率	W	油入変圧器、モールド変圧器
	2026			
ジャー炊飯器	2008	年間消費電力量	kWh/年	
電子レンジ	2008	年間消費電力量	kWh/年	
DVDレコーダー	2008	年間消費電力量	kWh/年	地デジ非対応のもの
	2010			地デジ対応のもの
ルーティング機器	2010	エネルギー消費効率	W	
スイッチング機器	2011	エネルギー消費効率	W/Gbps	
電気温水機器	2017	エネルギー消費効率	—	
	2025			
交流電動機	2015	エネルギー消費効率	%	
電球	2017	エネルギー消費効率	lm/W	LEDランプ
	2027			白熱電球、蛍光ランプ、LEDランプ
ショーケース	2020	年間消費電力量	kWh/年	

*冷房能力が28kWを超えるもの、冷房専用等を除く

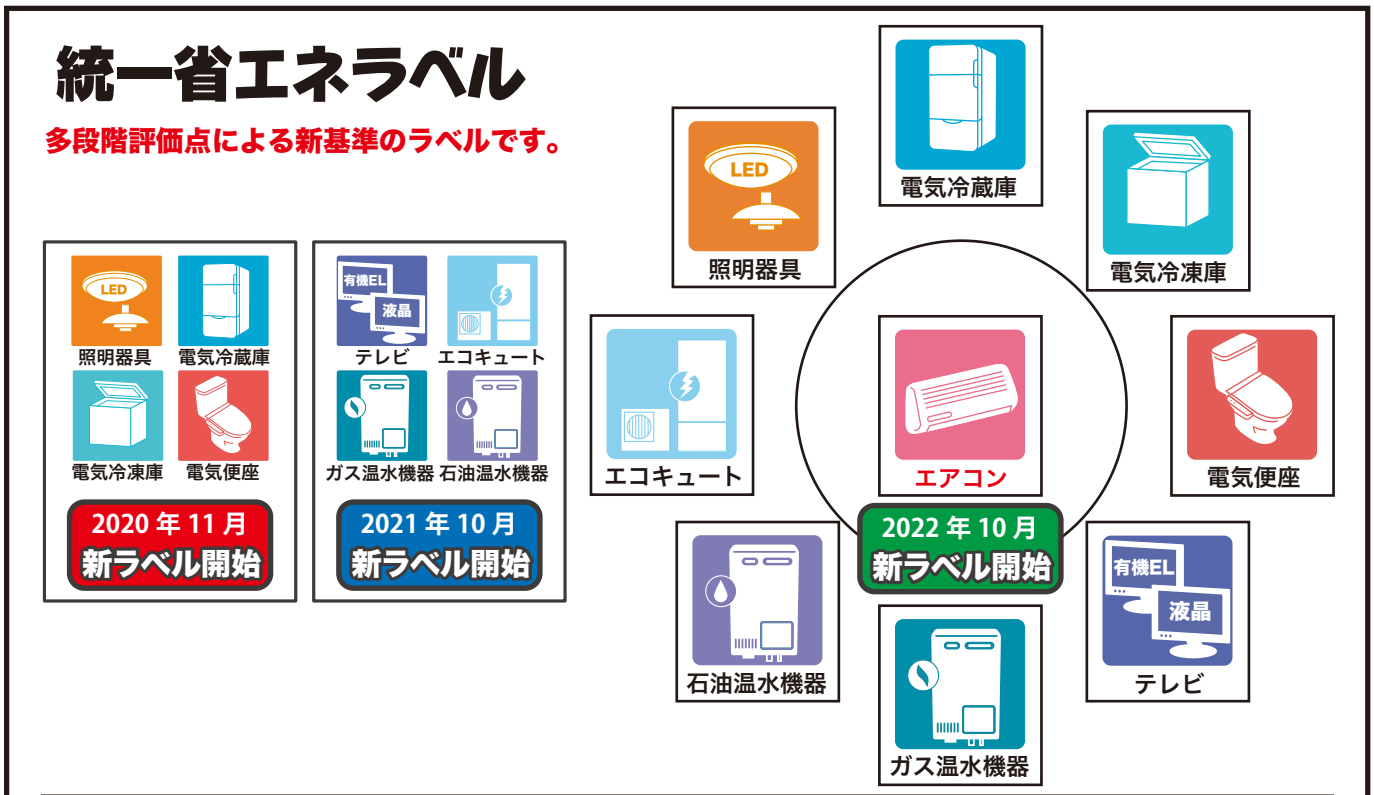
■ 小売事業者表示制度

小売事業者が製品の省エネ情報を表示するための制度が2006年10月から開始されました。

制度内容は、小売事業者が店頭陳列商品に対し①多段階評価点*1、②省エネルギーラベル*2、③年間目安エネルギー料金など*3の情報が盛り込まれた「統一省エネラベル」で表示するものです。

統一省エネラベルが表示される製品はエアコン、照明器具、テレビ、電気冷蔵庫、電気冷凍庫、電気便座に加えて、2021年からガス温水機器、石油温水機器、エコキュートが加わりました。その他の機器についても、省エネルギーラベルや年間の目安電気料金、年間の目安燃料使用量の情報を簡易版ラベルなどで、製品本体またはその近傍*4に表示することになっています。

*1 その製品の省エネ性能を、市販されている製品の中で相対的に位置づけたもの。（41段階（5.0～1.0）の評価点に対応した★（星マーク）で表しています。）
*2 省エネ基礎知識4「省エネルギーラベリング制度」参照
*3 1年間使用した場合の経済性を示すためのもの。年間目安エネルギー料金とは、年間の目安電気料金、目安ガス料金又は目安灯油料金のことを指します。
*4 インターネットによる販売については製品が掲載されているページの当該製品の近傍



小売事業者表示制度対象機器と表示内容

小売事業者表示制度対象機器		省エネラベリング制度	年間目安エネルギー料金等※	多段階評価制度
エアコン		●	●	●
照明器具		●	●	●
テレビ		●	●	●
電子計算機		●		
磁気ディスク装置		●		
VTR			●	
電気冷蔵庫		●	●	●
電気冷凍庫		●	●	●
ストーブ		●		
ガス調理機器		●	●（燃料使用量）	
ガス温水機器	ガス瞬間湯沸器、ガスふろがま	●	●	●
	ガス暖房機器	●		
石油温水機器	給湯用、給湯・浴用	●	●	●
	暖房用	●		
電気便座		●	●	●
ジャー炊飯器		●	●	
電子レンジ		●	●	
DVDレコーダー		●	●	
ルーティング機器		●		
スイッチング機器		●		
電気温水機器（ヒートポンプ式給湯器）		●	●	●
電球		●	●	

統一省エネラベル対象機器

※年間目安エネルギー料金とは、年間の目安電気料金、目安ガス料金又は目安灯油料金のことを指します。

■ 統一省エネラベル

エアコンの統一省エネラベルの例



①多段階評価点

市場における製品の省エネ性能の高い順に5.0～1.0までの41段階で表示（多段階評価点）。★（星マーク）は多段階評価点に応じて表しています。

星と多段階評価点の対応表			
★★★★★	5.0	★★½☆☆	2.5～2.9
★★★★½	4.5～4.9	★★☆☆☆	2.0～2.4
★★★★☆	4.0～4.4	★½☆☆☆	1.5～1.9
★★★½☆	3.5～3.9	★☆☆☆☆	1.0～1.4
★★★☆☆	3.0～3.4		

②省エネルギーラベル

省エネ性マーク、省エネ基準達成率、エネルギー消費効率、目標年度を表示。（詳細は7ページ参照）

③年間の目安電気料金

１年間使用した場合の経済性を、年間の目安電気料金で表示。

電力・ガス取引監視等委員会「電力取引報」を活用し、直近3年分の平均値（小数点第1位を四捨五入）から、1kWhあたり27円（税込）として算出。

ラベルを
見やすくするため、
文字を減らすなどの工夫を
行っています。

ミニラベル※

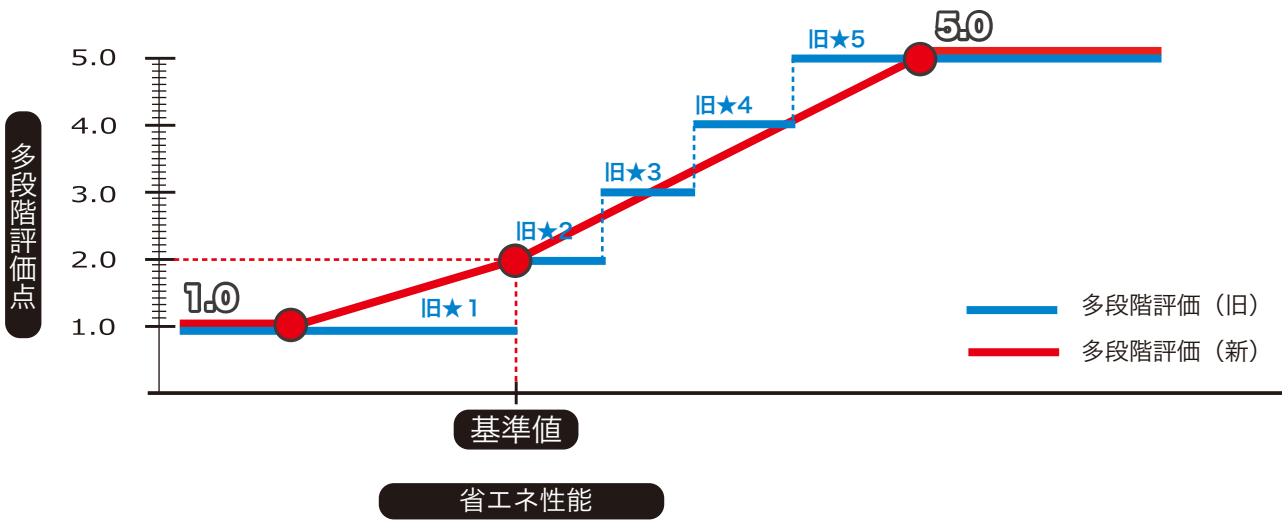
ミニラベルは多段階評価点を表示します。



※ Webサイトなどの限られたスペースで統一省エネラベルの表示が困難な場合でも、省エネ情報を分かりやすく表示できます。

■ 多段階評価の基準

５段階だった評価区分を、0.1きざみ（5.0～1.0）の評価点にすることで、より詳しく性能表示しています



機器の省エネ性能は省エネ型製品情報サイトで Check!

機器の省エネ性能の最新情報は毎日更新されています

■ 省エネ型製品情報サイト

https://seihinjyoho.go.jp

省エネ型製品情報サイトにアクセスし、

Check!

① 対象機器を選択
② 一覧表を表示
③ 気になる製品を選択する ☑
④ [　　] の ☑ をクリック
⑤ 多段階評価点 、省エネ性マーク、省エネ基準達成率、年間目安エネルギー料金が比較できます。





■ ラベルプリントもできます

統一省エネラベル、簡易版ラベル※1をプリントしたり、ミニラベル※2画像データを入手できます。

※1 簡易版ラベルは、多段階評価を行わない機器を対象にしたラベルです。
※2 ミニラベルの画像が入手できるのはエアコン、照明器具、電気冷蔵庫、電気冷凍庫、電気便座、テレビのみです。その他の機器にはミニラベルはありません。

統一省エネラベル 簡易版ラベル

❶ ラベル印刷したい製品を選択する ☑
❷ ラベルのアイコンをクリック
❸「印刷」と「PNG 保存」

Check!

統一省エネラベル のミニラベル

❶ ミニラベルダウンロードをクリック
❷ 画像データ入手



統一省エネラベルの例（エアコン）



ミニラベルの例

■ インターネットショップによる販売においても省エネ性能表示は行われています



省エネ性能			
多段階評価点	★★★★☆ 4.2	年間目安電気料金	6,720 円
年間消費電力量	249 kWh/年	省エネ基準達成率	112 % (●e2021年度)

■ 事業者向けの省エネ情報はこちら

国際エネルギースタープログラム
https://www.energystar.go.jp/

「国際エネルギースタープログラム」は、オフィス機器の国際的省エネルギー制度です。この基準を満たすコンピュータ、ディスプレイ、画像機器、デジタル印刷機、コンピュータサーバを対象として、データベースに登録しています。

事業者向け省エネ関連情報（経済産業省資源エネルギー庁サイト内）
https://www.enecho.meti.go.jp/category/saving_and_new/saving/enterprise/

省エネ政策や各種支援制度、省エネ法の概要等を紹介しています。



2026年版

省エネ型製品情報サイト抜粋　一覧表の見方

製品のエネルギー消費効率、省エネ基準達成率や代表的な機能等を一覧表に整理しました。
経済産業省 資源エネルギー庁の「省エネ型製品情報サイト」のデータベースに、2026年8月下旬までに登録された主な製品を区分ごとに掲載しています。

（注）エアコン、テレビ、照明器具、電気冷蔵庫、電気冷凍庫、電気便座、エコキュート、ガス温水機器（暖房機器を除く）、石油温水機器（暖房用を除く）は**【多段階評価点】**に応じた星の数で区分しています。
同じ区分内では会社名の50音順、多段階評価点の高い順、省エネ基準達成率の高い順、年間消費電力量の低い順（エアコンはAPFの高い順、照明器具は固有エネルギー消費効率の高い順、エコキュート、ガス・石油温水機器はエネルギー消費効率の高い順）に掲載しています。
その他の製品は省エネ基準達成率で5%ごとに区分し、達成率の高い順に掲載しています。同じ区分内では会社名の50音順、省エネ基準達成率の高い順に掲載しています。詳細は各ページをご覧ください。

一覧表の各種表示について

● 多段階評価 ●

多段階評価点に応じた★（星マーク）で表示

エアコン、テレビ、照明器具、電気冷蔵庫、電気冷凍庫、電気便座、エコキュート、ガス温水機器、石油温水機器は多段階評価点に応じた★（星マーク）で表しています。**多段階評価点**とは、市場における製品の省エネ性能の高い順に5.0～1.0までの41段階で表したものです。

● 省エネルギーラベリング制度 ●

省エネ法で定めた省エネ性能の向上を促すための目標基準（トップランナー基準）を達成しているかどうかをラベル（省エネルギーラベル）に表示するものです。
省エネ性マーク、省エネ基準達成率、エネルギー消費効率、目標年度を表示

● 省エネ性マーク

トップランナー基準を達成した（省エネ基準達成率100%以上）製品についてはグリーンのマーク（）が表示され、未達成（省エネ基準達成率100%未満）の製品についてはオレンジ色のマーク（）が表示されます。

● 省エネ基準達成率（%）

省エネ法に基づいて定められた省エネ性能の目標基準値を、その製品がどれくらい達成しているかを%で示します。機器の区分ごとに、目標基準値や目標基準値算定式が設定されています。

● エネルギー消費効率

機器ごとに定められた測定方法で得られた数値です。機器によって表示語が異なります。APF（通年エネルギー消費効率）のように効率で表すものや、年間消費電力量（kWh/年）のようにエネルギーの消費量で表すものがあります。

● 目標年度

トップランナー基準を達成すべき年度で、機器ごとに設定されています。

● 年間の目安電気料金（円）●

1年間使用した場合の目安電気料金（円/年） ＝ 年間消費電力量（kWh/年）× **電気料金単価**（円/kWh）

目安電気料金は有効数字3桁で表示しています。各家庭の使用実態や電力会社等によって異なります。エアコン、テレビ、照明器具、電球、エコキュートについては、それぞれのページをご確認ください。

● 年間の目安ガス料金（円）●

ガス温水機器

1年間使用した場合の目安ガス料金（円/年） ＝ 年間ガス使用量（m^3/年） × **ガス料金単価**（円/m^3）

目安ガス料金は有効数字3桁で表示しています。使用する地域、世帯人数やガス会社等により異なります。ガス温水機器の都市ガス（13A）料金は、東京・大阪の外気温度を前提に4人世帯を想定した1年間あたりのガス使用量（使用量は機器ごとに異なります）に156円/m^3を乗じて算出。液化石油ガス（LPG）の目安ガス料金は東京・大阪の外気温度を前提に4人世帯を想定した1年間あたりのガス使用量（使用量は機器ごとに異なります）に液化石油ガス料金単価706円/m^3を乗じて算出しております。

使用条件やガス会社等により異なります。

● 年間の目安灯油料金（円）●

石油温水機器

1年間使用した場合の目安灯油料金（円/年） ＝ 年間灯油使用量（L/年） × **灯油料金単価**（円/L）

目安灯油料金は有効数字3桁で表示しています。東京・大阪の外気温度を前提に4人世帯を想定した1年間あたりの灯油使用量（使用量は機器ごとに異なります）に東京・大阪を含む地域の平均的な灯油料金単価88円/Lを乗じて算出しております。

使用条件や灯油単価等により異なります。

目安年間エネルギー使用料金の単価一覧

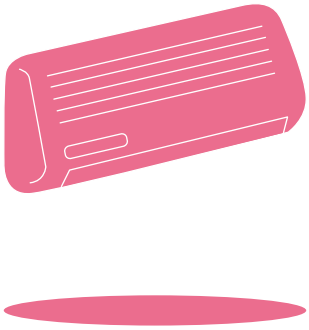
（小売事業者表示制度　参照）

電気単価	電気単価（電気温水機器）	都市ガス単価	LPガス単価	灯油単価
27円／kWh	寒冷地仕様以外 23円／kWh 寒冷地仕様 20円／kWh	156円／m^3	706円／m^3	88円／L

省エネ家電の上手な使い方・選び方

「エアコン」

省エネ性が優れたエアコンも、使い方しだいで
さらに電力の無駄を省くことができます。



■ 冷房の上手な使い方

適切な室温管理をすること。

▶健康を第一に、温度は柔軟に設定しましょう。

年間で電気 30.24kWh の省エネ　約 820円 の節約

原油換算　6.74ℓ　CO_2削減量　12.76kg

外気温度31℃の時、エアコン(2.2kW)の冷房設定温度を27℃から28℃にした場合(使用時間:9時間/日)

冷房は必要な時だけつける。

年間で電気 18.78kWh の省エネ　約 510円 の節約

原油換算　4.18ℓ　CO_2削減量　7.92kg

冷房を1日1時間短縮した場合(設定温度28℃)

■ 夏は熱中症に注意!

適度な空調で室内の温度を快適に保ったり、衣服を工夫することで、熱中症の危険を避けやすくなります。過度の節電や「この程度の暑さなら大丈夫」とガマンしてはいけません。

出所：一般財団法人 日本気象協会
ホームページより抜粋



■ お手入れで省エネ

フィルターを月に1回か2回清掃。

お手入れで省エネ

年間で電気 31.95kWh の省エネ　約 860円 の節約

原油換算　7.12ℓ　CO_2削減量　13.48kg

フィルターが目詰まりしているエアコン(2.2kW)とフィルターを清掃した場合の比較



▶2週間に1度は、フィルターのお掃除をしましょう。

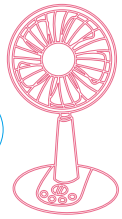
■ 扇風機を上手に使って空気を循環させましょう

扇風機とエアコンを併用して快適に過ごしましょう。
デリケートな微風調整や首振りなど、工夫された機能が開発されています。

出所：一般社団法人 日本電機工業会ホームページ

夏

エアコンの冷気を扇風機で部屋中に循環させることで、体感温度（肌で感じる温度）を下げ、いっそう涼しく感じられます。



おすすめ

冬

暖かい空気は天井付近にたまりがち。扇風機で風を循環させることにより、足もとまで暖かさが広がります。

■ 暖房の上手な使い方

適切な室温管理をすること。

▶健康を第一に、温度は柔軟に設定しましょう。

年間で電気 53.08kWh の省エネ　約 1,430円 の節約

原油換算　11.83ℓ　CO_2削減量　22.39kg

外気温度6℃の時、エアコン(2.2kW)の暖房設定温度を21℃から20℃にした場合(使用時間:9時間/日)

暖房は必要な時だけつける。

年間で電気 40.73kWh の省エネ　約 1,100円 の節約

原油換算　9.08ℓ　CO_2削減量　17.18kg

暖房を1日1時間短縮した場合(設定温度20℃)

■ 節約チェックポイント

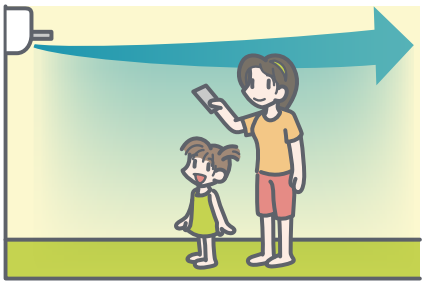
省エネのコツ



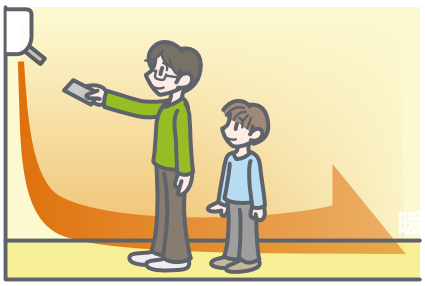
▶カーテンで窓からの熱の出入りを防ぎましょう。
タイマーを上手に使い、必要な時間だけ運転しましょう。



▶室外機の吹出口にものを置くと、冷暖房の効果が下がります。

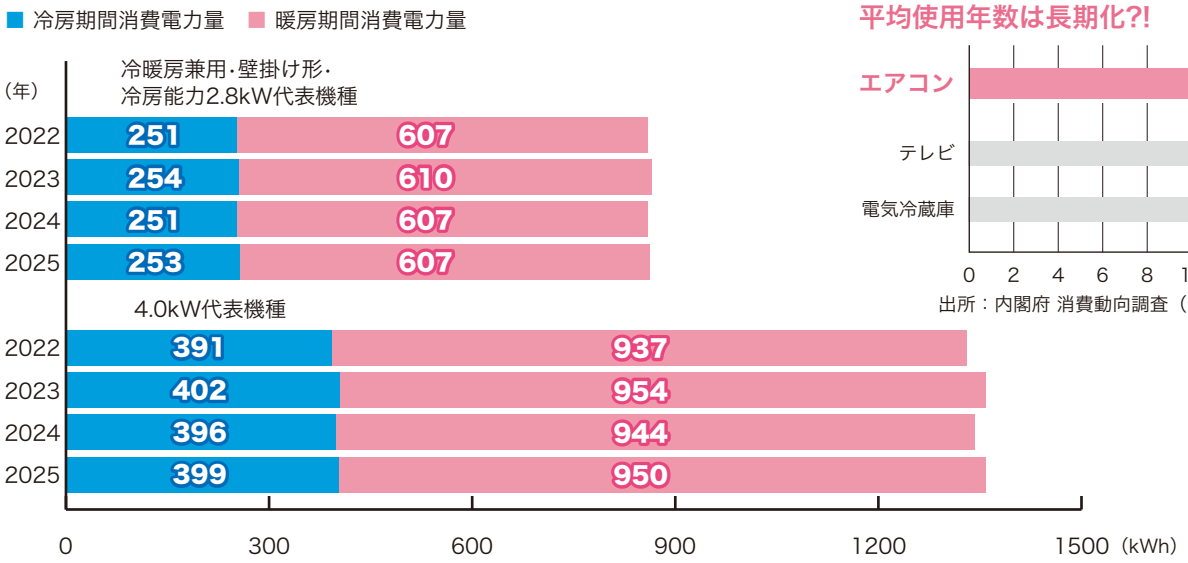


▶風向きを上手に調整しましょう。
（風向板は冷房では水平、暖房では下向きに）



このページのデータは一般財団法人 省エネルギーセンターの実測値に基づき算出しています。

■ 期間消費電力量の推移（kWh）



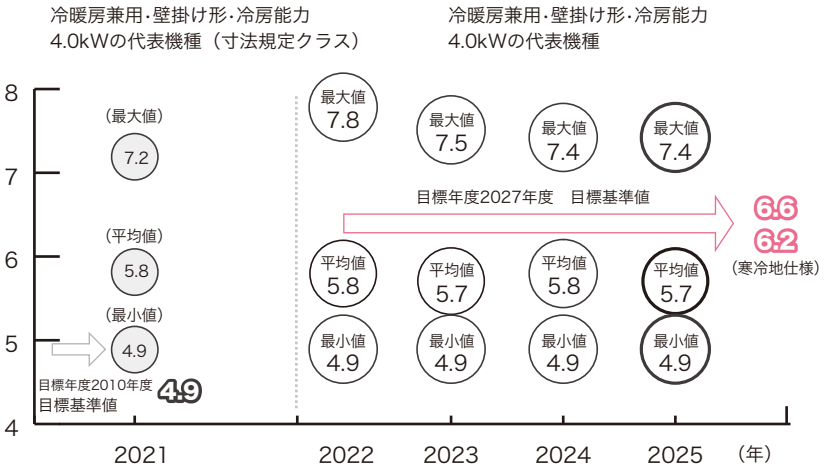
出所：省エネ性能カタログPDF版の平均値（2022～2025年）

■ 平均使用年数（年）

平均使用年数は長期化?!

出所：内閣府 消費動向調査（R8.3月実施分）

■ APF（通年エネルギー消費効率）の推移



出所：省エネ性能カタログPDF版の平均値（2022～2025年）

エアコン目標年度2027　基準エネルギー消費効率

冷房能力(kW)	仕様	基準エネルギー消費効率
2.8kW以下	寒冷地仕様以外	6.6
	寒冷地仕様	6.2
2.8kW超 28kW以下	寒冷地仕様以外	6.84−0.210 × (A −2.8)
	寒冷地仕様	6.44−0.210 × (A −2.8)

A：冷房能力（kW）

基準エネルギー消費効率（目標基準値）
：小数点以下1桁まで（小数点以下2桁を四捨五入する）

■ 冷房能力2.2kWと2.8kW比較

部屋の広さにあった能力を選びましょう。

▶省エネ基準達成率やAPFが同じでも、冷房能力が違うと期間消費電力量が異なり電気代も差が出てきます。部屋の広さにあった冷房能力のエアコンを選びましょう。



2.2kW

部屋の広さの目安
6畳
期間消費電力量
562kWh



2.8kW

部屋の広さの目安
10畳
期間消費電力量
716kWh

※冷暖房兼用・壁掛け形・冷房能力2.2kWと2.8kW

出所：省エネ型製品情報サイト

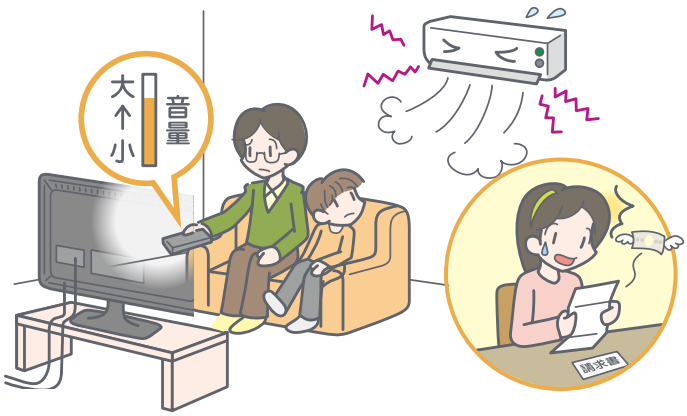
冷房能力に対する部屋の広さの目安

冷房能力(kWh)	畳数（畳）
～2.2	6
2.5	8
2.8	10
～3.6	12
～4.5	14
5.0	16
5.6	18
6.3	20
7.1	23
8.0	26
9.0	29
10.0	32

■ 買い替えのタイミング

① 最近冷えが悪くなってきた、寒い朝は暖房が弱い
② 以前より電気代が増えたように感じる
③ 運転音が高くて、テレビの音量を上げたことがある

などが買い替えのタイミングです。



家の構造や間取りなど、お部屋の条件を考慮して選ぶことが大切なので、販売店によく相談しましょう。

出所：一般社団法人 日本冷凍空調工業会 ホームページより抜粋

■ 統一省エネラベルと多段階評価点

省エネ性能の高い順に0.1きざみ（5.0～1.0）の評価点で表示。
★（星マーク）は多段階評価点に応じて表しています。

統一省エネラベル



エアコン
目標年度2027年度



エアコン（寒冷地仕様）
目標年度2027年度

APF（通年エネルギー消費効率）

APF（通年エネルギー消費効率）とは、年間を通してある一定条件をもとにエアコンを使用したとき、１年間に必要な冷暖房能力を、１年間でエアコンが消費する電力量（期間消費電力量）で除した数値です。APFが大きいほど、省エネ性が優れた機器といえます。

省エネ基準達成率

冷房能力、仕様（寒冷地仕様以外のもの/寒冷地仕様のもの）が同じならば、省エネ基準達成率が高いほど省エネ性が優れ、年間の目安電気料金も安くなります。冷房能力2.5kWと2.8kWを比較すると、同じAPFと省エネ基準達成率でも、2.8kWは目安となる期間消費電力量が大きくなります。

この製品を1年間使用した場合の目安電気料金

（有効数字3桁100円未満は四捨五入）東京の外気温度を前提に算出しています。

寒冷地仕様のラベル

ラベル内に**「寒冷地仕様」**と明記されます。この製品を寒冷地で使用する場合の年間目安電気料金は、ラベルに表示されている目安電気料金に、外気温度を考慮した地域係数（盛岡の場合2.4）を乗じることで算出できます。※

※ 寒冷地仕様以外のエアコンでも、年間の目安電気料金は地域により異なるため、使用する地域の地域係数を乗じることにより実際に近い値が算出できます。地域係数の詳細は次ページ参照。



新ラベル・ミニラベルの詳細は、本誌P7からの省エネ基礎知識4・5をご参照ください。

■ 掲載製品

家庭用の直吹き形で壁掛け形の冷暖房兼用のエアコンを掲載しています。ただし、冷房能力が28kWを超えるもの、冷房専用、壁掛け形以外のもの、マルチタイプのもの、業務用のもの等は対象外です。

省エネ性能カタログの区分　冷房能力によって行っています。（サイトでは絞り込み検索ができます。）

冷房能力2.2kW（6畳）	冷房能力2.5kW（8畳）	冷房能力2.8kW（10畳）
冷房能力3.6kW（12畳）	冷房能力4.0kW（14畳）	冷房能力4.5kW（14畳）
冷房能力5.0kW（16畳）	冷房能力5.6kW（18畳）	冷房能力6.3kW（20畳）
冷房能力7.1kW（23畳）	冷房能力8.0kW（26畳）以上	

■ 各種表示

● 1年間の目安電気料金（円）

期間消費電力量をもとに、1kWhあたり27円（税込）として算出した目安電気料金を有効数字3桁で表示しています。目安電気料金は、東京の外気温度を前提に算出していますが、使用する地域により異なります。外気温度の他にも使用条件（設定温度、使用時間、住宅性能等）や電力会社等により異なります。
地域ごとの外気温度モデルに基づく年間の目安電気料金は、下表の地域係数が補正の目安となります。

1年間の目安電気料金（円）＝
期間消費電力量（kWh）× **27**（円/kWh）

地域係数

地域	地域補正係数（冷房）	地域補正係数（暖房）	地域補正係数（通年）
東京	1.0	1.0	1.0
札幌	0.1	4.4	3.1
盛岡	0.2	3.3	2.4
秋田	0.5	2.7	2.0
仙台	0.3	2.1	1.6
新潟	0.6	1.9	1.5
前橋	1.0	1.5	1.3
松本	0.5	2.8	2.1
富山	0.7	1.8	1.4
静岡	0.9	0.9	0.9
名古屋	1.1	1.2	1.2
大阪	1.4	1.0	1.1
米子	0.8	1.5	1.3
広島	1.2	1.1	1.1
高松	1.2	1.1	1.1
高知	1.2	0.9	1.0
福岡	1.1	0.9	1.0
熊本	1.3	1.0	1.1
鹿児島	1.4	0.6	0.9
那覇	2.0	-	0.6

地域係数による補正

地域補正係数（冷房）× 冷房期間消費電力量（kWh）＝当該地域で使用した場合の冷房期間消費電力量

地域補正係数（暖房）× 暖房期間消費電力量（kWh）＝当該地域で使用した場合の暖房期間消費電力量

地域補正係数（通年）× 1年間の目安電気料金（円）＝当該地域で使用した場合の目安電気料金

※ 記載のない地域については近隣の地域係数を参照してください。
※ 寒冷地においてエアコンディショナーの暖房能力が不足する場合は、エアコンディショナー以外の補助暖房（電熱ヒーター）の消費電力量を加算しています。

● 期間消費電力量（kWh）

冷房期間消費電力量と暖房期間消費電力量の合計です。JIS C 9612:2013（ルームエアコンディショナー）に基づき算出されています。

算出条件

外気温度	東京をモデルとしています
期間	冷房期間　5月23日～10月4日 暖房期間　11月8日～4月16日
室内設定温度	冷房時：27℃／暖房時：20℃
使用時間	6：00～24：00の18時間
住宅	平均的な木造住宅（南向き）
部屋の広さ	冷房能力に見合った広さの部屋

● APF（通年エネルギー消費効率）

エアコンの省エネ性能の基準となる値で、小数点以下1桁まで表示しています。

$$APF=\frac{\text{冷房期間総合空調負荷（kWh）＋暖房期間総合空調負荷（kWh）}}{\text{冷房期間消費電力量（kWh）＋暖房期間消費電力量（kWh）}}$$

算出計算例　$APF=\frac{5296}{802}=6.6$

（冷房能力2.8kW、期間消費電力量が802kWhの場合）

1年間に必要な冷暖房能力の総和（固定値）

定格冷房能力（kW）	冷暖房能力総和（kWh）	定格冷房能力（kW）	冷暖房能力総和（kWh）
2.2	4161	5.6	10592
2.5	4729	6.3	11916
2.8	5296	7.1	13430
3.6	6809	8.0	15132
4.0	7566	9.0	17023

● 寒冷地仕様

寒冷地仕様のエアコンは、寒冷地での使用を想定し、積雪、低温に起因する故障を防止するように設計等されたものです。寒冷地仕様以外のエアコンとは省エネ性能の基準値が異なります。この製品を寒冷地で使用する場合は、ラベルに表示されている目安電気料金に、外気温度を考慮した地域係数（盛岡の場合2.4）を乗じることで算出できます。※

※ 寒冷地仕様以外のエアコンでも、年間の目安電気料金は地域により異なるため、使用する地域の地域係数を乗じることにより実際に近い値が算出できます。

● 冷房能力（kW）

外気温35℃、室内温度27℃とした場合の、室内の空気から除去する単位時間あたりの熱量です。

● 冷房消費電力（kW）

冷房時の定格消費電力です。

● 冷房期間消費電力量（kWh）

冷房期間（5月23日～10月4日）の消費電力量（kWh）です。

● 暖房標準能力（kW）

外気温7℃、室内温度20℃とした場合の、室内の空気に加える単位時間あたりの熱量です。

● 暖房低温能力（kW）

外気温2℃、室内温度20℃とした場合の、室内の空気に加える単位時間あたりの熱量です。（寒冷地にお住まいの方は参考にして下さい。）

● 暖房消費電力（kW）

暖房時の定格消費電力です。

● 暖房期間消費電力量（kWh）

暖房期間（11月8日～4月16日）の消費電力量（kWh）です。

■ Q&A

Q1 エアコンの基準改正が行われたのはなぜですか？

▶家庭用エアコンは2010年度を目標年度とする基準が2006年に設定されていましたが、冷暖房は家庭のエネルギー消費量の中でも特に大きな割合を占めていることから、新たな測定方法がJIS C 9612:2013において策定されたことも踏まえ、目標とするAPFを見直して、よりエネルギー消費性能の高い製品を評価することになりました。同時に統一省エネラベルでは「多段階評価点」の表示に改正し、寒冷地仕様製品のラベルを新たに設ける等も行いました。測定方法はより実態に合わせた方法とし、消費者の皆様がライフスタイルに合わせて省エネ製品を選択できるよう工夫しています。

Q2 エアコンの仕組みはどうなっているのですか？

▶エアコンは、室内機と室外機のセットからなり、両者の間を冷媒（熱を運ぶ媒体）が循環して、室内外からの熱を移動させています。冷媒の圧力や状態（液体／気体）を変化させることで、温度の低いところから温度の高いところに熱を移動させることができます。熱を運ぶポンプのような働きをする「ヒートポンプ」という仕組みで、冷房時には室内の空気の熱を室外へ、暖房時には室外の空気の熱を室内へと移動させることで冷房と暖房の両方を行うことができます。熱を運ぶポンプなので、以下のようにすると少ないエネルギーで冷暖房を行うことができ、省エネになります。

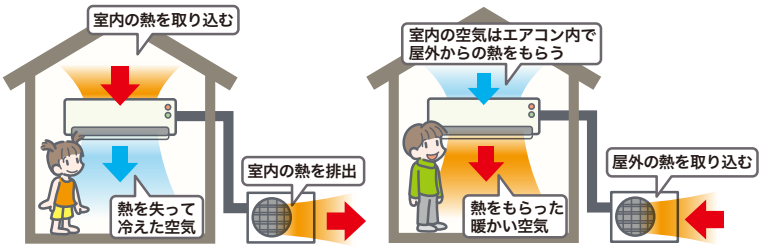
■ 室内と室外の温度差を小さくする

設定温度：
夏は高く（目安28℃）
冬は低く（目安20℃）

■ 熱の出入り口での熱交換をスムーズにする

室外機：
周りに物を置かない
風通しのよいところに置く

室内機：
フィルターを掃除する



Q3 目標年度2027年度の基準から寸法規定と寸法フリーの区別がなくなります。なくなるとどうなるのですか？

▶日本の標準的な木造住宅をモデルに、室内機の横幅寸法800mm以下かつ高さ295mm以下を「寸法規定タイプ」、それ以外を「寸法フリータイプ」といいます。サイズの規定がなくなると、横に長かったり、縦に長かったり、短かかったり、様々なサイズの製品が出てくる可能性があります。したがって、取り付けるお部屋のサイズにあった機器を選ぶようにしてください。

省エネ家電の上手な使い方・選び方

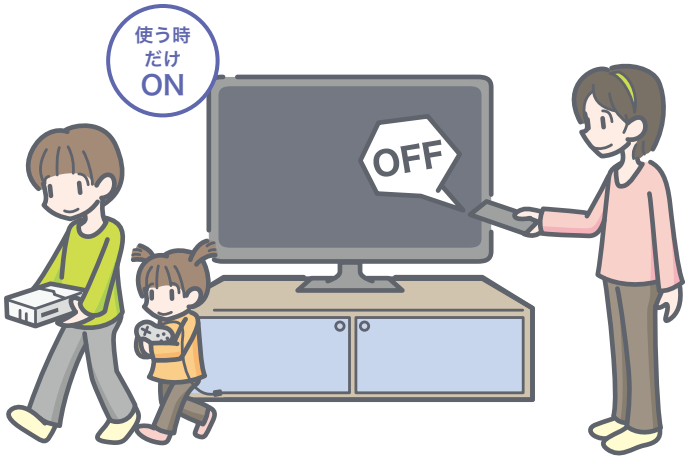
「テレビ」

液晶テレビ・有機ELテレビを掲載しています。
使い方しだいで、テレビを楽しみながら
消費電力量を減らすことができます。



■ テレビを見ないときは消す

つけっぱなしは要注意！
見ていないテレビは、消しましょう。



節約のポイント

① リモコンで電源OFFにしましょう。

② ゲームで使用したときも、終わったらテレビ画面を消しましょう。

③ 旅行等で長期間使用しないときは、本体の主電源でOFFにするか電源プラグを抜くことで、微量ながらリモコン信号を受けるための待機時電力を節約することができます。

<主電源をOFFにする時の注意>

・番組表などデジタル放送で送られる情報が自動ダウンロードできなくなる機種があります。

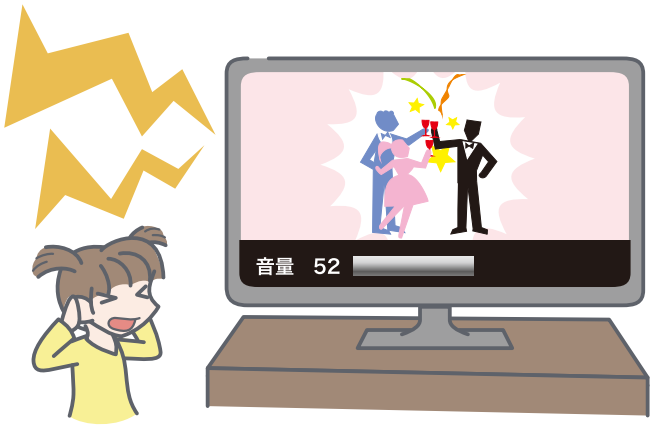
・録画機能内蔵テレビの場合、本体で電源を切ると予約録画ができなくなる機種があります。

■ 画面を掃除しよう



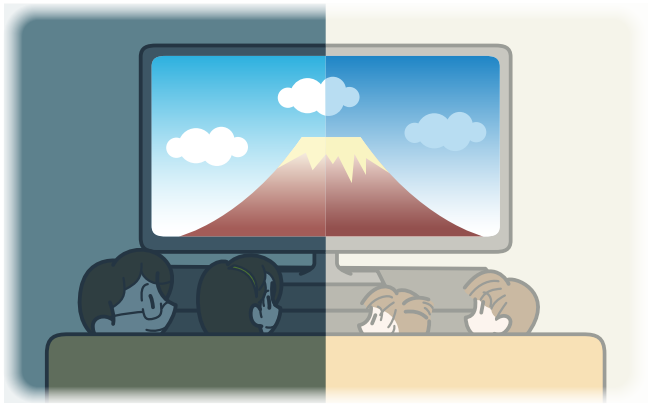
テレビ画面は静電気でホコリを寄せつけやすいので、汚れやすいものです。ホコリがあると暗く見えます。１週間に１度は乾いた柔らかい布（表面に傷が付かないよう配慮された専用クロスなど）でふきましょう。明るさを調節する前に、画面の掃除をしましょう。
外面をお手入れするときは、安全のため、まずは電源を切り電源プラグをコンセントから抜いておきましょう。

■ 音量は不必要に大きくしない



必要以上に画面を明るくしたり、音を大きくしたりするのは、電力の無駄使いです。

■ 画面は明るすぎないように



節約のポイント

テレビ画面は、部屋の明るさに合わせた適切な明るさで視聴しましょう。明るさセンサーがある機種では、明るさセンサーをONにすると、部屋の明るさに合わせて、画面が適切な明るさとなるよう自動的に設定されます。

液晶テレビの場合

年間で電気 27.10kWh の省エネ	約 730円 の節約
原油換算 6.04ℓ	CO_2削減量 11.43kg

テレビ（32V 型）の画面の輝度を最適（最大→中間）にした場合

このページのデータは一般財団法人 省エネルギーセンターの実測値に基づき算出しています。

■ 省エネモードを活用しましょう

① 明るさセンサー

部屋の明るさに合わせて、画面の明るさを自動調整する機能です。画面が必要以上に明るくなることを防いで、消費電力量を抑えます。

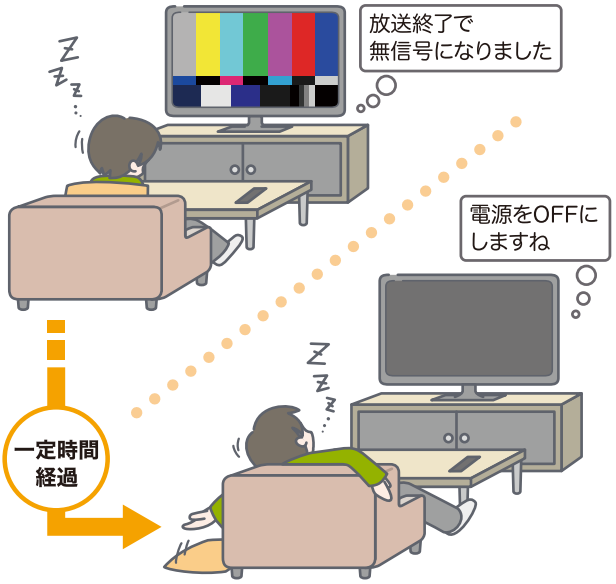
② 無信号自動 OFF

一定時間信号がないと、OFFになる機能です。

③ 無操作自動 OFF

一定時間操作をしないと、OFFになる機能です。

※節電機能の名称や機能はメーカーによって異なります。
設定の仕方も様々なので、取扱説明書を確認しましょう。



■ ライフスタイルに合わせて製品を選ぶ3つのポイント

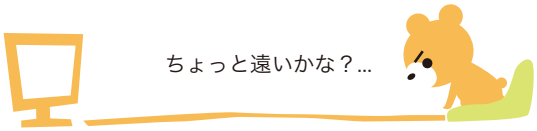
Point 1



視聴距離は画面の
高さの 3〜4倍程度...

● お部屋と製品のサイズは合っていますか？

製品を選ぶときは、部屋の大きさや使い方に合わせてサイズを選びましょう。



Point 2



番組をたくさん
録画したい...

● 今までと同じ機能で選んでいませんか？

最近のテレビの機能は多様化しています。
上手な使い方ができていないようならば、機能が合っていないのかもしれません。



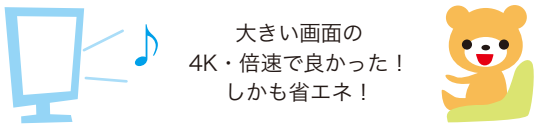
Point 3



2Kにするか
4Kにするか
...倍速って?

● 満足度も大事なポイント

画素数、動画表示速度、機能、年間消費電力量の4つは確認しておくと、製品の特徴をある程度把握できます。

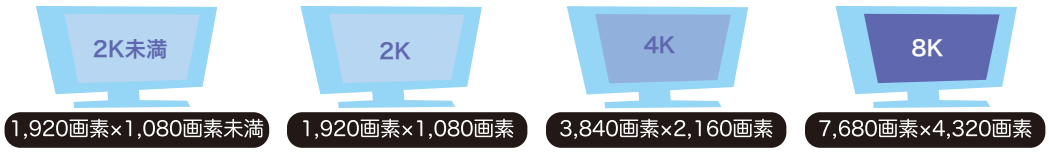


部屋の広さやテレビの視聴のしかたによって異なります。
画面の大きさや製品の特徴、機能を把握して
自分に合ったテレビを選びましょう。

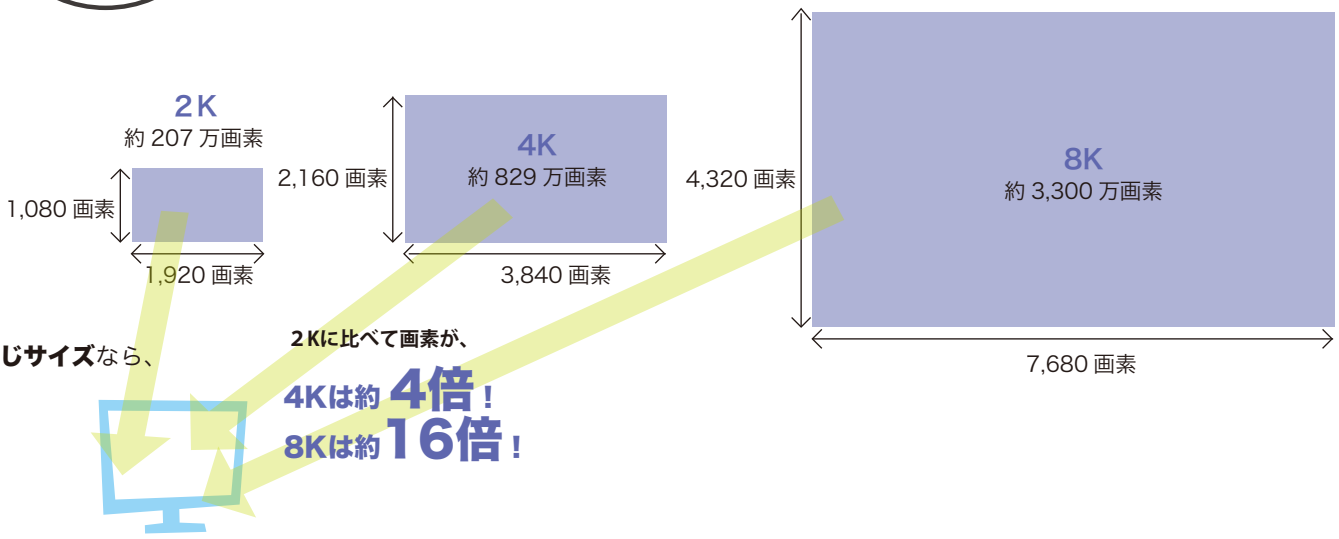
2K未満、2K、4K、8Kの違い

画素数が違います

画素数は、「水平方向の画素数×垂直方向の画素数」で表記されます。



※画素とは、テレビ、パソコンのディスプレー、デジタルカメラなどの画面を構成する最小単位。
画素数とは写真や画像の中にある点の数のことです。



同じサイズなら、

2Kに比べて画素が、

4Kは約4倍！

8Kは約16倍！

4K、8Kのいいところ



解像度が違います

映像が緻密

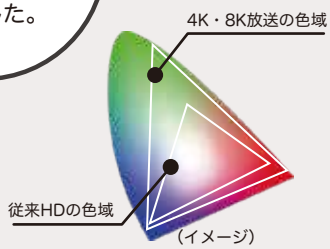
画素数が多いほど解像度（画素の密度）が高くなります。



広い色域

自然で鮮やかな色彩

色域が広がったことで、表現できる色数が増えました。



HDR映像に対応

臨場感がある

映像の本来の明るさや色、コントラストを表現できます。



従来（SDR）の映像（イメージ）　HDRの映像（イメージ）

※SDR は Standard Dynamic Range、HDR は High Dynamic Range の略です。

参考：総務省ホームページ



■ 統一省エネラベルと多段階評価点



テレビ　目標年度2026年度



省エネ性能の高い順に0.1きざみ（5.0～1.0）の評価点で表示。
★（星マーク）は多段階評価点に応じて表しています。

年間消費電力量

省エネ法に基づいて家庭での平均視聴時間を基準に算出した、1年間に消費する電力量です。年間消費電力量が小さいほど、年間目安電気料金が安くなります。一般的に、テレビサイズが大きくなる、あるいは複数の機能を備えるほど、年間消費電力量は大きくなります。

省エネ基準達成率

画面の大きさや機能（画素数、動画表示速度、録画機能等）が同じならば、省エネ基準達成率が高いほど省エネ性が優れ、年間目安電気料金も安くなります。パネル種類と画素数により分けられた区分ごとに、それぞれ目標基準値算定式が設定されています。

この製品を1年間（1日に5.1時間）使用した場合の目安電気料金

目安電気料金（円/年） ＝ 年間消費電力量（kWh/年） × 電気料金単価 27（円/kWh）

目安電気料金は年間消費電力量に平均的な電気料金単価27（円/kWh）を乗じて算出しています。使用時間の他にも使用条件や電力会社などにより異なります。使用期間中の環境負荷に配慮し、省エネ性能の高い製品を選びましょう。電力取引報の直近3年分の平均値（小数点第1位を四捨五入）を平均的な電気料金単価として設定しています。

■ 掲載製品

交流の電路を使用する液晶テレビ・有機ELテレビが掲載対象です。受信機型が10インチ若しくは10インチ以下の製品、パソコン用ディスプレイでテレビ機能を有するもの、ワイヤレス方式のもの等は対象外です。

省エネ性能カタログの区分　パネルの種類、画素数、サイズ（インチ）によって行っています。
（サイトでは絞り込み検索ができます。）

液晶テレビ	液晶　2K未満・30インチ未満	液晶　2K未満・30インチ以上	液晶　2K・50インチ未満
	液晶　2K・50インチ以上	液晶　4K・50インチ未満	液晶　4K・50インチ以上
	液晶　8K		
有機ELテレビ	有機EL　4K	有機EL　8K	

■ 各種表示

● 年間消費電力量（kWh/年）

一般家庭での1日1台あたりの平均視聴時間5.1時間を基準に算出した数値を整数で表示しています。

● 動画表示速度

1秒間に60コマ以上120コマ未満の静止画を表示するノーマルと、1秒間に120コマ以上240コマ未満の静止画を表示する倍速、1秒間に240コマ以上の静止画を表示する4倍速があります。

● ダブルデジタルチューナー

同一のデジタル放送受信チューナーが2つ以上あることをいいます。

● HDD

ハードディスクドライブ内蔵のものをいいます。

● SSD

ソリッドステートドライブ内蔵のものをいいます。

● BDレコーダー

DVDの後継となる光ディスク。
ブルーレイディスクレコーダー内蔵のものをいいます。

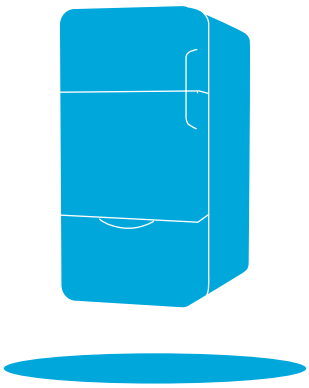
● DVDレコーダー

デジタルデータの記録媒体、光ディスクの一種。
DVDレコーダー内蔵のものをいいます。

省エネ家電の上手な使い方・選び方

「電気冷蔵庫」

ライフスタイルや家族の人数に合わせて、
大きさや機能を選ぶことが省エネにつながります。



■ 冷蔵庫の使い方・置き方によって大きな省エネ効果があります

● ものを詰め込みすぎない

年間で電気 **43.84kWh** の省エネ　約 **1,180円** の節約

原油換算　**9.77ℓ**　CO_2削減量　**18.50kg**

詰め込んだ場合と、半分にした場合との比較

● 無駄な開閉はしない

年間で電気 **10.40kWh** の省エネ　約 **280円** の節約

原油換算　**2.31ℓ**　CO_2削減量　**4.38kg**

旧JIS開閉試験*の開閉を行った場合と、その2倍の回数を行った場合との比較

*旧JIS開閉試験：冷蔵庫は12分ごとに25回、冷凍庫は40分ごとに8回で、開放時間はいずれも10秒

● 開けている時間を短く

年間で電気 **6.10kWh** の省エネ　約 **160円** の節約

原油換算　**1.36ℓ**　CO_2削減量　**2.57kg**

開けている時間が20秒間の場合と、10秒間の場合との比較

● 設定温度は適切に

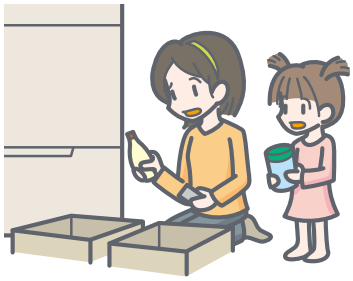
年間で電気 **61.72kWh** の省エネ　約 **1,670円** の節約

原油換算　**13.76ℓ**　CO_2削減量　**26.04kg**

周囲温度22℃で、設定温度を「強」から「中」にした場合

● 冷蔵庫の中の整理を

ずっと前に食べ残した食品が、冷蔵庫の奥で眠っていませんか?「とりあえず保存」は、結局食べずに捨てられることが多いようです。また、常温で保存できるものを冷蔵庫に入れていませんか？缶詰、びん詰や調味料は、未開封なら冷蔵庫に入れる必要はありません。





● 取り出すときは

・ドアの開閉は短く、手早くしましょう。
・ドアのパッキンの傷みに注意しましょう。

● 庫内温度の設定方法

室温を控えめに設定すると消費電力量が少なくなりますので、設定が「強」になっていたら「中」や「弱」にすると省エネになります。ただし、食品の傷みには注意してください。

※冷蔵庫の温度調整のダイヤルは、ドア外側正面、あるいは冷蔵室の庫内にあります。



● 熱い物は冷ましてから保存

麦茶やカレー、シチューなど、温かいものをそのまま冷蔵庫へ入れていませんか？庫内の温度が上がり、冷やすのに余分なエネルギーが消費されるのでご注意。



● 設置方法

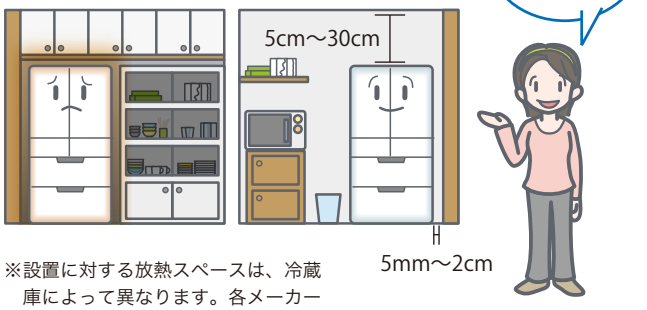
本体の周囲(上部及び左右)に適当な間隔をあけて置きましょう。直射日光の当たるところ、ガスこんろなどの熱源の近くを避けてください。

● 壁から適切な間隔で設置

年間で電気 **45.08kWh** の省エネ　約 **1,220円** の節約

原油換算　**10.05ℓ**　CO_2削減量　**19.02kg**

上と両側が壁に接している場合と片側が壁に接している場合との比較

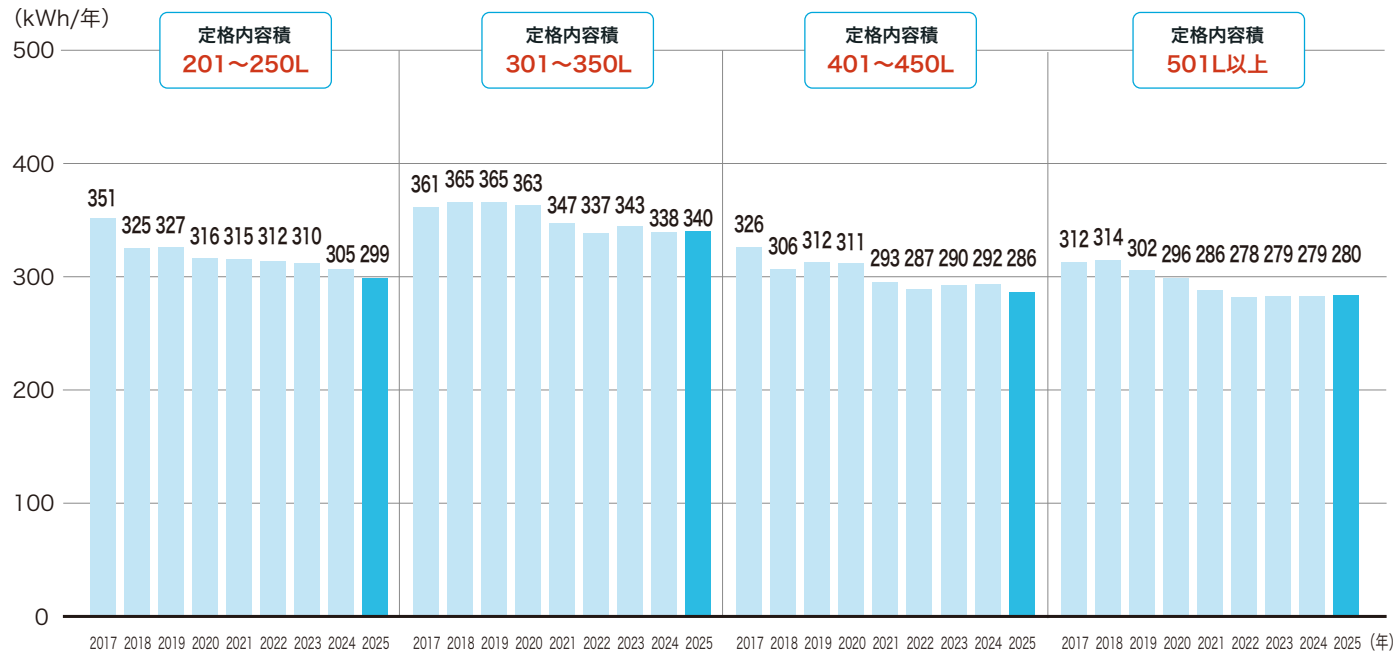


※設置に対する放熱スペースは、冷蔵庫によって異なります。各メーカーのカタログ等をご確認ください。

このページのデータは一般財団法人 省エネルギーセンターの実測値に基づき算出しています。

■ 年間消費電力量の推移（kWh/年）

定格内容積別比較

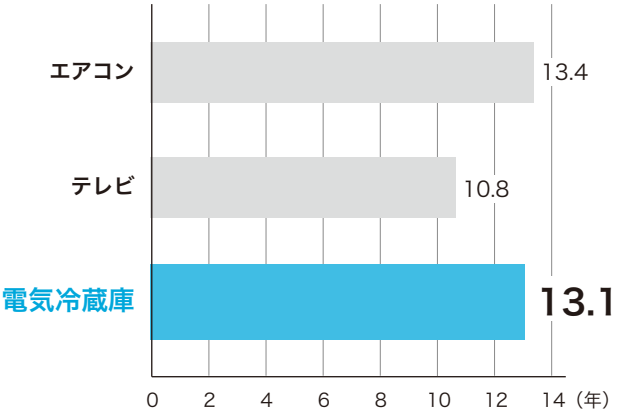


年間消費電力量は、日本工業規格JIS C 9801:2015「家庭用電気冷蔵庫及び電気冷凍庫の特性及び試験方法」に基づき測定された年間消費電力量（kWh/年）を整数で表示しています。（定格周波数が50ヘルツ・60ヘルツ共用のものは、それぞれの周波数で測定した数値のうち大きいものとします。また、切替室があるものは、それぞれの状態で測定した数値のうち大きいものとします。）

出所：省エネ性能カタログ夏版･冬版の単純平均値（2017年）、 省エネ性能カタログPDF版の平均値（2018～2025年）

■ 平均使用年数（年）

平均使用年数は長期化?!



出所：内閣府 消費動向調査(R8.3月実施分)

買い替えで省エネ

24時間365日働き続ける冷蔵庫は家庭の年間消費電力量の多くを占めます。省エネ性能の高い製品に買い替えると電気代を大幅に削減できます。



■ 冷蔵庫の選び方

● 大きさ

冷蔵庫の大きさは、外形寸法の他、容積についてＬ（リットル）で表示されています。家族の人数、買い置きの量等に応じた容積のものを選びましょう。冷蔵庫は、容積に比例して年間消費電力が必ずしも大きくなるわけではありません。詰め込み過ぎと感じるようならば、大きいサイズの冷蔵庫も検討してみましょう。

● 冷凍室

消費電力量は特に冷凍室の大きさに影響されます。ライフスタイルに合ったサイズを選びましょう。

● 冷却方式

主に2ドア以上のものは、間冷式が主流になっています。

間冷式（冷気強制循環方式）

冷却器で冷やされた冷気をファンにより循環させ、冷蔵庫内を冷却する方法です。

直冷式（冷気自然対流方式）

冷却器自身の熱伝導と冷気の自然対流によって、冷蔵庫内を冷却する方法です。

■ 10年前の冷蔵庫と最新冷蔵庫の機能を比較すると

要素		10年前の冷蔵庫 2010~11年度モデルを対象とする	最新冷蔵庫 2020~21年度モデルを対象とする
主流の容量		400Lクラス以上が主流に	500L以上が主流で600L以上クラスも
鮮度保持	冷蔵室	冷風で乾燥した庫内	湿度を保持する工夫をしたタイプもあり
	野菜室	ラップ包装不要なものも	ラップ包装不要/高湿保存、栄養素アップ、エチレンガスを減らせる工夫があるタイプも
	冷凍室	急冷機能	急冷機能だけでなく、様々な冷凍保存機能
	特定低温室	チルドが主流	チルドや氷温、パーシャルなど様々な温度帯で生鮮食品の鮮度長持ち
使い勝手	製氷	自動製氷機能がほぼ定着	自動製氷機能は標準装備/洗える部品が多くなりより清潔に/ミネラルウォーター使用可能/独立製氷室も標準化
	貯蔵室	引き出し式の冷凍室が定着	引き出し式冷凍室が標準も、様々な形態とレイアウト、温度が切り替えられる小部屋がついているタイプも
	収納性	大型化は進むけれど… 収納する大きさや量は限られていた	食品の形態や使用状況に合せて、棚やポケットの位置を変更可能/ポケットや収納部の形状にも工夫がされている/大量収納でも、ドアの開け閉めは軽々!
デザイン	形態	片開きタイプから 6ドアの観音開きが主流	6ドアの観音開きタイプが主流/ガラス棚が登場しお手入れもしやすく/多様なレイアウトや形態が選べる
	外装	鋼板タイプが主流	ガラスタイプが主流/高光沢ドア・柄・ストライプなど高級家具並みの質感

出所：一般社団法人 日本電機工業会ホームページより引用

■ 進化した省エネ技術

一般的に、容積が大きいほど年間消費電力量は大きくなりますが、インバータ制御や真空断熱材を導入した製品は、省エネ性が高くなっています。

インバータ制御

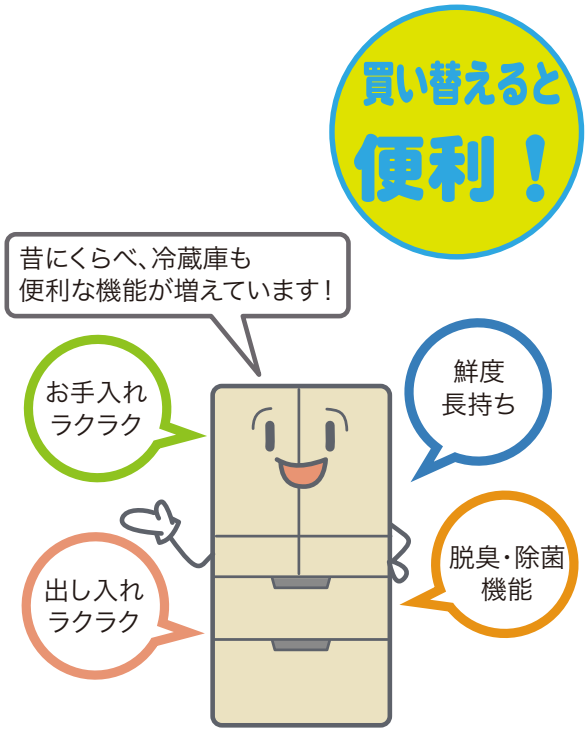
従来は一定だったコンプレッサーやモーターなどの回転数を変化させ、効率良く運転する技術です。ドアの開閉や、庫内・周辺温度に適したモーターの回転数に制御することで、きめ細かい運転ができるため、大きな省エネ効果を発揮します。

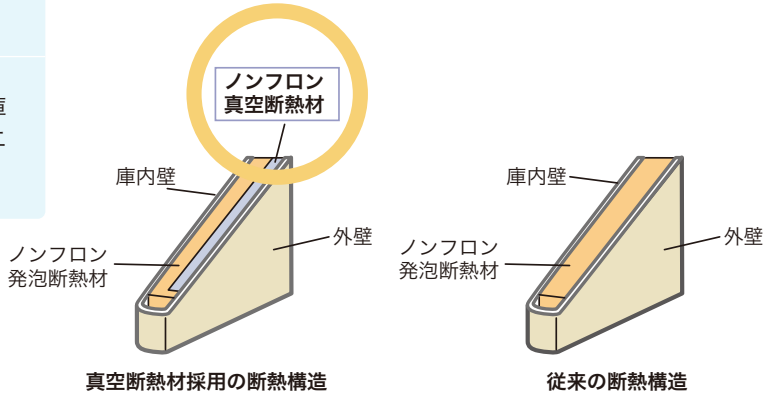
ノンフロン対応

オゾン層を破壊せず、代替フロンに比べて地球温暖化係数の小さい炭化水素系冷媒R600a(イソブタン)を使用しています。

断熱材

断熱効果の高い高性能断熱材を使用しています。庫内の温度を低く保ち、断熱性能が向上し、高い省エネ性能を発揮します。





真空断熱材採用の断熱構造　　従来の断熱構造

■ 統一省エネラベルと多段階評価点



電気冷蔵庫　目標年度2021年度



省エネ性能の高い順に0.1きざみ（5.0～1.0）の評価点で表示。
★（星マーク）は多段階評価点に応じて表しています。

年間消費電力量

冷蔵庫をJISで規定された測定方法で使用したときの1年間に消費する電力量です。年間消費電力量が小さいほど、目安となる年間電気料金が安くなります。一般的に、容積が大きいほど年間消費電力量は大きくなりますが、インバータ制御や真空断熱材を導入した製品は、省エネ性が高くなっています。

省エネ基準達成率

冷却方式、定格内容積等が同じならば、省エネ基準達成率が高いほど省エネ性に優れています。冷蔵庫は、冷却方式、定格内容積等により分けられた区分ごとに目標基準値算定式が設定されています。

■ 掲載製品

家庭用の電気冷蔵庫及び電気冷凍冷蔵庫を掲載しています。
冷蔵のみの製品、熱電素子を使用するもの、吸収式のもの、業務用品、受注生産品、特殊仕様品等は対象外です。

省エネ性能カタログの区分　間冷式は定格内容積によって行っています。
（サイトでは絞り込み検索ができます。）

間冷式	140 リットル以下	141 ～ 200 リットル	201 ～ 250 リットル
	251 ～ 300 リットル	301 ～ 350 リットル	351 ～ 400 リットル
	401 ～ 450 リットル	451 ～ 500 リットル	501 リットル以上
直冷式			

■ 各種表示

● 年間消費電力量（kWh/年）

日本工業規格JIS C 9801-3:2015「家庭用電気冷蔵庫及び電気冷凍庫の特性及び試験方法」に基づき測定された年間消費電力量（kWh/年）を整数で表示しています。（定格周波数が50ヘルツ・60ヘルツ共用のものは、それぞれの周波数で測定した数値のうち大きい方とします。また、切替室があるものは、それぞれの状態で測定した数値のうち大きい方とします。）

周囲温度	32℃：205日 / 16℃：160日
設置条件	側面壁：両側 奥行：製品奥行寸法以上 隙間：50mm 背面壁：ストッパーまで当てる
庫内温度	冷蔵室：4℃ / 冷凍室：-18℃
ドア開閉回数	冷蔵室：1回/日（負荷投入） 冷凍室：1回/日（負荷投入）
庫内負荷	途中投入有り
付加機能	自動製氷機等作動有り

● 定格内容積

庫内の棚やケースなどを除いて計算した内部の容積です。定格内容積の各値から基準となる年間消費電力量を算出し、測定した年間消費電力量と比較して、省エネ基準達成率を割り出します。

$$\text{電気冷蔵庫の省エネ基準達成率} = \frac{\text{定格内容積から算出した年間消費電力量}}{\text{測定した年間消費電力量}} \times 100$$

● 冷蔵室、野菜室、冷凍室（単位：リットル）

各貯蔵室は、日本工業規格JIS C 9801:2015に基づき下表のように目標温度を定義しました。

貯蔵室の種類		目標温度
冷蔵室ほか	冷蔵室	4℃
	セラー室	12℃
	パントリー室	17℃
	チラー室	2℃
	ゼロスター室	0℃
冷凍室	ワンスター室	-6℃
	ツースター室	-12℃
	スリースター室	-18℃
	フォースター室	-18℃

冷蔵室は、冷蔵室、パントリー、チラー、ゼロスターの各室の容積を合計した値です。野菜室はセラーの容積です。冷凍室はワンスターからフォースターの各冷凍室の容積の合計です。

● 観音開き

冷蔵室のドアが2枚で、中央で両開きします。フレンチドアともいいます。

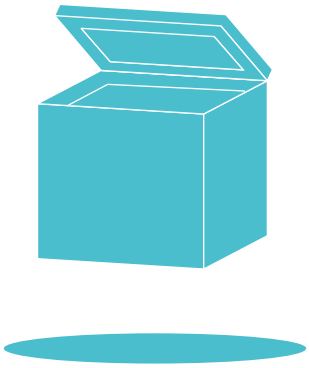
● ノンフロン対応

オゾン層を破壊せず、代替フロンに比べて地球温暖化係数の小さい炭化水素系冷媒R600a（イソブタン）を使用しています。

省エネ家電の上手な使い方・選び方

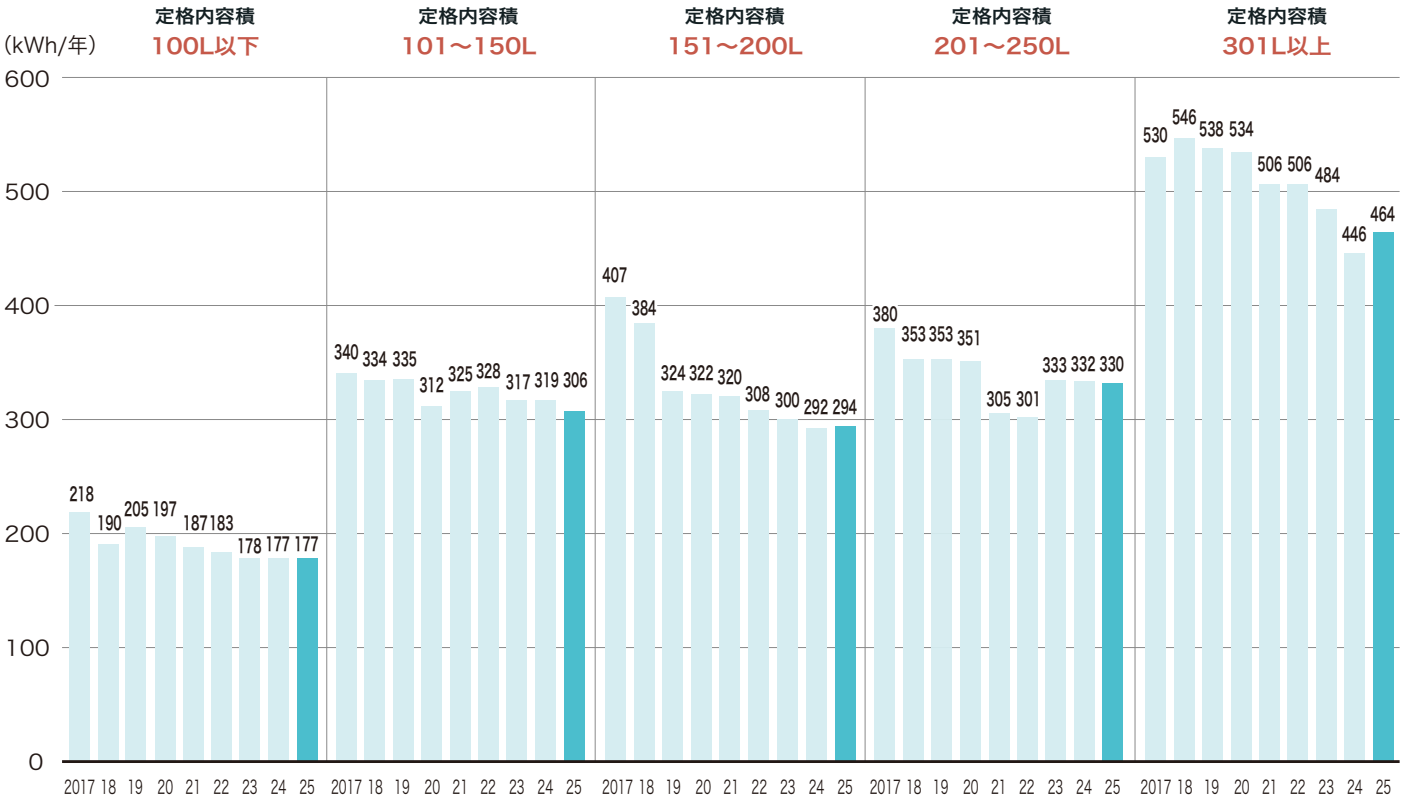
「電気冷凍庫」

電気冷凍庫の年間消費電力量は
毎年少しずつ小さくなってきています。



■ 年間消費電力量の推移（kWh/年）

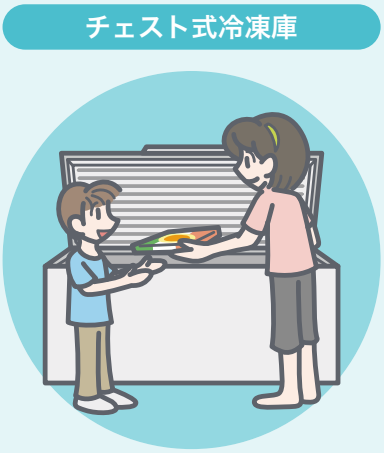
定格内容積別比較

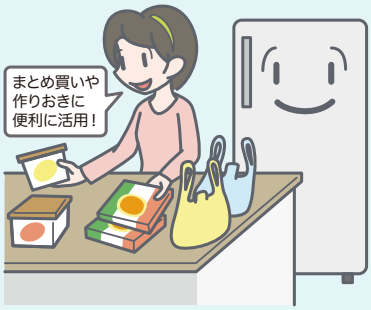


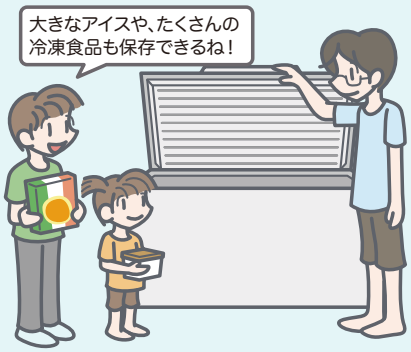
出所：省エネ性能カタログ夏版･冬版の単純平均値（2017年）、省エネ性能カタログPDF版の平均値（2018～2025年）

■ 電気冷凍庫の種類









■ 統一省エネラベルと多段階評価点



電気冷凍庫　目標年度2021年度



省エネ性能の高い順に0.1きざみ（5.0～1.0）の評価点で表示。
★（星マーク）は多段階評価点に応じて表しています。

年間消費電力量

冷凍庫をJISで規定された測定方法で使用したときの1年間に消費する電力量です。年間消費電力量が小さいほど、目安となる年間電気料金が安くなります。

省エネ基準達成率

冷却方式、定格内容積等が同じならば、省エネ基準達成率が高いほど省エネ性に優れています。冷凍庫は、冷却方式により分けられた区分ごとに目標基準値算定式が設定されています。

■ 掲載製品

家庭用の電気冷凍庫を掲載しています。熱電素子を使用するもの、吸収式のもの、特殊な仕様のもの、業務用のものは対象外です。

省エネ性能カタログの区分　定格内容積によって行っています。（サイトでは絞り込み検索ができます。）

100 リットル以下	101 ～ 150 リットル
151 ～ 200 リットル	201 ～ 250 リットル
251 ～ 300 リットル	301 リットル以上

■ 各種表示

● 年間消費電力量（kWh/年）

日本工業規格JIS C 9801-3:2015「家庭用電気冷蔵庫及び電気冷凍庫の特性及び試験方法」に基づき測定された年間消費電力量（kWh/年）を整数で表示しています。（定格周波数が50ヘルツ・60ヘルツ共用のものは、それぞれの周波数で測定した数値のうち大きい方とします。）

周囲温度	32℃：205日 / 16℃：160日
設置条件	側面壁：両側 奥行：製品奥行寸法以上 隙間：50mm 背面壁：ストッパーまで当てる
庫内温度	冷凍室：-18℃
ドア開閉回数	冷凍室：1回/日
庫内負荷	途中投入有り

● 冷却方式

間冷式（冷気強制循環方式）

冷却器で冷やされた冷気をファンにより循環させ、冷凍庫内を冷却する方法です。

直冷式（冷気自然対流方式）

冷却器自身の熱伝導と冷気の自然対流によって、冷凍庫内を冷却する方法です。

● 定格内容積

庫内の棚やケースなどを除いて計算した内部の容積です。

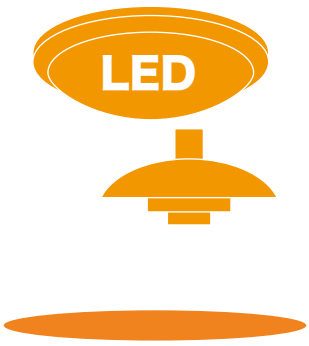
● ノンフロン対応

オゾン層を破壊せず、代替フロンに比べて地球温暖化係数の小さい炭化水素系冷媒R600a（イソブタン）を使用しています。

省エネ家電の上手な使い方・選び方

「照明器具」

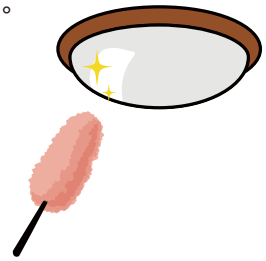
LED 照明器具、蛍光灯照明器具を掲載しています。
調光・調色・デザインをライフスタイルに合わせて選択、
多段階評価で省エネ性能も確認できます。



■ 上手な使い方

● こまめに、掃除しましょう。

ランプやカバーが汚れると、明るさは極端に低下します。
ダイニングキッチンなどの汚れやすい場所ではきちんとお手入れしましょう。



● 無駄な灯りは、消しましょう。

長時間部屋を空けるときは、消した方が経済的です。

■ 上手な選び方

● LED照明器具は蛍光灯照明器具に比べて電気代が安い。

● 使用ランプの光源色は5種類あります。



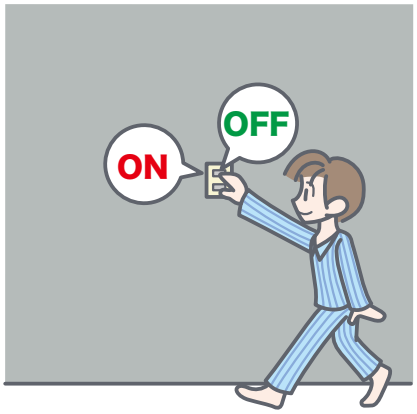
- 部屋の目的や雰囲気に合わせて選びましょう。
- 調光・調色はリモコンで調節できるものもあります。

● つけっぱなしは要注意！

リモコン機能（点灯、消灯、調光など）を使用中は、わずかながら電力を消費しています。壁スイッチの電源をオフにする習慣をつけて、待機時消費電力を削減しましょう。

おすすめ

消灯はリモコンだけでなく壁スイッチも！



● 省エネ型製品情報サイトに掲載の主な照明器具　6種

シーリングライト、ペンダントライト、ブラケット、ダウンライト、スポットライト、フロアライトがあります。

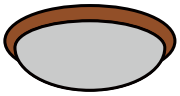


照明器具の種類

● それぞれの特徴を確認して選びましょう ●

全方向が明るいタイプ





❶シーリングライト
天井に直接つけるタイプ。
リビング、寝室、子ども部屋などでお部屋全体を照らします。

全方向一方向どちらも明るい



❷ペンダントライト
天井から吊るすタイプ。
ダイニングやリビング、和室などでお部屋全体を照らすことも部分照明として使うこともできます。



❸ブラケット
壁付けの照明ですので
リビングや吹き抜けの補助照明。
廊下、階段、玄関ドア付近、勝手口等に用いられます。

一方向に明るいタイプ





❹ダウンライト
天井に埋め込まれ、真下を照らす照明です。補助照明として使われることもあります。



❺スポットライト
集中的に当てたいときに使います。
リビング、ダイニング、寝室などの天井や壁に取り付けます。



❻フロアライト
廊下などで足元を照らします。
タイマーやセンサー付きがあります。

出所：一般社団法人　日本照明工業会ホームページに基づき作成

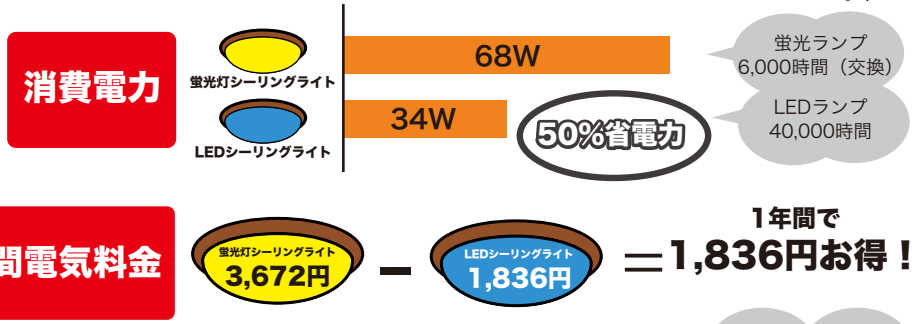
■ 上手な選び方

シーリングライトの消費電力・電気料金比較

● LEDシーリングライトは
蛍光灯シーリングライトに比べて

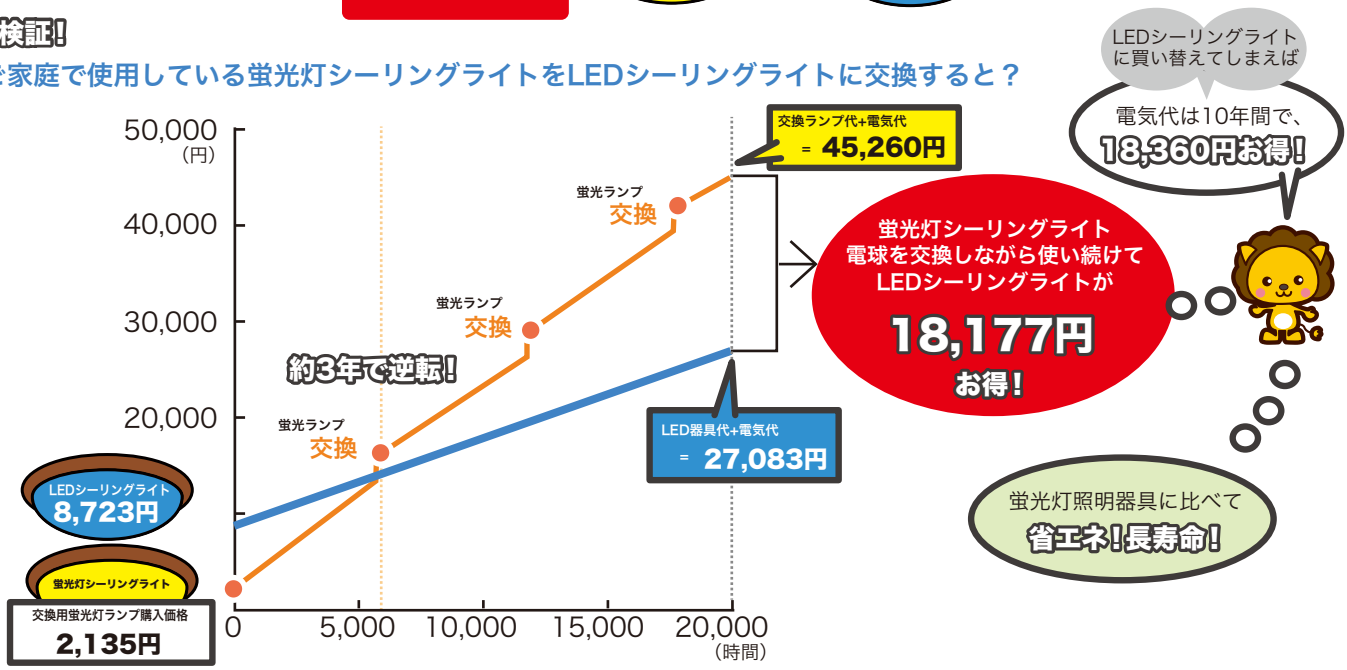
消費電力は50%減！

年間電気料金は大幅カット！



徹底検証！

● ご家庭で使用している蛍光灯シーリングライトをLEDシーリングライトに交換すると？



※以下の①～④を元に環境省が算出（2018年8月）。ランプ・光源の寿命は、使用環境や条件によってばらつきがあります。蛍光灯シーリングライトの器具の代金は含まれていません。
①年間点灯時間：2000時間（1日5～6時間点灯した場合）
②電気代：電力量1kWhあたり27円（税込）公益社団法人全国家庭電気製品公正取引協議会電力料金目安単価（2014年4月28日改定）
③消費電力：8畳用蛍光灯用シーリングライト68W、LEDシーリングライト34W
④購入価格例：8畳用蛍光灯用ランプ2,135円（『環形30W＋40W　主要メーカー店頭表示価格＜6000時間で交換要＞』大手家電流通協会調査データ2018年8月店表示価格平均）。
8畳用LEDシーリングライト8,723円（全国有力家電量販店の販売実績集計/GfK JAPN調べデータ　集計期間2017年7月～2018年6月）

省エネ技術

● 調光・調色をシーンに合わせて点灯すればムダなく省エネ



※写真はLEDシーリングライトで、調光・調色を変えた時のイメージです。
※調光・調色機能や、自動調節機能の有無は機種により異なります。

● LED照明器具は多灯分散照明に適しています

食事時には食卓周りだけ照明を点けて…。　　くつろぎの時間はテーブル周りだけに切り替え。



進化する機能　● 停電時に自動で点灯する、人感センサで点灯する、目に優しい（ブルーライトの低減）、お部屋の空気をきれいにするなど、安全・快適・便利・健康な生活をサポートする機能が進化しています。

出所：一般社団法人 日本照明工業会 住まいの省エネBOOK LED

■ 統一省エネラベルと多段階評価点



照明器具
目標年度2020年度



省エネ性能の高い順に0.1きざみ（5.0～1.0）の評価点で表示。
★（星マーク）は多段階評価点に応じて表しています。

目標年度

トップランナー基準を達成すべき年度で、照明器具の目標年度は2020年度です。

エネルギー消費効率

機器によって表示語が異なり、各機器ごとに定められています。照明器具は固有エネルギー消費効率（lm/W）で表します。

省エネ基準達成率

その製品が属するトップランナー基準の区分の目標基準値を、どの程度達成しているかを%で示します。照明器具は光源色により目標基準値が設定されています。

■ 掲載製品

LED照明器具、蛍光灯照明器具を掲載しています。

省エネ性能カタログの区分　使用タイプ、畳数によって行っています。（サイトでは絞り込み検索ができます。）

シーリングライト（～8畳、～10畳、～12畳、～14畳、16畳以上）
ペンダントライト（～8畳、～10畳、～12畳、～14畳、16畳以上）
ダウンライト
スポットライト
ブラケット
フロアライト
その他施設用

■ 各種表示

● 目標年度

トップランナー基準を達成すべき年度で、照明器具の目標年度は2020年度です。

● 省エネ基準達成率（%）

その製品が属するトップランナー基準の区分の目標基準値を、どの程度達成しているかを%で示します。照明器具は、光源色により目標基準値が設定されています。

光源色	基準固有エネルギー消費効率
昼光色・昼白色・白色	**100.0**
温白色・電球色	**50.0**

● 固有エネルギー消費効率（lm/W）

1Wあたりの光束（明るさ）で表します。小数点以下1桁まで表示します。

$$\text{固有エネルギー消費効率 (lm/W)} = \frac{\text{照明器具全光束（lm）}}{\text{消費電力（W）}}$$

● 1年間の目安電気料金（円）

一般家庭での年間点灯時間を2,000時間（1日あたりの平均点灯時間5.5時間）として算出した年間消費電力量をもとにします。1kWhあたり27円（税込）として算出した目安電気料金を有効数字3桁で表示しています。
各家庭の使用実態や電力会社等によって異なります。

$$\text{年間消費電力量 (kWh/年)} = \frac{\text{消費電力（W）} \times 2000\text{（h）}}{1000}$$

1年間の目安電気料金（円）＝

年間消費電力量（kWh/年）× **27**（円/kwh）

● 照明器具全光束（lm）

光源がすべての方向に、単位時間（1秒）あたりに放射する光の量のことを全光束といいます。lm（ルーメン）は、国際単位系による光束の単位です。照明器具全光束は、全光束の数値に器具効率を乗じた数値をlm（ルーメン）単位で表示します。LEDの場合は、定格光束です。

● 消費電力（W）

照明器具に表示したり、カタログ等で公表している照明器具の標準的な消費電力です。LEDの場合は、定格消費電力です。

● 使用ランプの種類

LED、蛍光灯があります。

● 使用ランプの光源色

昼光色、昼白色、白色、温白色、電球色があります。

● タイプ

シーリングライト、ペンダントライト、ダウンライト、スポットライト、ブラケット、フロアライトなどがあります。

● 明るさと部屋の広さの目安

シーリングライト、ペンダントライトの照明器具全光束（lm）と部屋の広さの目安です。取り替えの際の参考にしてください。

シーリングライト		ペンダントライト	
照明器具全光束（lm）	取り替えの目安	照明器具全光束（lm）	取り替えの目安
4300未満	～8畳	3870未満	～8畳
4900未満	～10畳	4410未満	～10畳
5500未満	～12畳	4950未満	～12畳
6100未満	～14畳	5490未満	～14畳
6100以上	16畳以上	5490以上	16畳以上

出所：一般社団法人　日本照明工業会ホームページより引用

● 調色機能

壁スイッチなどで光源色の切り替えができる製品に○がつきます。調色機能のある製品は主に使用される光源色を表示します。主に使用される光源色が特定されないものについては、最も高い消費電力における全光束、消費電力、光源色を表示します。

● Ra（平均演色評価数）

同じ物体の色でも、照射する光源によって色の見え方が違ってきます。この性質を光源の演色性といい、JISで規定されています。光源の演色性を数値にしたものがRa（平均演色評価数）で、値が高いほど自然な色を再現できます。

● 屋外

軒下など、屋内以外に取り付けができる製品に○がつきます。取り付けの際は、製品の説明に従ってください。

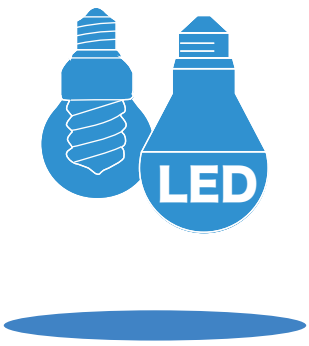
● 浴室

浴室に取り付けができる製品に○がつきます。取り付けの際は、製品の説明に従ってください。

省エネ家電の上手な使い方・選び方

「電球」

LEDランプや蛍光灯等について
等しい省エネ基準で達成状況を評価することで、
異なる光源間でも省エネ性能が比較できるようになります。



■ 上手な使い方



● 白熱電球

年間で電気 19.71kWh の省エネ　約 530円 の節約

原油換算　4.39ℓ　CO_2削減量　8.31kg

54Wの白熱電球1灯の点灯時間を1日1時間短縮した場合

● 蛍光ランプ

年間で電気 4.38kWh の省エネ　約 120円 の節約

原油換算　0.97ℓ　CO_2削減量　1.84kg

12Wの蛍光ランプ1灯の点灯時間を1日1時間短縮した場合

● LEDランプ

年間で電気 3.29kWh の省エネ　約 90円 の節約

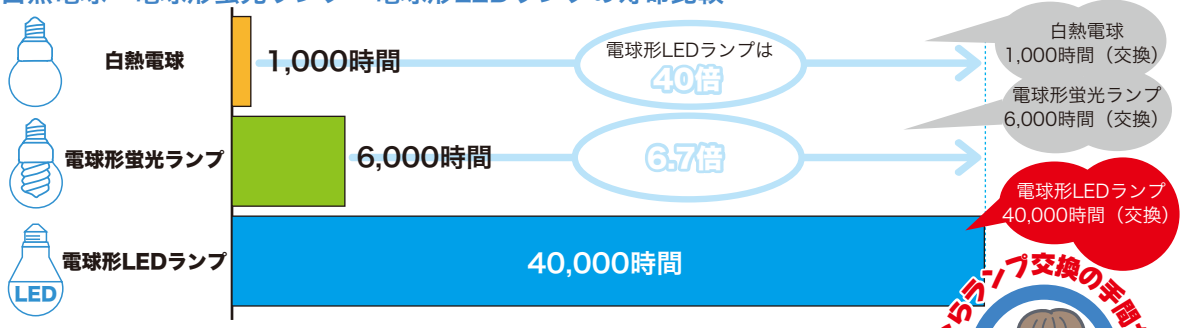
原油換算　0.73ℓ　CO_2削減量　1.38kg

9Wの電球形LEDランプ1灯の点灯時間を1日1時間短縮した場合

LEDランプの特徴

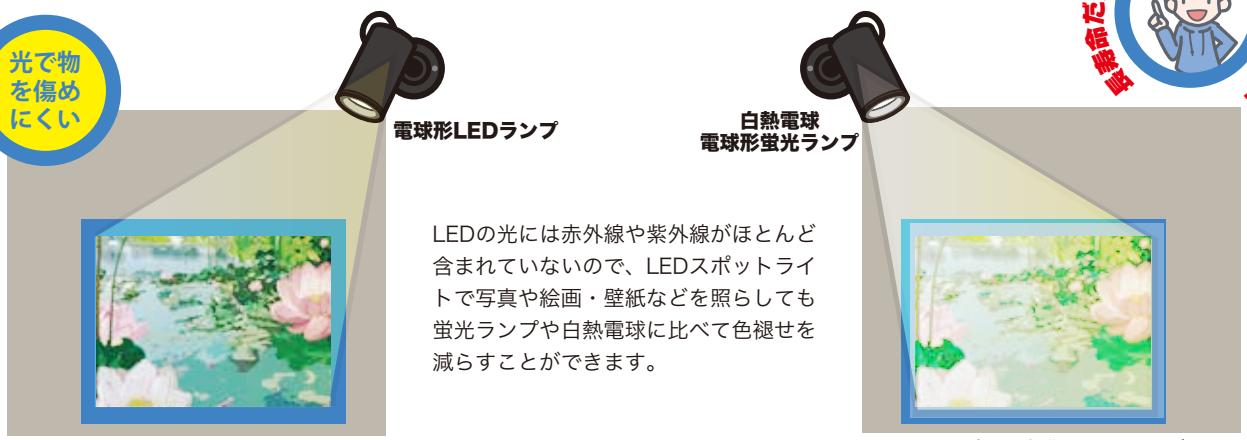
長寿命

白熱電球・電球形蛍光ランプ・電球形LEDランプの寿命比較



ランプの寿命は、製品により異なります。また使用環境や条件によってばらつきが発生します。

光で物を傷めにくい

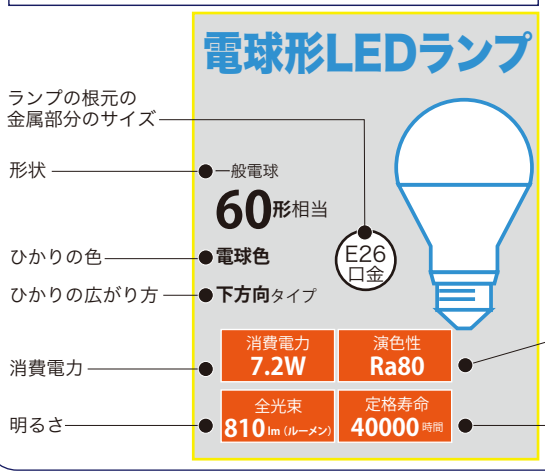


LEDの光には赤外線や紫外線がほとんど含まれていないので、LEDスポットライトで写真や絵画・壁紙などを照らしても蛍光ランプや白熱電球に比べて色褪せを減らすことができます。

退色・劣化のイメージ

LEDランプ パッケージには何が書いてある？

パッケージの表示例（メーカーによって異なります。）



その他製品サイズ、おすすめ使用器具（シーリングライト、ダウンライト、スポットライトなど）や、密閉型器具対応（浴室灯など）、屋外（玄関灯など）使用可などの表示もありますが、断熱材施工器具対応、調光機能付器具に対応かなどは必ず確認してください。

省エネ性能カタログでは、調色機能、Ra、定格寿命、密閉対応などの特性が確認できます。

虫が寄り付きにくい

紫外線がほとんど含まれていないので、虫が寄り付きにくい。



すぐに明るい

ON/OFFの繰り返しに強い

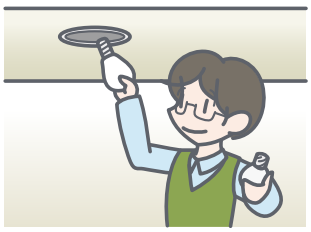
水銀フリー

水銀を使っていないので、環境にやさしい

出所：一般社団法人　日本照明工業会「住まいの照明 省エネブック　LED Q&A」

■ 上手な選び方

省エネ型に替える



● 蛍光ランプに取り替える

年間で電気 84.00kWh の省エネ　約 2,270円 の節約

原油換算　18.73ℓ　CO_2削減量　35.44kg

54Wの白熱電球から12Wの蛍光ランプに交換した場合

● 省エネ型のLEDランプに取り替える

年間で電気 90.00kWh の省エネ　約 2,430円 の節約

原油換算　20.07ℓ　CO_2削減量　37.98kg

54Wの白熱電球から9WのLEDランプに交換

このページのデータは一般財団法人 省エネルギーセンターの実測値に基づき算出しています。

白熱電球や電球形蛍光ランプを電球形LEDランプに取り替える際に注意していただくこと

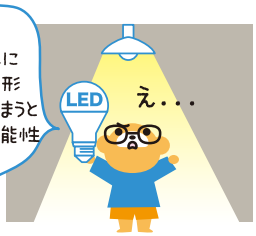


3つのチェック！

- 明るさ(lm)
- 口金のサイズ
- 調光機能対応または非対応



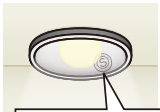
まちがって
調光機能のある照明器具に調光機能非対応の電球形LEDランプを取り付けてしまうとランプが故障してしまう可能性があります！！



LEDランプの明るさ(ルーメン(lm))、口金のサイズ、調光機能に対応または非対応を必ず販売店やメーカーに確認してください。
出所：一般社団法人 日本照明工業会ホームページ

「S」マークに注意

Sマークが付いている場合は、断熱材施工器具対応タイプを使ってください。





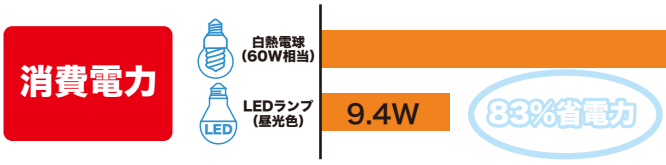
ダウンライトのこの辺についています。

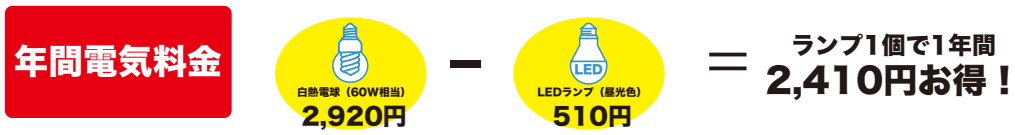


断熱材施工器具対応かどうかは、ダウンライトなどの枠や反射板、パッケージに表示されています。

LEDランプと白熱電球の消費電力・電気料金比較

● LEDランプは白熱電球に比べ、消費電力は83%減！年間電気料金は大幅カット！

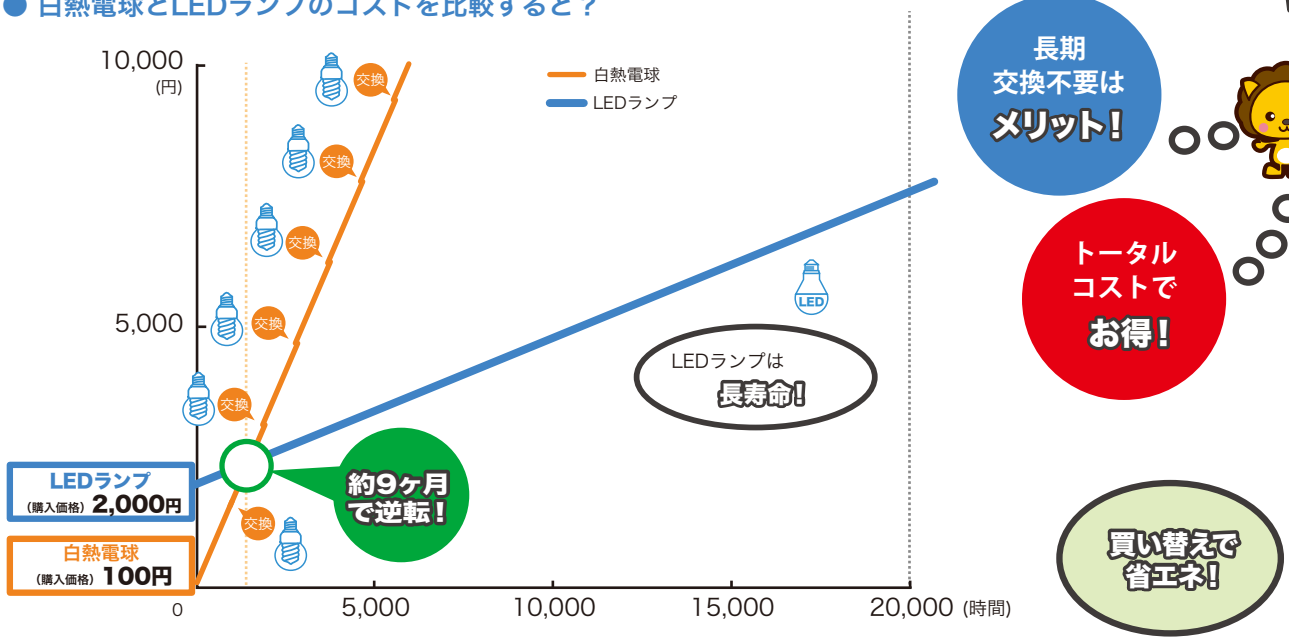




LEDランプは高いけど
電気代は10年間で、
24,100円お得！

徹底検証！

● 白熱電球とLEDランプのコストを比較すると？



※上記のグラフは、【LED照明産業を取り巻く現状】2012年11月29日 経済産業省 商務情報政策局 情報通信機器課の資料を基に新電力料金目安単価27円に変更し、再試算しています。
①電気料金　27円/kWh
②消費電力　白熱電球 54W　LEDランプ 9W
③購入価格例　白熱電球 100円　LEDランプ 2,000円

■ 掲載製品

LEDランプ、蛍光ランプであって、口金E26またはE17のものを掲載しています。

省エネ性能カタログの区分　口金の種類（E26は電球、E17は小型電球）明るさによって行っています。
（サイトでは絞り込み検索ができます。）

E26	電球20形相当（170lm～）
	電球30形相当（325lm～）
	電球40形相当（485lm～）
	電球50形相当（640lm～）
	電球60形相当（810lm～）
	電球80形相当（1160lm～）
	電球100形相当（1520lm～）

E17	小型電球25形相当（230lm～）
	小型電球40形相当（440lm～）
	小型電球50形相当（600lm～）
	小型電球60形相当（760lm～）

■ 各種表示

● エネルギー消費効率（lm/W）

1Wあたりの光束（明るさ）で表します。小数点以下1桁まで表示します。

$$\text{エネルギー消費効率（lm/W）} = \frac{\text{ランプの全光束（lm）}}{\text{ランプの消費電力（W）}}$$

● 1年間の目安電気料金（円）

一般家庭での年間点灯時間を2,000時間（1日あたりの平均点灯時間5.5時間）として算出した年間消費電力量をもとにします。1kWhあたり27円（税込）として算出した目安電気料金を有効数字3桁で表示しています。
各家庭の使用実態や電力会社等によって異なります。

$$\text{年間消費電力量（kWh/年）} = \frac{\text{消費電力（W）} \times 2000\text{（h）}}{1000}$$

1年間の目安電気料金（円）＝
年間消費電力量（kWh/年）× **27**（円/kwh）

● 全光束（lm）

光源がすべての方向に、単位時間（1秒）あたりに放射する光の量のことをいいます。lm（ルーメン）は、国際単位系による光束の単位です。

● 消費電力（W）

ランプに表示したり、カタログ等で公表しているランプの標準的な消費電力。

● 使用ランプの種類

LEDランプ、蛍光ランプ、白熱電球があります。
それぞれ以下のように省略して表示しています。
LEDランプ：LED
蛍光ランプ：蛍光
白熱電球：白熱

● 使用ランプの光源色

昼光色、昼白色、白色、温白色、電球色があります。

● 使用ランプの口金

ランプの口金の種類でE26（直径26mm）またはE17（直径17mm）があります。

● 使用ランプの形状

A形（一般電球形）、G形（ボール形）などがあります。

● 調色機能

壁スイッチなどで光源色の切り替えができる製品に○がつきます。調色機能のある製品は主に使用される光源色を表示します。主に使用される光源色が特定されないものについては、最も高い消費電力における全光束、消費電力、光源色を表示します。

● Ra（平均演色評価数）

同じ物体の色でも、照射する光源によって色の見え方が違ってきます。この性質を光源の演色性といい、JISで規定されています。光源の演色性を数値にしたものがRa（平均演色評価数）で、値が高いほど自然な色を再現できます。

● 定格寿命（時間）

規定条件で試験したときのランプの平均寿命値。ランプによってこの規定は異なります。

● 密閉対応

密閉型器具（ガラスやプラスチックなどで全体が覆われた器具）に取り付けができる製品に○がつきます。



白熱電球、蛍光ランプ、LEDランプ
目標年度2027年度

省エネ基準達成率が高いほど省エネに優れ
年間消費電力量も少なくなります。

目標年度

トップランナー基準を達成すべき年度で、電球の目標年度は2027年度です。

エネルギー消費効率

機器によって表示語が異なり、各機器ごとに定められています。電球はエネルギー消費効率（lm/W）で表します。

省エネ基準達成率

その製品が属するトップランナー基準の区分の目標基準値を、どの程度達成しているかを%で示します。電球はランプの光源色により目標基準値が設定されています。

光源色	基準エネルギー消費効率
昼光色・昼白色・白色	**110.0**
温白色・電球色	**98.6**

Q 蛍光ランプとLEDランプの違いはなんですか？

▶LEDランプは、蛍光ランプの技術をベースとして、ランプの部分をLED（発光ダイオード）にした製品です。
LEDランプは発光効率が近年飛躍的に向上し、蛍光ランプよりもさらに省エネ性能の高い照明として注目されています。

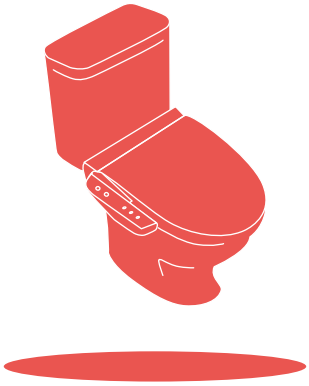
	白熱電球60W相当	蛍光ランプ	LEDランプ（昼光色）
製品価格	100円程度	700～1,200円程度	1,000～3,000円程度
エネルギー効率（lm/W）	15 (54W、810lm)	68 (12W、810lm)	90 (9.4W、850lm)
年間電気代*	2,920円/年	650円/年	510円/年
寿命	1,000時間	6,000～10,000時間	40,000時間
省エネ特徴		省電力(白熱電球の約1/4) 長寿命(白熱電球の6～10倍)	省電力(蛍光ランプの約3/4) 長寿命(蛍光ランプの4～7倍)
発光技術	フィラメントで高温発光	熱を抑え放電により発光	全く新しいLED発光

白熱電球60W相当品での比較です。
(参考：総合資源エネルギー調査会 省エネルギー・新エネルギー分科会 省エネルギー小委員会 照明器具等判断基準ワーキンググループ最終取りまとめ)
*年間電気代は、1日5.5時間点灯した場合の目安電気料金です。

省エネ家電の上手な使い方・選び方

「電気便座」

長時間使わない時は電源をOFFにしたり、
お出かけや就寝前はタイマー等の節電モードを使うことで、
省エネ効果が得られます。



■ 上手な使い方

● 使わないときはフタを閉める

年間で電気 **34.90kWh** の省エネ　約 **940円** の節約

原油換算　**7.78ℓ**　CO_2削減量　**14.72kg**

フタを閉めた場合と、開けっ放しの場合との比較(貯湯式)

● 暖房便座の温度は低めに

年間で電気 **26.40kWh** の省エネ　約 **710円** の節約

原油換算　**5.88ℓ**　CO_2削減量　**11.14kg**

便座の設定温度を一段階下げた（中→弱）場合（貯湯式）
冷房期間は便座の暖房をOFFにしています。

● 洗浄水の温度は低めに

年間で電気 **13.80kWh** の省エネ　約 **370円** の節約

原油換算　**3.07ℓ**　CO_2削減量　**5.82kg**

洗浄水の温度の設定を年間一段階下げた（中→弱）場合（貯湯式）

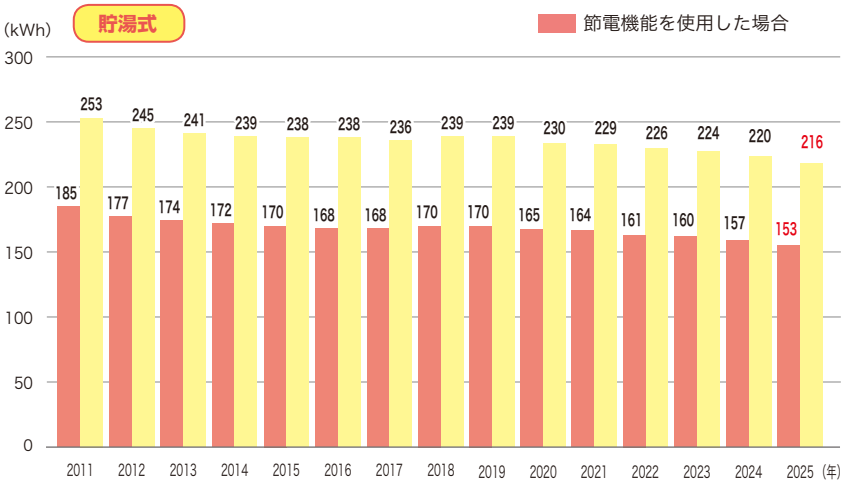
※暖房期間:周囲温度 11℃ 中間期:周囲温度 18℃ 冷房期間:周囲温度 26℃

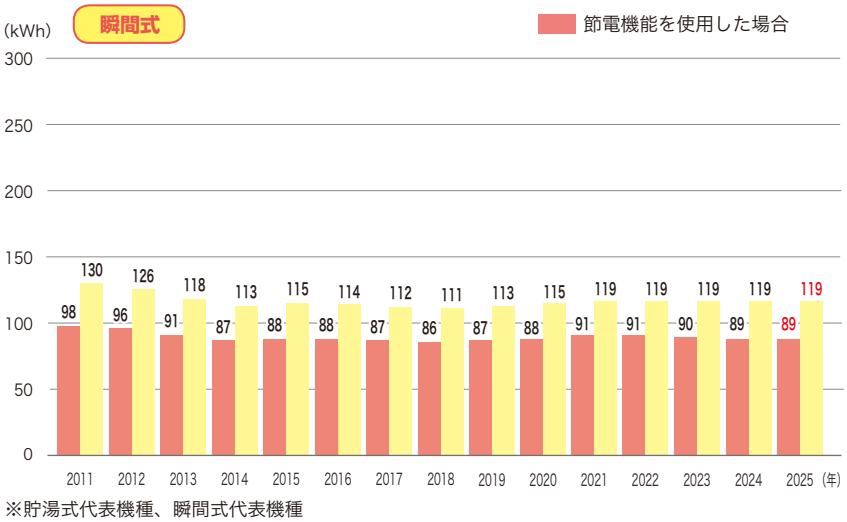
このページのデータは一般財団法人 省エネルギーセンターの実測値に基づき算出しています。



■ 上手な選び方

● 年間消費電力量の推移（kWh/年）





※貯湯式代表機種、瞬間式代表機種

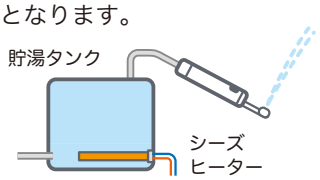
出所：省エネ性能カタログ夏版･冬版の単純平均値（2011～2017年）、
省エネ性能カタログPDF版の平均値（2018～2025年）

● 電気便座の種類

電気便座は温水洗浄便座の「貯湯式」「瞬間式」と温水洗浄機能のない暖房専用の暖房便座があります。電気料金や購入予算、家族の人数、トイレの電源など、よく考えて選びましょう。

貯湯式

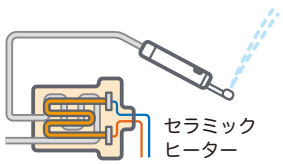
タンクの中の水をヒーターで温める方式で、一度にたっぷりの温水で洗浄することができますが、温水を保温するための電力が必要となります。



貯湯式の年間消費電力量の平均 **153kWh/年**

瞬間式

タンクがなく、使用の度に水を瞬間湯沸器で温めます。温水を保温する電力は不要のため、"貯湯式"より消費電力は小さくなります。また瞬間的に大きな電力を必要とします。



瞬間式の年間消費電力量の平均 **89kWh/年**

※消費電力量は節電機能を使用した場合の目安です。
出所：省エネ性能カタログPDF版の平均値（2025年）

■ 統一省エネラベルと多段階評価点



電気便座　目標年度2012年度

省エネ性能の高い順に0.1きざみ（5.0～1.0）の評価点で表示。
★（星マーク）は多段階評価点に応じて表しています。

年間消費電力量

電気便座を家庭での平均的な方法で使用したときの1年間に消費する電力量です。年間消費電力量が小さいほど、目安となる年間電気料金が安くなります。

省エネ基準達成率

種類（貯湯タンクの有無等）が同じならば、省エネ基準達成率が高いほど省エネ性に優れ、年間電気料金も安くなります。電気便座は、洗浄機能の有無、貯湯タンクの有無により分けられた区分ごとに、目標基準値が設定されています。

■ 掲載製品

温水洗浄便座及び暖房便座です。暖房専用便座、温水洗浄装置のみのもの、他の給湯設備から温水の供給を受けるもの、専ら鉄道車輌に用いるためのものは対象外です。

省エネ性能カタログの区分　便座の種類によって行っています。（サイトでは絞り込み検索ができます。）

貯湯式	瞬間式

■ 各種表示

● 年間消費電力量（kWh/年）

温水加熱部、便座部、制御及び操作部の機能ごとに測定した消費電力量を合計して算出し、整数で表示しています。

通常動作		節電		節電から復帰
Wh/h × 動作時間	＋	Wh/h × 節電時間	＋	Wh/h × 復帰時間

時間あたりの消費電力量から365日に換算しています。
※通常動作に脱臭、部屋暖房、温風乾燥などの付加機能は含みません。

● 最大定格消費電力（W）

便座や洗浄水を加熱したりするときの最大時の消費電力を表しています。

● 貯湯量（L）

貯湯タンク容量のうちの温水の量を表しています。

● 最大水量（L/min）

ノズルから出てくる１分あたりの最大水量です。

● 温水温度（℃）

ノズルから出てくる水の温度は、最高温度と最低温度の範囲で調節できますが、設定段階の数は機種によって異なります。

● 便座温度（℃）

便座の表面温度は、最高温度と最低温度の範囲で調節できますが、設定段階の数は機種によって異なります。

● フタ自動開閉

便座に近づくと自動でフタが開き、使用後に離れると再び自動で閉まる機能で、フタの開けっ放しによるヒーターの放熱を抑えてくれます。

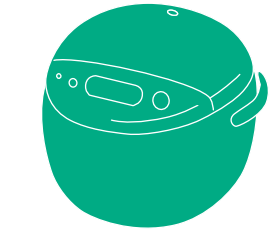
● 節電方式

電力の使用を抑える機能です。節電の方法は、温水と便座の温度を自動的にコントロールするものや、タイマーによるモードの切替など機種によって異なります。

省エネ家電の上手な使い方・選び方

「ジャー炊飯器」

1回の炊飯容量をもとに、
家庭に合った機種を選ぶことが大切です。



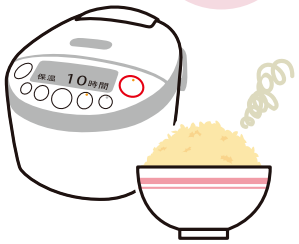
■ なるべく保温時間を短くすることが一番の省エネになります

● ご飯の保温は4時間が目安

ご飯を炊飯器で保温するには、4時間までが目安です。保温のためのエネルギーより、電子レンジで温め直すエネルギーの方が少なくなります。約7～8時間以上保温するなら、2回に分けて炊いた方がお得になります。

※製品によって、炊飯時消費電力量や保温時消費電力量が異なりますので、時間も異なります。

省エネのコツ



● 保温時間を短くするには

・まとめて炊いて冷凍保存しましょう。
・食べる時間に合わせて炊き上がるように、タイマー予約を上手に使いましょう。

● 使わないときは、プラグを抜く

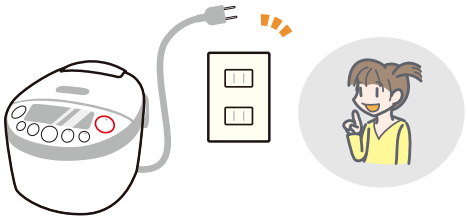
年間で電気 **45.78kWh** の省エネ　約 **1,240円** の節約

原油換算　**10.20ℓ**　CO_2削減量　**19.31kg**

1日に7時間保温し、コンセントに差し込んだままの場合と保温せずにコンセントからプラグを抜いた場合の比較

このページのデータは一般財団法人 省エネルギーセンターの実測値に基づき算出しています。

電気使用量を計算式でも確認してみましょう
(7時間保温(16.5Wh/h × 7時間) + 16時間待機(0.62Wh/h × 16)) × 365日 = 45.78kWh



炊飯時の消費電力（1回）
158Wh



10時間保温すると
165Wh　合計 **323Wh**

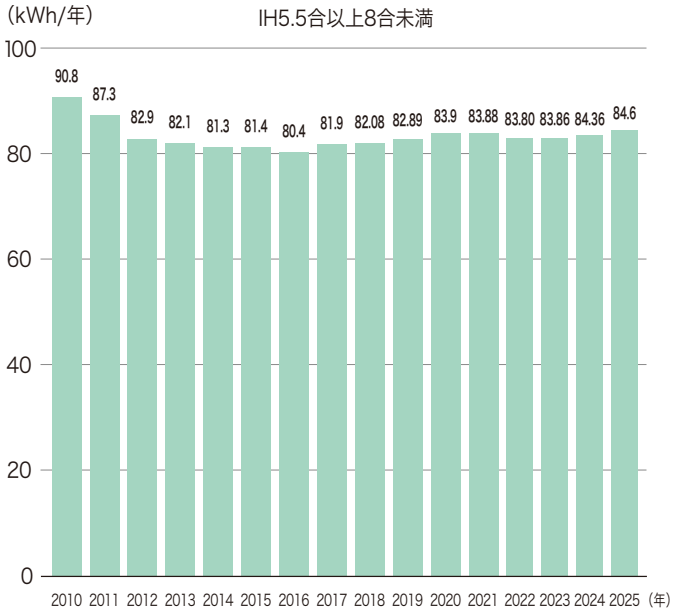
4時間保温すると
66Wh　合計 **224Wh**

保温しないで電子レンジで3分加熱すると
35Wh　合計 **193Wh**

炊飯時(158Wh/回) + 10時間保温(16.5Wh/h × 10時間) = 323Wh
炊飯時(158Wh/回) + 4時間保温(16.5Wh/h × 4時間) = 224Wh
炊飯時(158Wh/回) + 3分加熱(700Wh × 3/60分) = 193Wh
炊飯ジャー:IH5.5合以上8合未満平均消費電力量
(炊飯時158Wh/回 保温時16.5Wh/h)
電子レンジ:動作時の消費電力量700Whの場合

上記のデータは「省エネ性能カタログ2012年冬版」のデータを使用して試算しています。

■ 年間消費電力量の推移（kWh/年）



ジャー炊飯器の年間消費電力量は、炊飯時、保温時、タイマー予約時及び待機時それぞれの消費電力量を測定し、家庭における最大炊飯容量ごとの使用実態をもとに算出して合計した値を、有効数字3桁以上で表示しています。

出所：省エネ性能カタログ夏版･冬版の単純平均値（2010～2017年）、
省エネ性能カタログPDF版の平均値（2018年～2025年）

■ ジャー炊飯器の選び方

● 最大炊飯容量

設計上可能な最大炊飯量をいいます。0.54Lは3合、1Lは5.5合、1.44Lは8合、1.8Lは10合(1升)まで炊くことができます。（1合は0.18L）

● 加熱方式

IH式

電磁誘導加熱方式ともいいます。コイルによる磁力線のはたらきで、内釜自体が発熱する方式で、高火力で一気に加熱することができます。（心臓用ペースメーカーをお使いの方は、専門医師とご相談下さい。）

マイコン式

ヒーターの熱によって内釜を加熱する方式（直接加熱方式）です。IH式以外のマイコン制御のものをいいます。

● 機能

無洗米等

無洗米に合わせた水加減や米の浸水時間で炊くことができます。その他に、玄米、炊き込みご飯、おこわ、おかゆ等、炊き上げるものに適した炊き方ができるメニューがついているものがあります。

早炊き

通常の炊飯の半分ぐらいの時間で炊くことができます。



ジャー炊飯器
目標年度2008年度

省エネ基準達成率が高いほど省エネに優れ
年間消費電力量も少なくなります。

年間消費電力量

炊飯器を家庭での平均的な方法で使用したときの1年間に消費する電力量です。年間消費電力量が小さいほど、目安となる年間電気料金が安くなります。1回の炊飯時消費電力量の他に、保温やタイマー予約を利用することが多い場合は、保温時消費電力量やタイマー予約時消費電力量にも注目しましょう。

省エネ基準達成率

加熱方式や最大炊飯容量、蒸発水量が同じならば、省エネ基準達成率が高いほど省エネ性に優れ、年間電気料金も安くなります。ジャー炊飯器は、加熱方式、最大炊飯容量により分けられた区分ごとに、目標基準値算定式が設定されています。

■ Q&A

Q1 ジャー炊飯器の年間消費電力量は、具体的にどのように算出するのですか？

▶1回あたりの炊飯時消費電力量、1時間あたりの保温時消費電力量、1時間あたりのタイマー予約時消費電力量、1時間あたりの待機時消費電力量をそれぞれ測定し、アンケート調査(一般財団法人 省エネルギーセンター実施「炊飯器の使用実態アンケート調査」)により求めた年間炊飯回数等をもとに算出します。

● 最大炊飯容量ごとの平均的な使用実態

最大炊飯容量(合)	炊飯回数 (回/年)	1回あたりの炊飯(保温)精米質量(g)	保温時間 (時間/年)	タイマー予約時間 (時間/年)	待機時間 (時間/年)
3合以上5.5合未満	290	300（2合相当）	920	750	2,760
5.5合以上8合未満	340	450（3合相当）	1,540	1,190	2,990
8合以上10合未満	390	600（4合相当）	2,180	1,880	1,210
10合以上	350		2,420	1,000	2,150

年間消費電力量(kWh/年) = 炊飯時の年間消費電力量(kWh/年) + 保温時の年間消費電力量(kWh/年) + タイマー予約時の年間消費電力量(kWh/年) + 年間待機時消費電力量(kWh/年)

最大炊飯容量 3合以上5.5合未満の場合の年間消費電力量(kWh/年) = (290×A+920×B+750×C+2760×D)/1000
最大炊飯容量 5.5合以上8合未満の場合の年間消費電力量(kWh/年) = (340×A+1540×B+1190×C+2990×D)/1000
最大炊飯容量 8合以上10合未満の場合の年間消費電力量(kWh/年) = (390×A+2180×B+1880×C+1210×D)/1000
最大炊飯容量 10合以上の場合の年間消費電力量(kWh/年) = (350×A+2420×B+1000×C+2150×D)/1000

A:1回あたりの炊飯時消費電力量(Wh/回)
B:1時間あたりの保温時消費電力量(Wh/h)
C:1時間あたりのタイマー予約時消費電力量(Wh/h)
D:1時間あたりの待機時消費電力量(Wh/h)

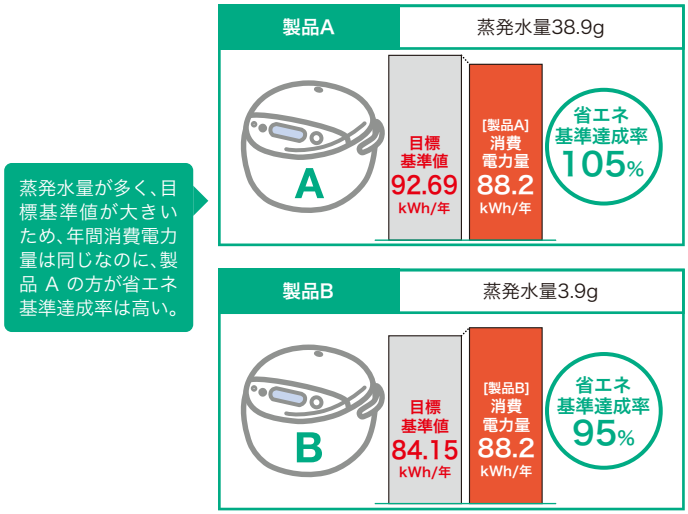
Q2 ジャー炊飯器について年間消費電力量が同じなのに、省エネ基準達成率が異なる製品があるのは、なぜですか？

▶炊飯器の目標基準値は、加熱方式、最大炊飯容量により分けられた区分ごとに定められています。また、ご飯の食味に影響する水加減、火加減や圧力･スチームなど炊き方の違いによって不公平にならないように各製品の目標基準値を蒸発水量で補正しています。例えば、IH方式・最大炊飯容量0.99L以上1.44L未満の炊飯器の場合、次のような目標基準値算定式が設定されており、蒸発水量が多いほど目標基準値が大きくなります。そのため、同じ年間消費電力量でも蒸発水量によって、省エネ基準達成率が異なります。

目標基準値算定式 = 0.244 × 蒸発水量(g) + 83.2

※蒸発水量とは、1回あたりの炊飯器消費電力量の測定の際に炊飯器機体外に放出した水の質量とし、炊飯器消費電力量の全ての測定の際の値の平均値です。

● 製品A、B
(IH式最大炊飯容量1.0L 消費電力量88.2kWh/年)の場合



蒸発水量が多く、目標基準値が大きいため、年間消費電力量は同じなのに、製品 A の方が省エネ基準達成率は高い。

■ 掲載製品

電気炊飯器を掲載しています。電子回路を有さないもの、最大炊飯容量が0.54L未満のもの、業務用のものは対象外です。

省エネ性能カタログの区分　加熱方式、最大炊飯容量によって行っています。
(サイトでは絞り込み検索ができます。)

IH式3合～5.5合未満	IH式5.5合～8合未満
IH式8合～10合未満	IH式10合～
マイコン式3合～5.5合未満	マイコン式5.5合～8合未満
マイコン式8合～10合未満	マイコン式10合～

IH式：IH式は電磁誘導加熱方式ともいい、内釜自体が発熱する方式です。
マイコン式：直接加熱方式で、ヒーターの熱によって内釜を加熱する方式です。

■ 各種表示

● 年間消費電力量（kWh/年）

炊飯時、保温時、タイマー予約時及び待機時それぞれの消費電力量を測定し、家庭における最大炊飯容量ごとの使用実態をもとに算出して合計した値を、有効数字3桁以上で表示しています。

● 炊飯時消費電力量（Wh/回）

通常炊飯コースの炊飯開始から炊飯終了までの消費電力量です。

● 保温時消費電力量（Wh/h）

炊飯終了後の1時間あたりの保温時の消費電力量です。

● タイマー予約時消費電力量（Wh/h）

炊飯器に内釜を入れて(米を入れない)、炊飯予約のタイマーを使用した状態での1時間あたりの消費電力量です。

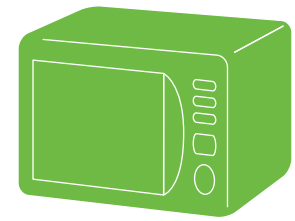
● 待機時消費電力量（Wh/h）

炊飯器に内釜を入れて(米を入れない)、コンセントを差し込んだ状態での1時間あたりの消費電力量です。

省エネ家電の上手な使い方・選び方

「電子レンジ」

野菜の下ごしらえや
冷凍食品のあたため等に利用しましょう。



■ 電子レンジでおすすめの使い方

野菜などの下ごしらえに電子レンジを使いましょう。時間短縮にもなり、ビタミンCの損失が抑えられます。





液体の食品をあたためるときは、丸い容器に入れ、途中でかき混ぜると、ムラをおさえ、速く加熱できます。

あたためるときは、食品の加熱しすぎに注意しましょう。時間設定は短めにして様子を見ながら加熱しましょう。



■ オーブン調理でおすすめの使い方

オーブンで調理するときは、なるべく大きさや厚さをそろえ、ぎっしり並べすぎないようにしましょう。



省エネのコツ

オーブンで調理中は、ドアを頻繁に開閉したり、長時間あけておいたりしないようにしましょう。

(庫内の温度が下がり調理時間が長くなります。)



■ 野菜の下ごしらえに電子レンジをどんどん利用

● 野菜の上手な下ごしらえポイント

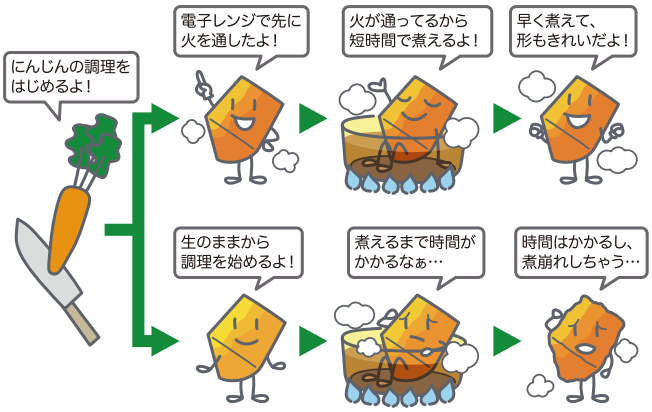
- 洗った後の水気を残しておく。
- 厚みや大きさをそろえる。
- 加熱の途中で裏返したり、かき混ぜたりする。
- アクの強い野菜は、加熱後水にさらしてアクを抜く。

● 料理の仕上げに

煮込み料理の野菜はチンしてから鍋へ。煮崩れも少ないようです。中までしっかり火を通したい時は、焦げ目をきれいにつけたあと、電子レンジへ。ガス代の大幅節約になります。

● 上手に解凍

半解凍した後、自然解凍すると味もよく、節電の効果があります。



● 葉菜(ほうれん草、キャベツ)の場合

【ガスコンロ】年間でガス 8.32m³ 約 1,350円

【電子レンジ】年間で電気 13.21kWh 約 360円

比較検討！【ガスコンロ】から【電子レンジ】に変えた場合

年間差額 約 990円 の節約

原油換算 6.71ℓ CO_2削減量 11.48kg

● 根菜(ジャガイモ、里芋)の場合

【ガスコンロ】年間でガス 9.48m³ 約 1,540円

【電子レンジ】年間で電気 22.01kWh 約 590円

比較検討！【ガスコンロ】から【電子レンジ】に変えた場合

年間差額 約 940円 の節約

原油換算 6.09ℓ CO_2削減量 10.15kg

● 果菜(ブロッコリー、カボチャ)の場合

【ガスコンロ】年間でガス 9.10m³ 約 1,470円

【電子レンジ】年間で電気 15.13kWh 約 410円

比較検討！【ガスコンロ】から【電子レンジ】に変えた場合

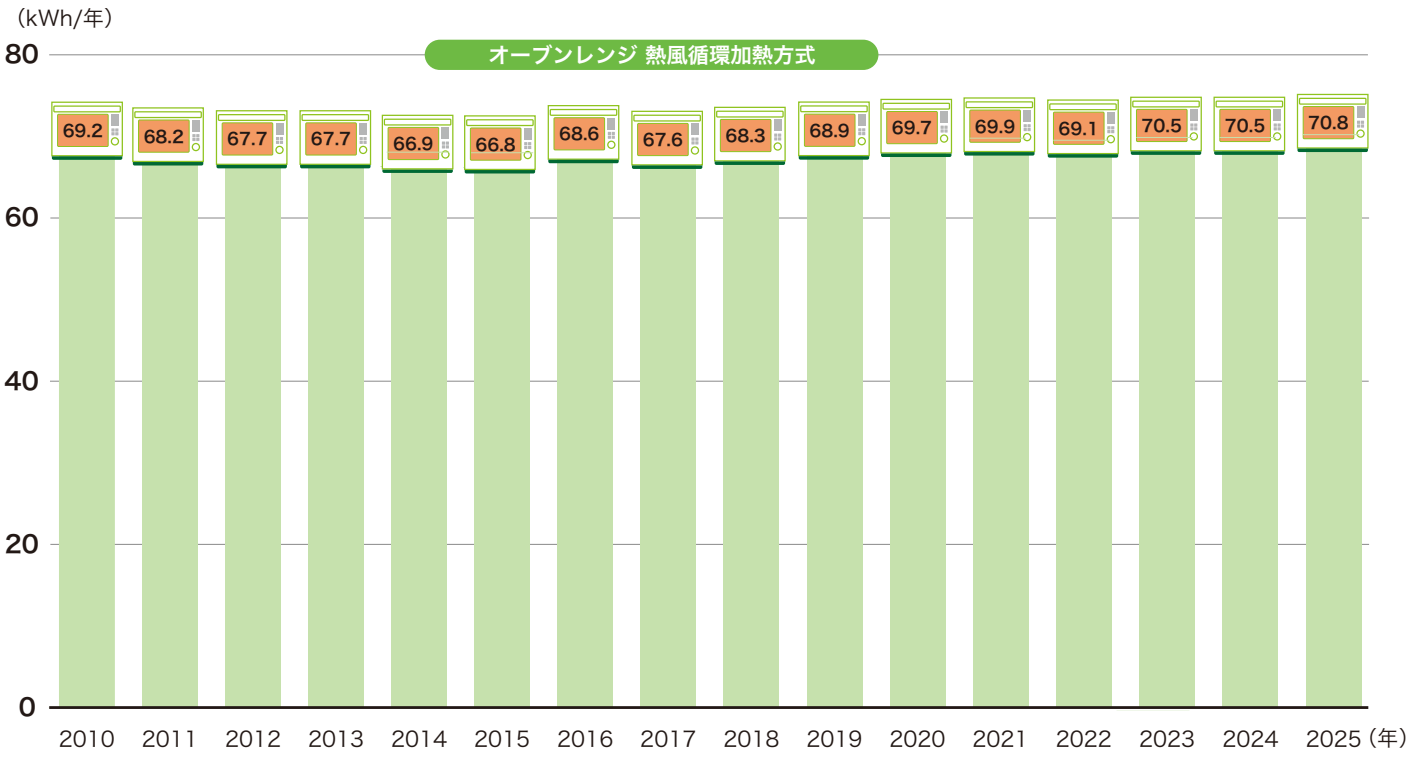
年間差額 約 1,070円 の節約

原油換算 7.18ℓ CO_2削減量 12.27kg

上記のデータは100gの食材を、1ℓの水(27℃程度)に入れ沸騰させて煮る場合と、電子レンジで下ごしらえをした場合を比較(食材の量等により異なります。)(365日、1日1回使用)

このページのデータは一般財団法人 省エネルギーセンターの実測値に基づき算出しています。

■ 年間消費電力量の推移（kWh/年）



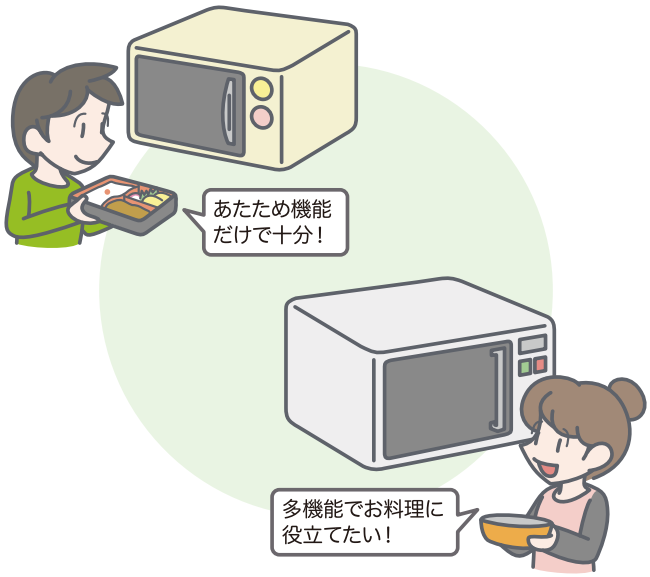
電子レンジの年間消費電力量は、家庭での平均的な方法で使用した時の1年間に消費する電力量です。電子レンジ機能、オーブン機能及び待機時のそれぞれの消費電力量を測定し、使用実態をもとに算出して合計した値を、小数点以下1桁まで表示しています。

出所：省エネ性能カタログ夏版･冬版の単純平均値（2010～2017年）、省エネ性能カタログPDF版の平均値（2018～2025年）

■ 調理方法に応じて、家庭に合った機種を選ぶことが大切です

● 機能が充実

清掃・脱臭機能、2段調理、過熱水蒸気等
使い勝手の良い製品が増えています。



● 待機時消費電力ゼロ

使用していないときに自動的に電源を切る等により、待機時消費電力をゼロにします。

● 総庫内容量

家族の人数や設置スペースに合った大きさを選びましょう。

● オーブン部の加熱方式

上下ヒーター式

ヒーターが庫内に露出しているものと、ヒーターが庫内に露出していないものがありますが、いずれも輻射熱で食品を加熱します。

熱風循環加熱方式

ヒーターの熱をファンで庫内に送り込み循環させて、食品を加熱します。

● レンジ機能のセンサー

赤外線センサー

食品の表面温度をはかりながら、食べごろの温度まで加熱します。

重量センサー

食品の重量をはかり、加熱時間を調節します。

湿度センサー

食品から出る蒸気の量をはかり、加熱時間を調節します。

● オーブン・グリル機能

1台でいろいろな調理を短時間でできるための機能を備えたものもあります。

オーブン2段調理

一度にたくさんの量を調理することができます。

グリル両面焼き

ムラをおさえ、裏返す手間がなく、調理時間を短縮できます。



電子レンジ
目標年度2008年度

省エネ基準達成率が高いほど省エネに優れ
年間消費電力量も少なくなります。

年間消費電力量

家庭での平均的な方法で使用したときの1年間に消費する電力量です。年間消費電力量が小さいほど、目安となる年間電気料金が安くなります。レンジ部の消費電力量の他に、オーブンを利用することが多い場合は、オーブン部の消費電力量にも注目しましょう。

省エネ基準達成率

オーブン機能の有無、加熱方式、庫内容積が同じならば、省エネ基準達成率が高いほど省エネ性に優れ、年間電気料金も安くなります。機能、加熱方式、庫内容積により分けられた区分ごとに、目標基準値が設定されています。

■ Q&A

Q **電子レンジの年間消費電力量は、具体的にどのように算出するのですか？**

▶レンジ機能の一定質量の食品の加熱に必要な消費電力量、オーブン機能の1回あたりの消費電力量、1時間あたりの待機時消費電力量を測定し、アンケート調査（一般財団法人 省エネルギーセンター実施「電子レンジの使用実態アンケート調査」）により求めた年間加熱回数等をもとに算出します。オーブン機能の年間加熱回数は31回、年間待機時間は6,400時間です。

● 電子レンジ機能の平均的な使用実態

加熱メニュー	実容器の種類	1回あたりの加熱質量(g)	年間あたりの加熱回数(回/年)	実容器の種類	1回あたりの加熱質量(g)	年間あたりの加熱回数(回/年)
冷蔵食品の加熱	大皿・丼(陶器)	285	363	中皿・茶碗(陶器)	125	314
冷凍食品の加熱	大皿・丼(陶器)	285	99	中皿・茶碗(陶器)	125	115
生もの(冷凍)の解凍	大皿・丼(陶器)	245	55	中皿・茶碗(陶器)	125	13
飲み物の加熱	コップ(ガラス)	185	205			

年間消費電力量(kWh/年) = レンジ部の年間消費電力量(kWh/年) +
オーブン部の年間消費電力量(kWh/年) + 年間待機時消費電力量(kWh/年)

・レンジ部の年間消費電力量(kWh/年) = (580.8 × A_{V285} + 66 × A_{V245} + 571.1 × A_{V125} + 205 × A_{V185}) / 1000
285gの食品の加熱に要する年間消費電力量(Wh/年) = { 363(回/年) + 2.2(加熱係数) × 99(回/年) } × A_{V285} = 580.8 × A_{V285}
245gの食品の加熱に要する年間消費電力量(Wh/年) = 1.2(加熱係数) × 55(回/年) × A_{V245}(Wh/回) = 66 × A_{V245}
125gの食品の加熱に要する年間消費電力量(Wh/年) = { 314(回/年) + 2.1(加熱係数) × 115(回/年) + 1.2(加熱係数) × 13(回/年) } × A_{V125}(Wh/回)
= 571.1 × A_{V125}
185gの食品の加熱に要する年間消費電力量(Wh/年) = 205 × A_{V185}
A_{V285} = 285gの食品の加熱に要する1回あたりの消費電力量(Wh/回)　A_{V245} = 245gの食品の加熱に要する1回あたりの消費電力量(Wh/回)
A_{V125} = 125gの食品の加熱に要する1回あたりの消費電力量(Wh/回)　A_{V185} = 185gの食品の加熱に要する1回あたりの消費電力量(Wh/回)

・オーブン部の年間消費電力量(kWh/年) = 31 × B / 1000
B = オーブン機能の加熱に要する1回あたりの消費電力量(Wh/回)

・年間消費電力量(kWh/年) = 6400 × C / 1000
C = 1時間あたりの待機時消費電力量(Wh/h)



■ 掲載製品

オーブン機能がついていない単機能レンジ、オーブンレンジを掲載しています。ガスオーブンを有するもの、業務用のもの、定格入力電圧が200V専用のもの、庫内高さが135mm未満のもの及びシステムキッチンその他のものに組み込まれたものは対象外です。

省エネ性能カタログの区分　オーブン機能の有無、加熱方式、庫内容積によって行っています。
（サイトでは絞り込み検索ができます。）

単機能レンジ
オーブンレンジ ヒーターの露出があるもの 庫内容積30L未満
オーブンレンジ ヒーターの露出があるもの 庫内容積30L以上
オーブンレンジ ヒーターの露出があるもの以外 庫内容積30L未満
オーブンレンジ ヒーターの露出があるもの以外 庫内容積30L以上
オーブンレンジ 熱風循環加熱方式

※庫内に噴出した熱風を循環させて加熱する方法を熱風循環加熱方式（コンベクション）といいます。ヒーターを有する熱風循環加熱方式のものは、「熱風循環加熱方式」に含まれます。

■ 各種表示

● 年間消費電力量（kWh/年）

電子レンジ機能、オーブン機能及び待機時のそれぞれの消費電力量を測定し、家庭における使用実態をもとに算出して合計した値を、小数点以下1桁まで表示しています。

● 総庫内容量（L）

JISの測定方法に基づき、測定した数値です。

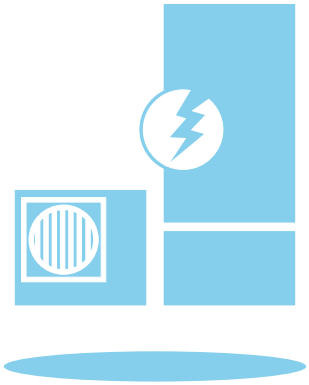
● インバータ

家庭用電源を高周波に換え制御することで、出力を自由にコントロールできる技術です。

省エネ機器の上手な使い方・選び方

「エコキュート」

ますます省エネ効率が高まるエコキュート。
使い方しだいで、より効率的にご使用いただけます。



■ 上手な使い方

● 説明書をよく読んで

製品の説明書には便利な省エネ設定や、おすすめの使い方が紹介されています。メーカーの説明書やWEBサイトを参考にしましょう。

● 保温や追いだきは控えめに

保温や追いだきは、昼間の電気使用量が増えて効率が悪くなることもあります。
また、冷たくなった残り湯から沸かしなおすより、ヒートポンプを利用してお湯を作ったほうが構造的に省エネです。お風呂の残り湯は上手に使い切り、お湯を張りなおすほうが結局は省エネになります。



● 入浴は間隔をあけずに

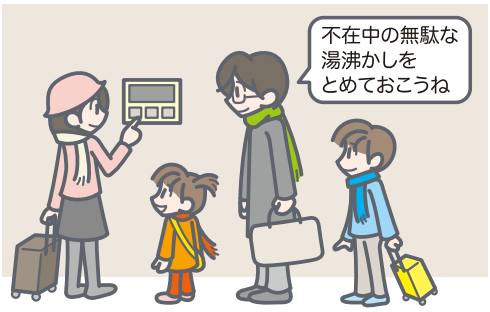
保温や追いだきに無駄なエネルギーを使わないよう、入浴は間隔をあけずに、お風呂にはフタをしてお湯が冷めないようにしましょう。



● 出荷時の設定がおすすめ

製品は、メーカーがおすすめする最も効率のよい設定で出荷しています。
お湯が足りなくなりそうな時には、リモコンの『沸き足し*』を押して必要な湯量を確保してください。旅行等で長期不在の時などは、リモコンの『休止*』設定をしてください。

*メーカー・機種により呼称が異なります。詳しくは取扱説明書をご参照ください。



■ 上手な選び方

● エコキュートの種類

ご家庭の家族構成や、設置状況を確認し、ライフスタイルに合った機器を選びましょう。また、地域によっては冬の寒さに適した寒冷地仕様タイプがあります。

フルオートタイプ：自動でお湯はり、保温、足し湯まで
オート(セミオート)タイプ：自動でお湯はり
給湯専用タイプ：カランからお湯はり

このほかミスト機能や床暖房にも使用できる多機能タイプもあります。

● 貯湯容量（リットル）

エコキュートは主にヒートポンプとタンクで構成され、貯湯容量が大きいほど、世帯人数が多いご家庭に適しています。適切な貯湯容量を選ぶと、湯量が不足せず、無駄なエネルギーも省き快適に利用することができます。

人数の目安	タンク容量
2～4人家族の場合	300Lクラス
3～5人家族の場合	370Lクラス
4～7人家族の場合	460Lクラス
5～8人家族の場合	550Lクラス

出所：一般社団法人 日本冷凍空調工業会

■ 統一省エネラベルと多段階評価点

省エネ性能の高い順に0.1きざみ（5.0～1.0）の評価点で表示。
★（星マーク）は多段階評価点に応じて表しています。



エコキュート
目標年度2025年度



エコキュート（寒冷地・少人数）
目標年度2025年度

エネルギー消費効率

同じ貯湯容量、仕様の場合、エネルギー消費効率が高いほど、省エネ性が優れた機器といえます。

省エネ基準達成率

製品が属する区分の目標基準値に対し、エネルギー消費効率がどの程度達成しているかを%で示します。
エコキュートは、想定世帯（少人数、標準）、貯湯缶数、貯湯容量、仕様（寒冷地仕様以外のもの、寒冷地仕様）により分けられた区分ごとに、目標基準値が設定されています。機器の貯湯容量が異なるなど、選び方によってエネルギー消費効率だけでは比較が難しい場合は、省エネ基準達成率も参考にしてください。

この製品を1年間使用した場合の目安電気料金

（有効数字3桁100円未満は四捨五入）

目安電気料金 ＝ 給湯（保温）モード消費電力量（kWh） × 電気料金単価（円/kWh）

東京・大阪の外気温度を前提に**4人世帯**を想定して電気温水機器を使用する場合、

目安電気料金 ＝ 4人世帯を想定した1年間あたりの電気使用量（kWh） × 平均的な電気料金単価 **23**（円/kWh）

少人数仕様の場合

東京・大阪の外気温度を前提に**2人世帯**を想定して電気温水機器を使用する場合、

目安電気料金 ＝ 2人世帯を想定した1年間あたりの電気使用量（kWh） × 平均的な電気料金単価 **23**（円/kWh）

寒冷地仕様の場合

盛岡の外気温度を前提に**4人世帯**を想定して電気温水機器を使用する場合、

目安電気料金 ＝ 4人世帯を想定した1年間あたりの電気使用量（kWh） × 平均的な電気料金単価 **20**（円/kWh）

少人数仕様かつ寒冷地仕様の場合

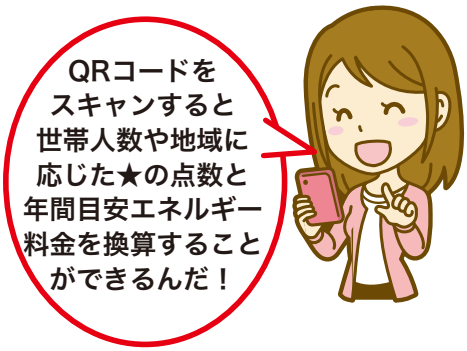
盛岡の外気温度を前提に**2人世帯**を想定して電気温水機器を使用する場合、

目安電気料金 ＝ 2人世帯を想定した1年間あたりの電気使用量（kWh） × 平均的な電気料金単価 **20**（円/kWh）

使用期間中の環境負荷に配慮し、省エネ性能の高い製品を選びましょう。

使用する地域や世帯人数により、★による点数および目安電気料金は異なりますので、ラベルに記載のQRコードからご確認ください。

温水機器換算アプリの使い方



手順 ❶
エネルギーの種類を選択します。

手順 ❷
ラベルを見て★の点数（任意）、エネルギー消費効率（必須）と年間目安エネルギー料金（必須）を入力します。
手順 ❶でエネルギーの種類を選択すると、自動で既定の単価が表示されます。（変更可能）

エネルギー単価については、最初に選択したエネルギーの種類に応じた既定の単価が表示されますが、変更することもできます。より実際に近い単価を入力すると、算出される年間目安エネルギー料金もより実際に近い金額になります。

手順 ❸
世帯人数と地域を選択します。
（地域は郵便番号でも選べます）

手順 ❹
換算

★の点数と年間目安エネルギー料金が表示されます。

★の点数及び年間目安エネルギー料金の換算表示



エネルギー選択によりエネルギー単価を自動変更

エネルギー選択肢	エネルギー単価 初期表示
電気	23
電気・寒冷地仕様	20
電気・少人数仕様	23
電気・寒冷地仕様・少人数仕様	20
都市ガス	156
液化石油ガス（LPガス）	706
灯油	88

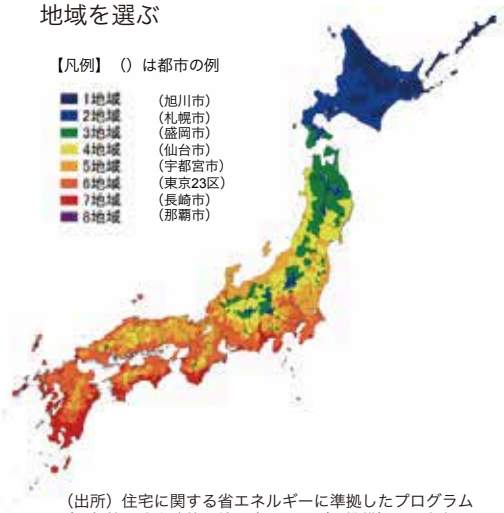
エネルギー単価はユーザが入力して変更も可能
エネルギーを再選択したとき、単価が初期表示に戻る



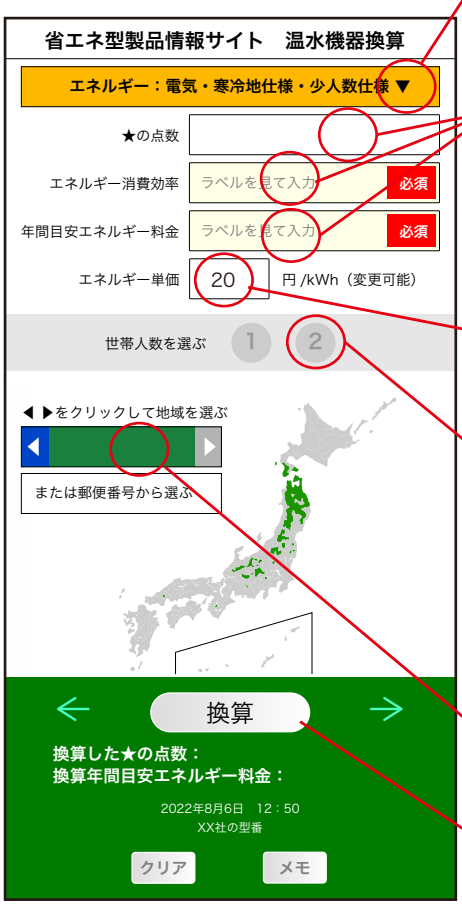
エコキュート（電気・寒冷地仕様・少人数仕様）の例



地域を選ぶ



（出所）住宅に関する省エネルギーに準拠したプログラム（一般社団法人建築環境・省エネルギー機構）を一部加工



手順 ❶エネルギーの種類はプルダウンで電気・寒冷地仕様・少人数仕様を選択します。

手順 ❷ラベルを見て★の点数（任意）、エネルギー消費効率（必須）と年間目安エネルギー料金（必須）を入力します。**手順 ❶**でエネルギーの種類を選択すると、自動で既定の単価が表示されます。（変更可能）

エネルギー単価については、最初に選択したエネルギーの種類に応じた既定の単価が表示されますが、変更することもできます。より実際に近い単価を入力すると、算出される年間目安エネルギー料金もより実際に近い金額になります。

手順 ❸世帯人数を選びます。
電気・寒冷地仕様・少人数仕様は選べる世帯人数と地域が限られます。（電気・少人数仕様は、選べる世帯人数が1人、2人のみになります。電気・寒冷地仕様は選べる地域が、1地域、2地域、3地域のみになります。）
地域を選択します。
（地域は郵便番号でも選べます）

手順 ❹
換算

★の点数と年間目安エネルギー料金が表示されます。

■ 掲載製品

家庭用電気温水機器で、二酸化炭素を冷媒として用いるヒートポンプで構成するものを掲載しています。暖房用、業務用製品は対象外です。

省エネ性能カタログの区分　貯湯缶数、貯湯容量によって行っています。
（サイトでは絞り込み検索ができます。）

エコキュート 320L未満
エコキュート 320L以上550L未満
エコキュート 550L以上
エコキュート 少人数
エコキュート 多缶

■ 各種表示

● 省エネ基準達成率（%）

その製品が属するトップランナー基準の区分の目標基準値を、どの程度達成しているかを%で示します。
エコキュートは、想定世帯（少人数、標準）、貯湯缶数、貯湯容量、仕様（寒冷地仕様以外のもの、寒冷地仕様）により分けられた区分ごとに、目標基準値が設定されています。

● エネルギー消費効率

1年間に得る熱量（単位MJ）と消費電力量（単位kWh）をJIS C 9220（2018）に基づき測定し、算定式により求めた結果を小数点1桁まで表示しています。

ふろ保温機能を有するもの

$$\text{年間給湯保温効率} = \frac{\text{1年間に使用する出湯水が得た熱量(MJ)+ 保温のために浴槽水が得た熱量(MJ)}}{\text{1年間に必要な消費電力量(kWh)} \times 3.6}$$

ふろ保温機能がないもの

$$\text{年間給湯効率} = \frac{\text{1年間に使用する出湯水が得た熱量(MJ)}}{\text{1年間に必要な消費電力量(kWh)} \times 3.6}$$

MJ(メガジュール)は発熱量の国際単位です。MJをkWhで除す場合、1kWh = 3.6MJの換算ができることから、換算係数として3.6を使用しています。

● 貯湯容量（L）

製品に表示される貯湯量です。JIS C 9220（2018）「家庭用ヒートポンプ給湯機」に規定する湯水を貯蔵できるタンクの容量を指します。
標準（4人家族用）で370～460リットル、コンパクトタイプ（単身・2人など）で150～200リットルと考えられます。
少人数世帯向けの製品は、200リットル程度の貯湯容量が一般的であることから、貯湯容量が表示されない場合もあります。

● 少人数仕様

貯湯容量が少なく、世帯人数1～2人用の製品です。

● 寒冷地仕様

寒冷地仕様は、JIS C 9220（2018）に規定する冬の寒さが厳しい地域での仕様を指します。一般地向けとは区別して設計・製造され、その評価方法も異なることからエネルギー消費効率の基準値が異なります。

● 貯湯缶数

貯湯タンクが1つのもの（一缶式）と、設置される場所を考慮して、小容量の複数のタンクで構成するもの（多缶式）に区分しています。貯湯缶数によって保温性能が異なることからエネルギー消費効率の基準値が異なります。
少人数世帯向けの製品は、200リットル程度の貯湯容量が一般的であることから、ほとんど一缶式と考えられるため、貯湯缶数は表示されません。

● 給湯（保温）モード消費電力量（kWh）

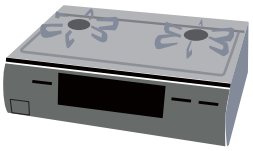
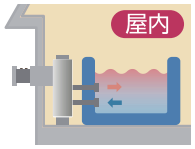
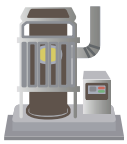
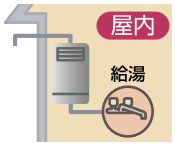
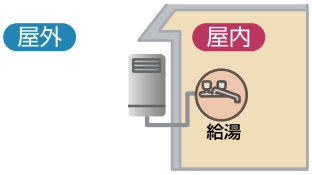
給湯モードまたは給湯保温モードで運転したときの1年間の消費電力量です。ふろ保温機能がない製品（オート・セミオート・給湯専用）とふろ保温機能がある製品（フルオート）があります。フルオートは保温のために浴槽水に熱を加えることから消費電力量が他製品とは異なります。

● 電気料金単価（円/kWh）

23（円/kWh）。寒冷地仕様は20（円/kWh）。

ガス・石油機器について

燃焼方式による給排気方式の区分

● 給排気方式		● 燃焼方式（例）	● 燃焼方式（例）
開放式	空気を屋内からとり、排気も屋内に出す方式	自然燃焼方式 	強制燃焼方式 
密閉式	空気を屋外からとり、排気も屋外に出す方式	自然給排気式（BF）（自然燃焼方式） 	強制給排気式（FF）（強制燃焼方式） 
半密閉式	空気を屋内からとり、排気を屋外に出す方式	自然排気式（CF）（自然燃焼方式） 	強制排気式（FE）（強制燃焼方式） 
屋外式（RF）	空気を屋外からとり、排気も屋外に出す方式		

● 給排気方式とは

給排気方式は、「給気方式」と「排気方式」とを組み合わせた言葉です。給排気方式は、ガスや石油を燃焼させるのに必要な空気をどこからとり入れ、排気ガスをどこへ出すかによって異なり、「開放式」「密閉式」「半密閉式」「屋外式」があります。「開放式」「密閉式」「半密閉式」は、機器が屋内にあります。

● 燃焼方式とは

燃焼方式には、「自然燃焼方式」と「強制燃焼方式」があります。「自然燃焼方式」は、燃焼の給排気を自然の通気力に任せる方式です。「強制燃焼方式」は燃焼の給排気をファンなどを使って強制的に行う方式です。

● ガスの種類

ガスの種類には、大きく分けて都市ガスとLPガス（液化石油ガス）があります。都市ガスはさらに7種類に分けられ、12A、13Aはその種類の1つで、天然ガスとも呼ばれています。LPガスはプロパンガスを主成分としています。ガス機器には、その機器に合うガスの種類がラベルで表示されています。家庭で使用するガスの種類に合うものかどうか確認してください。

省エネ性能一覧における記載値

ガス消費量やエネルギー消費効率などの値は、ガスの種類によって異なります。本カタログに記載されている数値は、都市ガス13Aに対応した値です。

● 石油と灯油

石油(原油)は、製油所でそれぞれ用途に適したLPガス、ガソリン、灯油、軽油等の石油製品につくりかえられます。家庭で使われている石油機器は、灯油を使用します。石油ストーブ等にガソリンを使用すると、火災になるおそれがあります。

● その他の用語

ガス消費量（kW）

ガス機器が単位時間あたりの燃焼で消費するガス量を、単位時間あたりの熱量（kW）で表しています。例えば、1時間に1m³の都市ガス（13A）を消費する機器であれば、ガス消費量は約13kW*となります。

*都市ガス（13A）の場合、ガス発熱量 = 46.05MJ/m³
3.60MJ/kWhより、ガス発熱量 = 46.05/3.60 = 12.79（kW）

燃料消費量（L/h）

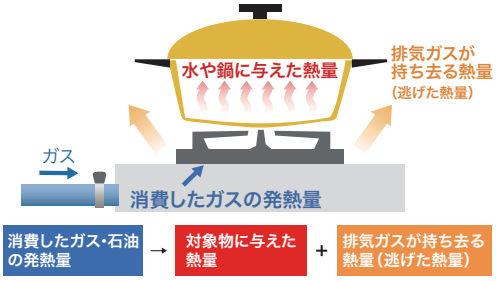
石油機器が単位時間あたりの燃焼で消費する灯油量(L/h)で表しています。

エネルギー消費効率（熱効率）

一般的にガス・石油機器のエネルギー消費効率は熱効率*で表します。消費したガス・石油の発熱量のうち、排気ガスが持ち去る熱量（逃げた熱量）が少なく、対象物に与えた熱量が多くなると、熱効率は高くなります。熱効率が100%に近づくほど、省エネ性が高くなります。

*ガスこんろのグリル部、オーブン部のエネルギー消費効率は、熱効率ではなく、1回あたりの調理に要するガス消費量で表し、その値が小さいほど、省エネ性が高くなります。

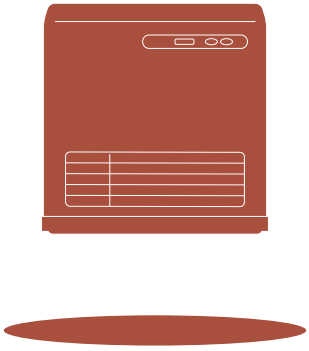
$$\text{熱効率（\%）} = \frac{\text{対象物に与えた熱量}}{\text{消費したガス・石油の発熱量}} \times 100$$



省エネ機器の上手な使い方・選び方

「ガスストーブ・石油ストーブ」

使い方しだいで燃料の無駄を省くことができます。



■ 上手な使い方

● お手入れで省エネ

ファンヒーターの性能をフルに活用するには、フィルターのお手入れは欠かせません。掃除機でほこりを吸い取ったり、ぬるま湯で洗ってからしっかり乾かしましょう。



● 適度な湿度を保ちましょう

湿度が低いと寒く感じ、高いと温かく感じられます。



● 早めの電源オフ

人の居ない部屋は必ず消しましょう。電源をオフにしても、室温は急には下がりません。お出かけや就寝の15分くらい前に消すのがコツ。1日あたり1時間運転を短縮した場合、年間でガスおよそ12.68立方メートルの省エネ。ガス料金に換算すると約2,050円の節約になります。

※ガス162円/立方メートルとした場合（平成29年版ガス事業便覧 平成28年度 実績供給約款 料金平均（合計平均）を45MJに換算 小数点第一位を切り捨て）

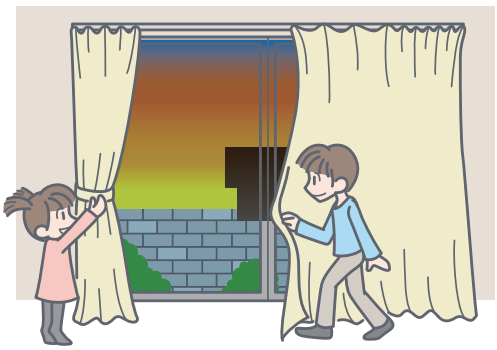


このページのデータは一般財団法人 省エネルギーセンターの実測値に基づき算出しています。

■ 省エネのコツ

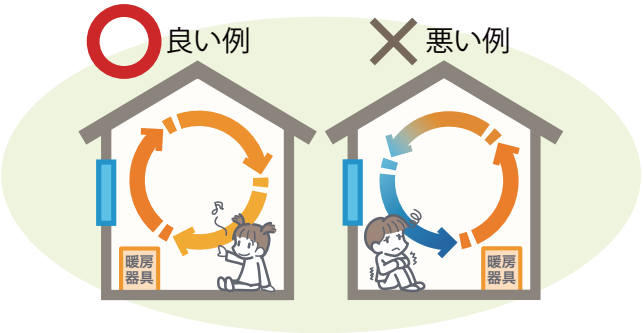
● 昼間はカーテンを開けて日射しを取り入れ、日没後はカーテンを閉めましょう

カーテンは長い厚手のものにすると効果的です。



● 設置場所も重要

ヒーターは、窓際に置く方が効率よく室内を暖められます。



ヒーターは窓を背にして置くと暖房効果が大きくなります。

窓から離れた場所に置くと、暖かい空気が窓際で冷やされ、それが室内に循環すると効率が悪くなります。

■ 上手な選び方

使用地の気候、建物の構造、使う部屋の広さに合ったものを選びましょう。

● 暖房機の種類

給排気方式と伝熱方式によって、いろいろな種類のストーブがあります。このカタログは省エネ法対象の機器を掲載しています。

給排気方式と伝熱方式

給排気方式

開放式　：空気を屋内からとり、排気も屋内に出す方式**（省エネ法対象外）**
密閉式　：給排気筒によって、空気を屋外からとり、排気も屋外に出す方式
半密閉式　：空気を屋内からとり、排気を排気筒によって屋外に出す方式

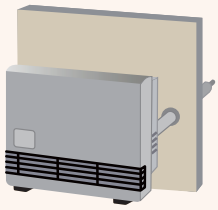
伝熱方式

強制対流式：ファンによって室内の空気を強制的に循環させ、部屋を暖める方式
自然対流式：空気の温度差によって自然に室内の空気を循環させ、部屋を暖める方式
放射式　：燃焼ガスの熱を放射熱として利用し、部屋を暖める方式

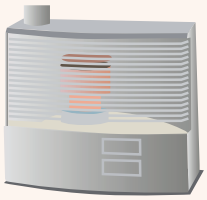
● 省エネ法対象のストーブ

省エネ法では、ガスストーブの「密閉式」、石油ストーブの「密閉式」、「半密閉式」が対象になっています。

省エネ法対象のストーブ例



FF式暖房機（密閉式強制対流式）ガス・石油

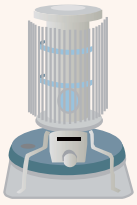


煙突式（半密閉式放射式）石油のみ

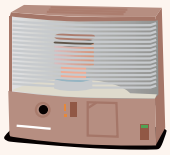
給排気筒などが無い開放式の暖房機は、省エネ法の対象ではありません。



強制対流式



自然対流式



放射式

● 部屋の広さ

「暖房の目安」を参考にして、部屋の広さにあったものを選びましょう。「木造○畳、コンクリ○畳まで」は、温暖地（室内外の温度差が15℃の地域、東京・大阪など）と寒冷地（室内外の温度差が30℃の地域、札幌など）では目安となる部屋の広さが異なります。

※ここでは温暖地を基準にしています。



ガスストーブ　目標年度2006年度



石油ストーブ　目標年度2006年度

省エネ基準達成率が高いほど省エネに優れています。

エネルギー消費効率

エネルギー消費効率が100%に近いほど、省エネ性が優れた機器といえます。

省エネ基準達成率

その製品が属するトップランナー基準の区分の目標基準値を、どの程度達成しているかを%で示します。
ガスストーブのFF式（密閉式）の目標基準値は82.0と設定されています。石油ストーブは、給排気方式や伝熱方式によって分けられた区分ごとに、目標基準値や目標基準値算定式が設定されています。

例：石油FF式暖房機（強制対流式）　目標基準値 86.0
　　石油半密閉式暖房機（放射式）　目標基準値 69.0



ガスストーブ

■ 掲載製品

都市ガス（13A）又は液化石油ガス（LPG）を使用するFF式暖房機を掲載しています。ただし、開放式、半密閉式のものは対象外です。

※FF式暖房機（密閉式強制対流式）：密閉式とは燃焼用の空気を屋外からとり、排気を屋外に出す方式で、強制対流式とはファンを使って強制的に空気を循環させ、部屋を暖める方式です。

省エネ性能カタログの区分　適用畳数によって行っています。
（サイトでは絞り込み検索ができます。）

木造9畳 コンクリート13畳まで
木造11畳 コンクリート15畳まで
木造13畳 コンクリート18畳まで
木造14畳 コンクリート19畳以上

■ 一覧表の各種表示について

● エネルギー消費効率（%）

ガスストーブのエネルギー消費効率は、熱効率（%）を用います。

$$\text{熱効率（\%）} = \frac{\text{（消費したガスの発熱量ー排気ガスが持ち去る熱量）}}{\text{消費したガスの発熱量}} \times 100$$

● 暖房出力（kW）

最大・最小燃焼時に室内に与える、単位時間あたりの熱量です。暖房出力の目安は、温暖地の木造の場合398W/畳、コンクリートの場合288W/畳です。

● 暖房の目安（畳）

暖房の目安は、温暖地（室内外の温度差が15℃の地域、東京・大阪など）を基準にしています。「木造」とは木造戸建住宅、「コンクリ」とはコンクリート集合住宅を指します。いずれも一重窓で断熱材なしの建物です。断熱材を施してある場合は、約1.2倍の広さまでが目安となります。寒冷地（室内外の温度差が30℃の地域、札幌など）の木造住宅は二重窓で断熱材が施されており、木造で約1.2倍、コンクリートで約1.5倍の広さまでが目安となります。

● ガス消費量（kW）

最大・最小燃焼時において、単位時間あたりに燃焼で消費するガスの熱量を表しています。

● 消費電力（W）

最大燃焼時の消費電力を表示しています。



石油ストーブ

■ 掲載製品

FF式暖房機及び半密閉式暖房機です。ただし、開放式のもの、最大燃料消費量2.75L/h超のFF式暖房機、最大燃料消費量4.0L/h超の半密閉式暖房機は対象外です。特注生産品、特殊仕様品等は対象外です。

省エネ性能カタログの区分　給排気方式、伝熱方式、適用畳数によって行っています。
（サイトでは絞り込み検索ができます。）

石油FF式暖房機（強制対流式）木造9畳・コンクリート13畳まで
石油FF式暖房機（強制対流式）木造11畳・コンクリート15畳まで
石油FF式暖房機（強制対流式）木造13畳・コンクリート18畳まで
石油FF式暖房機（強制対流式）木造15畳・コンクリート21畳まで
石油FF式暖房機（強制対流式）木造17畳・コンクリート23畳まで
石油FF式暖房機（強制対流式）木造21畳・コンクリート29畳まで
石油FF式暖房機（強制対流式）木造22畳・コンクリート30畳以上
石油半密閉式暖房機（放射式）木造15畳・コンクリート21畳まで
石油半密閉式暖房機（放射式）木造17畳・コンクリート24畳まで
石油半密閉式暖房機（放射式）木造20畳・コンクリート28畳まで
石油半密閉式暖房機（自然対流式）木造15畳・コンクリート21畳まで
石油半密閉式暖房機（自然対流式）木造17畳・コンクリート24畳まで
石油半密閉式暖房機（自然対流式）木造20畳・コンクリート28畳まで
石油半密閉式暖房機（自然対流式）木造21畳・コンクリート29畳以上

FF式暖房機（密閉式強制対流式）：密閉式とは燃焼用の空気を屋外からとり、排気を屋外に出す方式で、強制対流式とはファンを使って強制的に空気を循環させ、部屋を暖める方式です。

半密閉式暖房機：半密閉式とは燃焼用の空気は室内からとり、排気は屋外に出す方式です。

放射式と自然対流式：放射式は主として燃焼ガスの熱を放射させ、部屋を暖める方式で、自然対流式は加熱された空気の温度差により、自然に空気を循環させ、部屋を暖める方式です。

■ 一覧表の各種表示について

● エネルギー消費効率（%）

石油ストーブのエネルギー消費効率は、熱効率（%）を用います。

$$\text{熱効率（\%）} = \frac{\text{（消費した石油の発熱量ー排気ガスが持ち去る熱量）}}{\text{消費した石油の発熱量}} \times 100$$

● 暖房出力（kW）

最大・最小燃焼時に室内に与える、単位時間あたりの熱量です。暖房出力の目安は、温暖地の木造の場合398W/畳、コンクリートの場合288W/畳です。

● 暖房の目安（畳）

暖房の目安は、温暖地（室内外の温度差が15℃の地域、東京・大阪など）を基準にしています。「木造」とは木造戸建住宅、「コンクリ」とはコンクリート集合住宅を指します。いずれも一重窓で断熱材なしの建物です。断熱材を施してある場合は、約1.2倍の広さまでが目安となります。寒冷地（室内外の温度差が30℃の地域、札幌など）の木造住宅は二重窓で断熱材が施されており、木造で約1.2倍、コンクリートで約1.5倍の広さまでが目安となります。

● 燃料消費量（L/h）

最大・最小燃焼時において、単位時間あたりに燃焼で消費する灯油量を表しています。

● 消費電力（W）

点火時と最大・最小燃焼時の消費電力を表示しています。

省エネ機器の上手な使い方・選び方

「ガスこんろ・ガスオーブン」

使い方しだいで燃料の無駄を省くことができます。



■ 上手な使い方

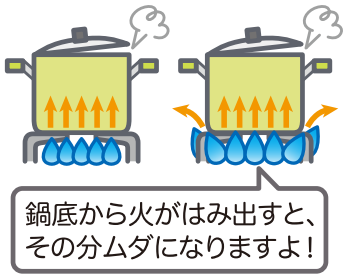
● こんろの炎が鍋底からはみ出さないように調節

中火にすると熱効率が最もよくなります。

年間でガス 2.38m³ の省エネ　約 390円 の節約

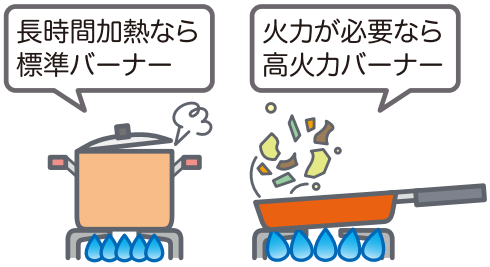
原油換算　2.76ℓ　CO_2削減量　4.87kg

水1ℓ(20℃程度)を沸騰させる時、強火から中火にした場合(1日3回)



● 料理によって火加減を調節しましょう

鍋の大きさや料理によって、火力の異なるバーナーを使い分けましょう。



● 電子レンジ活用でひと工夫

煮物の下ごしらえは電子レンジを活用すると、時間も短縮できて経済的です。コンロで煮込むときは落としぶたをすると、味もよくしみこみ、熱効率がよくなります。



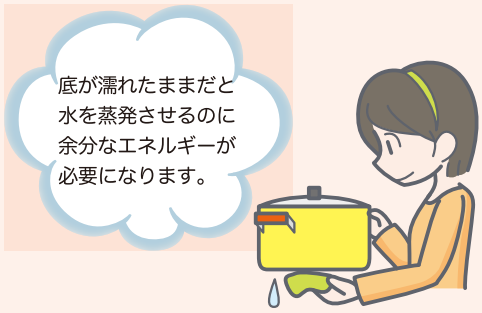
● バーナーの掃除をしましょう

目詰りすると、熱効率が落ちます。



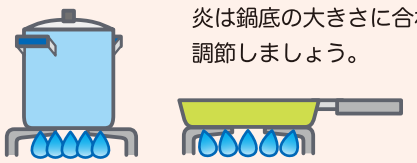
省エネのコツ

鍋の水滴を拭き取ってから、コンロに



コンロに点火するのは鍋やかんをのせてから

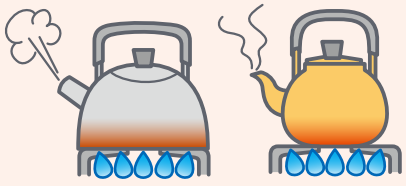
炎は鍋底の大きさに合わせて調節しましょう。



鍋底で省エネ

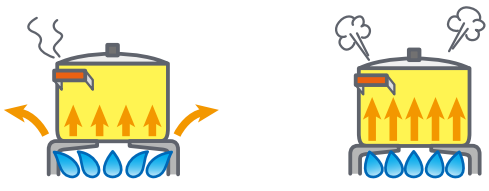
平たい底がおすすめ

平たい底のほうが熱効率がよく、省エネになります。



効率の良いガスバーナー

炎の広がりを抑え、鍋底との距離を近づけた高効率バーナーも普及しています。



従来型バーナーイメージ　高効率バーナーイメージ

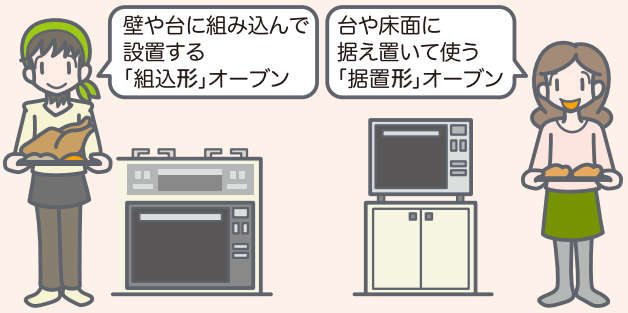
このページのデータは一般財団法人 省エネルギーセンターの実測値に基づき算出しています。

■ 上手な選び方

家族構成、台所スペース、料理の種類、使い方に合ったものを選びましょう。

● ガス調理機器の種類

ガスこんろやガスオーブンは大きく分けて、卓上形とシステムキッチンに組み込まれている組込形があります。その他に台または床に据え置く据置形、専用のキャビネットの上に取り付けるキャビネット形があります。



● ガスこんろの選び方

バーナーの数とガス消費量

使い方に合ったバーナーの数のものを選び、各バーナーのガス消費量にも注目しましょう。ガス消費量が大きいほど、火力が強くなります。

グリル部の機能

水無グリル：グリル皿に水を張る必要がないため、取り出すときに水がこぼれる心配がありません。

両面焼き機能：グリルの上下にバーナーがあり、魚を両面同時に焼くため、魚を裏返す手間がいりません。



● ガスオーブンの選び方

庫内容積：料理の種類や量に合わせた庫内容積のものを選びましょう。

機　　能：電子レンジ機能、自動調理機能他、便利な機能がついているものがあります。



ガスこんろ
目標年度
こんろ部：2006年度
グリル部･オーブン部：2008年度



ガスオーブン
目標年度2008年度

省エネ基準達成率が高いほど省エネに優れています。

エネルギー消費効率

こんろ部ではエネルギー消費効率が100%に近いほど、グリル部やオーブン部ではエネルギー消費効率が小さいほど、省エネ性が優れた機器といえます。

省エネ基準達成率

その製品が属するトップランナー基準の区分の目標基準値を、どの程度達成しているかを%で示します。
こんろ部は設置形態やバーナーの数により分けられた区分ごとに目標基準値が設定され、グリル部は燃焼方式、調理方式により分けられた区分ごとに目標基準値算定式が設定され、オーブン部は設置状態により分けられた区分ごとに目標基準値算定式が設定されています。

ガスこんろ

■ 掲載製品

家庭用で、都市ガス13AかLPガスを使用するものを掲載しています。ガス炊飯器、業務用のもの、ガスグリル、ガスクッキングテーブル、カセットこんろ、特注生産品、特殊仕様品等は対象外です。

省エネ性能カタログの区分　設置形態とグリルの有無、バーナーの数によって行っています。
（サイトでは絞り込み検索ができます。）

ガスこんろ（卓上形）	ガスこんろ（組込形）
ガスこんろグリル付（卓上形）　2口バーナー	ガスこんろグリル付（組込形）　2口バーナー
ガスこんろグリル付（組込形）　3口バーナー	キャビネット形
ガスレンジ	

設置形態
「卓上形」はキッチン台の上に置いて使用するもので、テーブルこんろともいいます。
「組込形」はシステムキッチンに組み込んで使用するもので、ビルトインこんろともいいます。
「キャビネット形」は専用のキャビネットの上に取り付けて使用するものです。
「ガスレンジ」は、こんろとオーブンを組み合わせたものをいいます。

■ 一覧表の各種表示について

● エネルギー消費効率〈こんろ部〉

こんろ部のエネルギー消費効率は、こんろで測定した熱効率（%）を用い、小数点以下1桁まで表示します。2口以上のバーナーを持つこんろのエネルギー消費効率は、各バーナーの熱効率を小バーナー1：中バーナー2.1：大バーナー3.5で加重平均した数値になります。

$$\text{熱効率（\%）} = \frac{\text{鍋に入れた水が得た熱量}}{\text{消費したガスの発熱量}} \times 100$$

● エネルギー消費効率〈グリル部・オーブン部〉

グリル部及びオーブン部のエネルギー消費効率は、1回の調理に要するガス消費量（Wh）とし、整数で表示します。

グリル部のエネルギー消費効率：
調理頻度の高い食品（アジ）と同程度の熱容量を有する銅製のブロックの初温から100K上昇するまでのガス消費量（Wh）です。

オーブン部のエネルギー消費効率：
オーブン庫内の温度が初温から180K上昇するまでのガス消費量と、その後継続して、その状態を20分間保持した間のガス消費量を合算した値（Wh）です。

● ガス消費量（kW）

大・中・小バーナー、グリル部、オーブン部において、単位時間あたりの燃焼で消費するガスの熱量です。この数値が大きいほど、火力が強くなります。

● 小バーナー

表示ガス消費量が2.02kW以下のもの

● 中バーナー

表示ガス消費量が2.02kWを越え3.49kW以下のもの

● 大バーナー

表示ガス消費量が3.49kWを越え5.80kW以下のもの

● 年間の目安燃料使用量（m^3/年）

一世帯3人家族を基準にして、グリル部の年間使用回数は209回、オーブン部の年間使用回数48回とし、こんろ部、グリル部、オーブン部について、下表の都市ガスの算出式より求め、合計した数値を小数点以下1桁まで表示しています。家族の構成人員、各家庭の使用実態等によって異なります。

こんろ部

こんろ部の年間の目安燃料使用量（m^3/年）＝

$$\frac{\text{年間こんろ部出力（MJ/年世帯）}}{\text{エネルギー消費効率（\%）} \times \text{換算係数}}$$

こんろ部出力は1400MJ/年世帯とし、換算係数は
都市ガス46.05MJ/m^3、LPG104.22MJ/m^3とします。

グリル部

グリル部の年間の目安燃料使用量（m^3/年）＝

$$\frac{\text{グリル部の年間使用回数（209回）} \times \text{エネルギー消費効率（Wh）}}{\text{換算係数}}$$

換算係数は都市ガス46.05MJ/m^3、
LPG104.22MJ/m^3、3.60MJ/kWhとします。

オーブン部

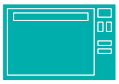
オーブン部の年間の目安燃料使用量（m^3/年）＝

$$\frac{\text{オーブン部の年間使用回数（48回）} \times \text{エネルギー消費効率（Wh）}}{\text{換算係数}}$$

換算係数は都市ガス46.05MJ/m^3、
LPG104.22MJ/m^3、3.60MJ/kWhとします。

ガスこんろのグリル部、オーブン部のエネルギー消費効率は、熱効率ではなく、１回あたりの調理に要するガス消費量で表し、その値が小さいほど、省エネ性が高くなります。





ガスオーブン

■ 掲載製品

家庭用で、都市ガス13A、LPガスを使用するガスオーブンを掲載しています。ただし、業務用のものは対象外です。

省エネ性能カタログの区分　設置形態によって行っています。
（サイトでは絞り込み検索ができます。）

ガスオーブン（卓上形又は据置形）
ガスオーブン（組込形）

設置形態

「卓上形」はキッチン台の上に置いて使用するもので、「組込形」はシステムキッチンに組み込んで使用するものです。

■ 一覧表の各種表示について

● エネルギー消費効率（Wh）

ガスオーブンのエネルギー消費効率は、1回の調理に要するガス消費量（Wh）です。オーブン庫内の温度が初温から180K上昇するまでのガス消費量と、その後継続して、その状態を20分間保持した間のガス消費量を合算した値（Wh）です。

● ガス消費量（kW）

単位時間当たりの燃焼で消費するガスの熱量です。この数値が大きいほど、火力が強くなります。

● 年間の目安燃料使用量（m^3/年）

一世帯3人家族を基準にして、年間使用回数48回とし、都市ガス13Aの算出式（13Aに対応していないものはLPGの算出式）より小数点以下1桁まで求め、合計した目安ガス消費量を表示しています。家族の構成人員、各家庭の使用実態等によって異なります。

オーブンの年間の目安燃料使用量（m^3/年）＝

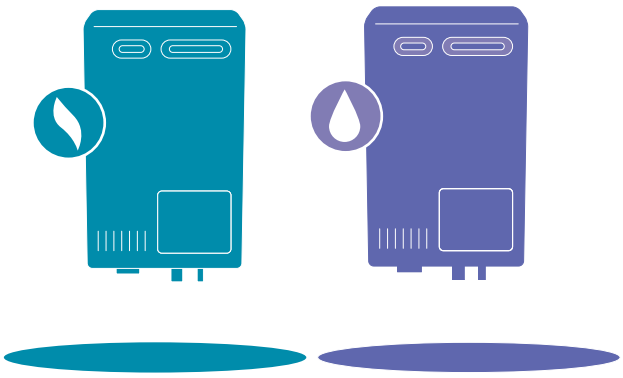
$$\frac{\text{オーブンの年間使用回数（48回）} \times \text{エネルギー消費効率（Wh）}}{\text{換算係数}}$$

換算係数は都市ガス46.05MJ/m^3、
LPG104.22MJ/m^3、3.60MJ/kWhとします。

省エネ機器の上手な使い方・選び方

「ガス温水機器・石油温水機器」

使い方を工夫することで上手に省エネができます。



■ 上手な使い方

● 目的に合わせてこまめに温度調節をして使用しましょう。

ふだんから低めに設定しましょう。



● 食器洗いやシャワーでのお湯の出しっ放しは止めましょう

食器洗いはまとめ洗いや食洗機を使うと節水・省エネ。



● シャワーは不必要に流したままにしない

年間でガス **12.78m³** の省エネ

年間で水道 **4.38m³** の省エネ

原油換算 **14.82ℓ** CO_2削減量 **26.19kg**

45℃のお湯を流す時間を1分間短縮した場合

ガス使用量を計算式でも確認してみましょう（都市ガスの場合）
水量（12リットル）× 温度差（設定温度45℃ - 水温20℃）÷ 熱効率（0.8）÷ 10750（1m³あたり熱量（キロカロリー））× 365日 = 12.73m³

水道使用量を計算式でも確認してみましょう
シャワーで1分間12Lの水を使用する場合、
12L × 365日 = 4,380L = 4.38m³

ガス給湯器（キッチン）

● 食器を洗うときは低温に設定

年間でガス **8.80m³** の省エネ

原油換算 **10.20ℓ** CO_2削減量 **18.04kg**

65ℓの水道水（水温20℃）を使い、湯沸し器の設定温度を40℃から38℃にし、1日2回手洗いした場合（使用期間：冷房期間を除く253日）



ガス使用量を計算式でも確認してみましょう（都市ガスの場合）
水量（65リットル）× 温度差（2℃）÷ 熱効率（0.7）÷ 10750（1m³あたり熱量（キロカロリー））× 2回 × 253日 = 8.74m³

ガス給湯器（お風呂）

● 入浴は間隔をあけずにしましょう

なるべく追いだきはしないように。

年間でガス **38.20m³** の省エネ

原油換算 **44.31ℓ** CO_2削減量 **78.31kg**

2時間放置により4.5℃低下した湯（200ℓ）を追いだきする場合（1回/日）



ガス使用量を計算式でも確認してみましょう（都市ガスの場合）
水量（200リットル）× 温度差（4.5℃）÷ 熱効率（0.8）÷ 10750（1m³あたり熱量（キロカロリー））× 365日 = 38.2m³



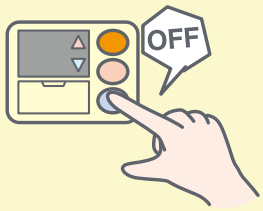
このページのデータは一般財団法人 省エネルギーセンターの実測値に基づき算出しています。



洗う前に水につけておいたり、ヘラやボロ布で汚れを拭き取っておくと、使うお湯の量が少なくてすみます。



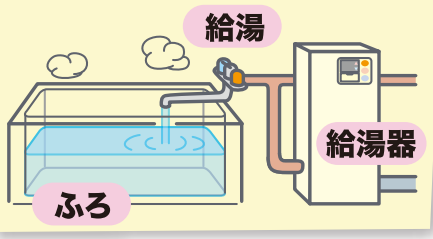
使用しないリモコンや操作パネルのスイッチを入れたままだと電力を消費しますが、こまめなオンオフは、省エネに逆効果です。
長時間使用しない時はOFFにしましょう。



給湯まめ知識

お風呂やキッチンで上手に省エネ

給湯付ふろがまの場合、浴槽に水をためて沸かすよりも、お湯をためる方が省エネ！一般的に風呂は、水から沸かしたり追いだきや沸かし直しをするよりは、給湯のほうがガスを効率よく使うことができます。



ガス温水機器は家族の人数やライフスタイルに合った能力や機能のものを選びましょう。エネルギー消費効率が100%に近いほど省エネ性能が優れています。

ガス温水機器省エネルギーラベル



ガス瞬間湯沸器、ガスふろがま、ガス暖房機器など

■ 上手な選び方

家族の人数やライフスタイルに合った能力や機能のものを選びましょう。

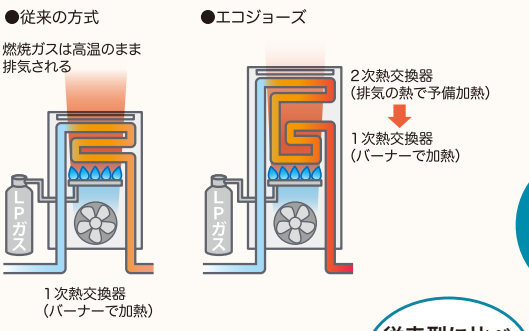
● 温水機器の種類（ガス・石油）

1台で台所、洗面所、浴室の給湯に利用できる瞬間式湯沸器や給湯付ふろがまが一般的です。また、給湯と暖房とが同時に行えるものもあります。

● 能力（出力）

ガス温水機器の給湯能力は号数で、石油温水機器の給湯能力は連続給湯出力(kW)で示されます。号数、給湯出力が大きいほど数カ所で給湯を行っても、湯量が不足せずに余裕を持ってご利用になれます。

能力の目安	ガス温水機器	石油温水機器
	号数	連続給湯出力（kW）
2人家族の場合	16 ～ 20号	36.0kW
4人家族の場合	24号	46.5kW

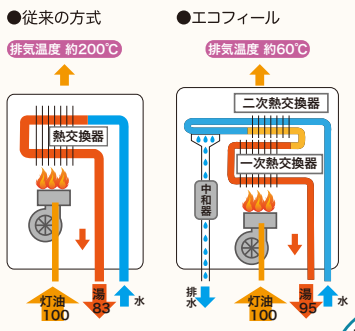


ガス高効率給湯器
エコジョーズ

従来型に比べガス使用量を約14%節約

ガスでお湯をつくる時の排気中に捨てられる排熱ロスを抑えたのがエコジョーズです。給湯時の熱効率を従来型給湯器の約80%から約95%までアップしました。CO_2排出量は約14%少なくなります。

おすすめ



石油高効率給湯機
エコフィール

従来型に比べ灯油使用量を約13%節約

灯油でお湯をつくる時の排気中に捨てられる排熱を回収して再利用し、熱効率を高めた新しい石油給湯機です。給湯時の熱効率を従来型給湯機の約83%から約95%までアップしました。CO_2排出量は年間約13%少なくなります。

出所：一般社団法人日本ガス石油機器工業会ホームページ

■ 統一省エネラベルと多段階評価点

省エネ性能の高い順に0.1きざみ（5.0～1.0）の評価点で表示。
★（星マーク）は多段階評価点に応じて表して います。

統一省エネラベル



ガス温水機器
目標年度2025年度



石油温水機器
目標年度2025年度



ガス暖房機器
目標年度2025年度



石油温水機器（暖房用）
目標年度2025年度

エネルギー消費効率

エネルギー消費効率が高いほど、省エネ性が優れた機器といえます。

省エネ基準達成率

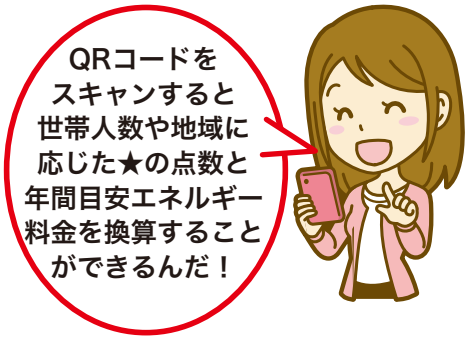
製品が属する区分の目標基準値をどのくらい達成しているかを%で示します。
ガス温水機器は、用途、通気方式、構造により分けられた区分ごとに、目標基準値または目標基準値算定式が設定されています。
石油温水機器については、用途、加熱方式、構造により分けられた区分ごとに、目標基準値または目標基準値算定式が設定されています。

使用する地域や世帯人数により多段階評価点及び目安ガス料金や目安灯油料金が異なりますので、ラベルに記載のQRコードからご確認ください。

暖房機器の場合、多段階評価点と目安ガス料金、目安灯油料金の記載はありません。ストーブと同じです。

ガス・石油温水機器　目標年度2025

温水機器換算アプリの使い方



手順 ❶
エネルギーの種類を選択します。

手順 ❷
ラベルを見て★の点数（任意）、エネルギー消費効率（必須）と年間目安エネルギー料金（必須）を入力します。
手順 ❶でエネルギーの種類を選択すると、自動で既定の単価が表示されます。（変更可能）

エネルギー単価については、最初に選択したエネルギーの種類に応じた既定の単価が表示されますが、変更することもできます。より実際に近い単価を入力すると、算出される年間目安エネルギー料金もより実際に近い金額になります。

手順 ❸
世帯人数と地域を選択します。
（地域は郵便番号でも選べます）

手順 ❹

換算

★の点数と年間目安エネルギー料金が表示されます。

エネルギー選択によりエネルギー単価を自動変更

エネルギー選択肢	エネルギー単価初期表示
電気	23
電気・寒冷地仕様	20
電気・少人数仕様	23
電気・寒冷地仕様・少人数仕様	20
都市ガス	156
液化石油ガス（LPガス）	706
灯油	88

エネルギー単価はユーザが入力して変更も可能
エネルギーを再選択したとき、単価が初期表示に戻る

ガス料金単価：都市ガス
156 円/m³

ガス料金単価：液化石油ガス（LPガス）
706 円/m³

灯油料金単価
88 円/L

★の点数及び年間目安エネルギー料金の換算表示





ガス温水機器

■ 掲載製品

家庭用で、ガス消費量が70kW以下であって、都市ガス（13A）か液化石油ガス（LPG）を使用するものを掲載しています。

（注）①JIS S 2109(2019)又はJIS S 2112(2019)の対象となるもの以外のもの②業務用のもの③都市ガス13Aのガスグループに属さないガスを燃料とするもの④ガス瞬間湯沸器のうち通気方式が自然通気式であって、給排気方式が開放式以外のもの⑤ガスふろがまのうち次のいずれかに該当するもの（給湯の機能を有しないもの、通気方式が自然通気式のもの、循環方式が自然循環式のもの、屋内に設置する構造のもの）⑥暖房専用ものは対象外です。

省エネ性能カタログの区分　用途、通気方式、給湯能力により分けられた区分で行っています。
（サイトでは絞り込み検索ができます。）

ガス瞬間湯沸器（自然通気式）	ガスふろがま・給湯能力16号以下	ガス暖房機器・給湯能力16号以下
ガス瞬間湯沸器（強制通気式）給湯能力16号以下	ガスふろがま・給湯能力20号	ガス暖房機器・給湯能力20号
ガス瞬間湯沸器（強制通気式）給湯能力20号	ガスふろがま・給湯能力24号	ガス暖房機器・給湯能力24号
ガス瞬間湯沸器（強制通気式）給湯能力20号超		

■ 一覧表の各種表示について

● エネルギー消費効率（%）

エネルギー消費効率は、瞬間湯沸器、ふろがま、暖房機器について、それぞれ測定した熱効率（%）を用います。

瞬間湯沸器

$$\text{モード熱効率（%）} = \frac{\text{出湯水が得た熱量}}{\text{消費したガスの発熱量}} \times 100$$

ふろがま

$$\text{モード熱効率（%）} = \frac{\text{浴槽水が得た熱量}}{\text{消費したガスの発熱量}} \times 100$$

暖房機器

暖房部と給湯部の熱効率を暖房部1：給湯部3で加重平均した数値。ただし、測定式は以下とする。

$$\text{暖房部　熱効率（%）} = \frac{\text{出湯水が得た熱量}}{\text{消費したガスの発熱量}} \times 100$$

$$\text{給湯部　熱効率（%）} = \frac{\text{冷却水が得た熱量}}{\text{消費したガスの発熱量}} \times 100$$

● 年間目安ガス料金（円/年）

目安ガス料金は1年間あたりのガス使用量（m^3/年）に東京・大阪を含む地域の平均的なガス料金単価（円/m^3）※を乗じて算出。

都市ガス（13A）

1年間使用した場合の目安ガス料金（円/年） = **年間ガス使用量**（m^3/年） × **ガス料金単価 156**（円/m^3）

液化石油ガス（LPG）

1年間使用した場合の目安ガス料金（円/年） = **年間ガス使用量**（m^3/年） × **ガス料金単価 706**（円/m^3）

（有効数字3桁100円未満は四捨五入。ただし年間目安料金が100,000円以上の場合、1,000円未満は四捨五入）

※ガス料金単価（円/m^3）はガス種によって異なります。都市ガスの料金単価は東京ガス大阪ガスの料金プランなどを基に作成。液化石油ガス（LPガス）の料金単価は環境省「家庭部門のCO_2排出実態統計調査（家庭CO_2統計）」の関東甲信及び近畿地域を基に作成。直近3年分の平均値（小数点第1位を四捨五入）で設定されています。

● 年間ガス使用量（m^3/年）（小数点以下四捨五入）

1年間のガス使用量（m^3/年）は東京・大阪の外気温度を前提に4人世帯を想定しています。各機器（暖房機能を有する機器は除く）について下の算出式で求めた数値を表示しています。
使用条件やガス種、ガス会社等により異なります。

用途	通気方式	ガス種	年間ガス使用量（小数点以下四捨五入）
ガス瞬間湯沸器	自然通気式	13A	8200/エネルギー消費効率(%)
		LPG	3600/エネルギー消費効率(%)
ガス瞬間湯沸器	強制通気式	13A	35600/エネルギー消費効率(%)
		LPG	15700/エネルギー消費効率(%)
ガスふろがま		13A	38000/エネルギー消費効率(%)
		LPG	16800/エネルギー消費効率(%)

用途	通気方式	構造	基準エネルギー消費効率(Em)
ガス瞬間湯沸器	自然通気式		77.5
ガス瞬間湯沸器	強制通気式	壁貫通型	84.37×0.9998
		壁組込型	84.37×0.9869
		強制給排気式	84.37×0.9900
		強制排気式（従来型に限る。）	84.37×0.9661
		レンジフード一体型（従来型に限る。）	84.37×0.8415
		その他	84.37
ガスふろがま		壁貫通型	87.21×0.9839
		壁組込型（従来型に限る。）	87.21×0.9576
		その他	87.21
ガス暖房機器			90.32

X=E/Em×100
X：機器の省エネルギー基準達成率（%）小数点以下切り捨て
E：エネルギー消費効率（%）
Em：基準エネルギー消費効率（区分により求める）



石油温水機器

■ 掲載製品

家庭用を掲載しています。
(注)①JIS S 3021(2017)、JIS S 3024(2017)又はJIS S 3027(2017)の対象となるもの以外のもの。(JIS S 2091(2013)に規定する高圧力型石油小形給湯機及び高圧力型石油給湯機付ふろがまを除く。)②業務用のもの③給湯用のもののうち加熱形態が貯湯式であって、急速加熱形以外のもの④暖房用のもののうち加熱形態が貯湯式であって、急速加熱形以外のものは対象外です。

省エネ性能カタログの区分　用途、加熱方式、連続給湯出力により分けられた区分で行っています。
(サイトでは絞り込み検索ができます。)

給湯用（瞬間形）連続給湯出力40kW以下
給湯用（瞬間形）連続給湯出力40kW超
給湯用（貯湯式急速加熱形）連続給湯出力40kW以下
給湯用（貯湯式急速加熱形）連続給湯出力40kW超
給湯・浴用（瞬間形）連続給湯出力40kW以下
給湯・浴用（瞬間形）連続給湯出力40kW超
給湯・浴用（貯湯式急速加熱形）連続給湯出力40kW以下
給湯・浴用（貯湯式急速加熱形）連続給湯出力40kW超
暖房用

■ 一覧表の各種表示について

● エネルギー消費効率（%）

エネルギー消費効率は、用途について、それぞれ測定した熱効率（%）を用います。複数の機能を有する機器については、その主機能に係る熱効率とします。

給湯用

$$\text{モード熱効率（%）} = \frac{\text{連続給湯出力}}{\text{消費した石油の発熱量}} \times 100$$

給湯・浴用

$$\text{モード熱効率（%）} = \frac{\text{連続給湯出力+浴槽水が得た熱量}}{\text{消費した石油の発熱量}} \times 100$$

暖房用

$$\text{熱効率（%）} = \frac{\text{暖房出力}}{\text{消費した石油の発熱量}} \times 100$$

● 連続給湯出力（kW）

給湯機の給湯能力を表します。46.5kWなら1分間に18Lの出湯量(水温5℃→42℃)になります。

● 年間目安灯油料金（円/年）

目安灯油料金は1年間あたりの灯油使用量(L/年)に東京・大阪を含む地域の平均的な灯油料金88(円/L)※を乗じて算出します。
使用条件や灯油単価等により異なります。
ただし、暖房機能を有する機器は除きます。

$$\text{年間目安灯油料金（円/年）} = \text{年間灯油使用量（L/年）} \times \text{灯油料金単価 88（円/L）}$$

(有効数字3桁100円未満は四捨五入)

※灯油料金単価は環境省「家庭部門のCO_2排出実態統計調査（家庭CO_2統計）」の関東甲信及び近畿地域を基に作成。直近3年分の平均値小数点第1位を四捨五入）で設定されています。

● 年間灯油使用量（L/年）

1年間の灯油使用量(L/年)は東京・大阪の外気温度を前提に4人世帯を想定しています。給湯用と給湯・浴用の機器は下表の算出式より、有効数字3桁まで求めた数値を表示しています。

用途	年間灯油消費量（小数点以下四捨五入）
給湯用	44200/エネルギー消費効率(%)
給湯・浴用	47300/エネルギー消費効率(%)

用途		加熱方式	構造	基準エネルギー消費効率(Em)
給湯用	浴用なし	瞬間形	圧力噴霧式	89.68×0.9585
			その他	89.68
		貯湯式急速加熱形		76.88
	浴用あり	瞬間形	圧力噴霧式	90.01×0.9492
			その他	90.01
		貯湯式急速加熱形		76.07
暖房用		貯湯式急速加熱形	オンーオフ制御式（従来型に限る。）	87.06×1.0051
			その他	87.06

X=E/Em×100
X：機器の省エネルギー基準達成率（%）小数点以下切り捨て
E：エネルギー消費効率（%）
Em：基準エネルギー消費効率（区分により求める）

■ 省エネ効果の算出について

本文中では、省エネによって削減できたエネルギー量を、データに基づき、電気料金・ガス料金などの金額に換算しています。さらにそのエネルギー量を「原油換算」「CO_2削減量(二酸化炭素換算)」で示しています。家庭での省エネが節約だけにとどまらず、省資源対策・地球温暖化の防止につながっていることを、数字で示しました。

■ CO_2排出係数

CO_2排出係数は、地域・事業者・時期により異なります。ここでは「温室効果ガス　算定・報告・公表制度における算定方法・排出係数」を使用しています。お使いの事業者によって大きく異なることがあります。

■ 省エネ効果の算出根拠

金額換算係数

電気　27円/kWh

（小売事業者表示制度　参照）

ガス　162円/m^3

（平成29年版 ガス事業便覧 平成28年度実績 供給約款料金平均（合計平均）を45MJに換算 小数点第一位を切り捨て）

原油換算係数

電気　0.223L/kWh

（エネルギーの使用の合理化及び非化石エネルギーへの転換等に関する法律施行規則（第4条）より）

ガス　1.16L/m^3

（エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則（第4条）、ガス事業便覧（東京ガス等の13Aガス発熱量）より）

CO_2 排出係数

電気　0.422kgCO_2/kWh

（電気事業者別排出係数 令和7年提出用「代替値」）

ガス　2.05kgCO_2/m^3

（ガス事業者別排出係数 令和7年提出用「代替値」）

